史　跡

上之国勝山館跡 XXV

―平成 15 年度発掘調査環境整備事業概報―

2004・3
上ノ国町教育委員会

序

平成12年度に「史跡等活用特別事業－ふるさと歴史の広場」として採択された勝山館跡の整備事業は4年目を迎えました。

今年度は、夷王山墳墓群第Ⅱ地区にガイダンス施設を建設し、その中に昨年検出し、型取りを行った火葬施設や火葬墓、土葬墓などの遺構の幾つかを再現するとともに、勝山館跡の全体模型を併せて設置致しました。

坪井清足先生や井手久登先生から、「模型を見ながら史跡・現地を展観できる施設を」とのご指導を頂戴してから随分と時間が経過してしまい、その頃とは中身もだいぶ変わってしまいましたが、お約束の一部に代えさせていただくことができるかと思っています。

史跡内では、勝山館跡の中心建物である「客殿」の平面表示がされ、中央通路とその左右の建物敷地が復元されました。少しずつではありますが勝山館跡の様子が再現されつつあります。

今年も事業を進めるにあたって、文化庁記念物課、本中主任調査官をはじめとする関係機関と諸先生から、格別のご指導とご助言を頂戴致しました。深く感謝申し上げるものであります。

整備の内容が具体的になるに従い、史跡整備検討委員会の諸先生には、更にご心配をいただき、ご面倒をお掛けすることが多くなりました。特に模型の制作にあたっては、昭和59年以来、勝山館跡の建築遺構についてご指導を頂戴しております鈴木亘先生に、手術後のご養生期を押してお力を賜りました。厚く御礼申し上げます。

勝山館跡のことをご心配下さり、日頃から大変ご高配を頂戴している大切な先生方がお亡くなりになられました。

元一橋大学教授の佐々木潤之介先生には、勝山館跡が花沢館跡とともに史跡の指定を受け、整備を開始するため保存管理計画策定委員としてご来町願いご指導を頂戴しました。先生はいち早くご執筆の教科書で蛎崎氏や北海道の館のことなどを取り上げておられました。

元神奈川大学特任教授の網野善彦先生は昭和63年以来、勝山館跡調査研究専門員としてほぼ毎年ご来町され、勝山館跡の調査を温かい眼でお見守り下さいました。勝山館跡の発掘調査20周年記念シンポジウムを亡き石井進先生との共編として「北から見直す日本史－上之国勝山館跡と夷王山墳墓群からみえるもの」（大和書房）という一書に纏めて下さるとともに、その中で畠屓の引き倒しにならなければよいが、とご心配されながら勝山館の意義を強調して下さいました。

勝山館や上ノ国のことが多くの方々に知っていただけるようになったのは、先生方の力があってこそのことであります。改めて諸先生のご厚情に心から御礼申し上げる次第であります。

上ノ国町は今、町村合併の大きな流れの真只中にあります。勝山館跡を取り巻く状況も予断を許さないところであります。諸機関、諸先生の日頃のご指導を大切にし、事業の推進に努めてゆく所存であります。皆様の一層のご指導とご高配を賜りますようお願い申し上げます。

平成16年3月

北海道桧山郡上ノ国町教育委員会
教育長　上　野　秀　勝

本文目次

序
本文目次／挿図目次／表目次／写真図版
例言／引用参考文献

一．夷王山墳墓群第Ⅱ地区の調査 …… 1
　Ⅰ　調査の概要 …… 1
　　1．調査にいたる経緯 …… 1
　　2．調査位置 …… 1
　　3．調査方法 …… 1
　　4．基本層序 …… 1
　Ⅱ　検出遺構 …… 4
　Ⅲ　小括 …… 63

二．勝山館跡中央道路の調査 …… 67
　Ⅰ　調査の概要 …… 67
　　1．調査にいたる経緯 …… 67
　　2．調査位置 …… 67
　　3．調査方法 …… 67
　　4．調査経過 …… 67
　　4．調査層序 …… 67
　Ⅱ　検出遺構 …… 67

三．勝山館跡出土遺物集成 …… 75

挿図目次

第１図　遺跡地形図・調査区位置図 …… 2
第２図　調査区位置図 …… 3
第３図　土層堆積図 …… 5
第４図　分布調査・発掘調査墳墓位置関係図・ 7
第５図　調査区遺構配置図 …… 9
第６図　近世以降柱穴等検出状況 …… 11
第７図　第３号墓　平面図、遺物分布図他 …… 12
第８図　第３号墓　平面図、出土遺物
　　（鉄釘、銅銭）他 …… 13
第９図　第14号墓　平面図、遺物分布図他 …… 14
第10図　第14号墓・５号墓・130号墓
　　位置関係図他 …… 15
第11図　第14号墓　出土遺物（鉄釘、銅銭）… 16
第12図　５号墓　平面図、遺物分布図他 …… 17
第13図　第５号墓　平面図・出土遺物
　　（鉄釘、銅銭）他 …… 18
第14図　第５号墓　出土遺物（銅銭）…… 19
第15図　第125号墓　平面図、遺物分布図他 … 21
第16図　第125号墓　出土遺物（鉄釘、銅銭）… 22
第17図　第129号墓　平面図、遺物分布図他 … 23
第18図　第129号墓　出土遺物（鉄釘、銅銭）… 24
第19図　第127号墓　平面図、遺物分布図他 … 25
第20図　第127号墓　平面図、出土遺物
　　（鉄釘、銅銭）他 …… 26
第21図　第128号墓　遺物分布図 …… 27
第22図　第128号墓　平面図、出土遺物
　　（鉄釘、銅銭）他 …… 28
第23図　第130号墓　平面図、遺物分布図他 … 31
第24図　第130号墓　出土遺物（鉄釘）…… 32
第25図　第136号墓　平面図、出土遺物
　　（鉄釘）他 …… 33
第26図　第136号墓・土壙９　平面図、出土遺物
　　（銅銭）他 …… 34
第27図　第13号墓　遺物分布図 …… 35
第28図　第13号墓　平面図他 …… 36
第29図　第13号墓　出土遺物（鉄釘）…… 37
第30図　第13号墓　出土遺物
（鉄釘、数珠玉、銅銭）…… 38
第31図　第13号墓　出土遺物（銅銭）…… 39
第32図　第９号墓・140号墓・８号墓
　　平面図、遺物分布図他 …… 40
第33図　第９号墓　平面図、出土遺物（鉄釘）他
　　…… 41
第34図　第９号墓　出土遺物（数珠玉、銅銭）
　　…… 42
第35図　第９号墓　出土遺物（銅銭）…… 43
第36図　第９号墓　出土遺物（銅銭）…… 44
第37図　第22号墓　平面図、出土遺物他（銅銭）
　　…… 47
第38図　第138号墓　平面図、遺物分布図他 … 48
第39図　第138号墓　出土遺物（鉄釘、銅銭）… 49
第40図　第139号墓　平面図、遺物分布図他 … 50
第41図　第139号墓　出土遺物（鉄釘、銅銭）… 51
第42図　第10号墓・43号墓・11号墓・焼土７
　　平面図他 …… 52
第43図　第10号墓・43号墓・18号墓
　　平面図、出土遺物（鉄釘、銅銭）他 …… 53
第44図　年次別調査範囲図 …… 68
第45図　勝山館跡　中央通路遺構平面図 …… 69
第46図　調査区遺構配置図 …… 71
第47図　土壙１、溝２平面図他 …… 72
第48図　調査区出土遺物（陶磁器、骨角器）… 73
第49図　台所用品他 …… 74
第50図　台所用品他 …… 75
第51図　漁具、大工道具他 …… 76
第52図　化粧、装身具他 …… 77

第53図　鍛冶、鋼鋳造・鋼細工関係遺物 …… 78
第54図　武器・武具、文具他 …… 79
第55図　宗教、信仰関係 …… 80
第56図　アイヌ・北方関係遺物 …… 81

表目次

表1　あ2～あ7区南北セクション
東壁土層観察表（A～A'） …… 3
表2　い7・あ7・A7・B7区東西セクション
南壁土層観察表（B～B'） …… 3
表3　第130号墓土層観察表（A～A'） …… 32
表4　第130号墓土層観察表（B～B'） …… 32
表5　139号墓土層観察表（A～A'） …… 51
表6　139号墓土層観察表（B～B'） …… 51
表7　第3号墓土層観察表（A～A'） …… 54
表8　第3号墓土層観察表（B～B'） …… 54
表9　第3号墓土層観察表（C～C'） …… 54
表10　第14号墓・Pit10土層観察表（A～A'） …… 54
表11　14号墓土層観察表（B～B'） …… 55
表12　第5号墓土層観察表（A～A'） …… 55
表13　第5号墓土層観察表（B～B'） …… 55
表14　第125号墓土層観察表（A～A'） …… 55
表15　第125号墓土層観察表（B～B'） …… 55
表16　第129号墓土層観察表（A～A'） …… 56
表17　第129号墓土層観察表（B～B'） …… 56
表18　第129号墓土層観察表（C～C'） …… 56
表19　第127号墓土層観察表（A～A'） …… 56
表20　第127号墓土層観察表（B～B'） …… 57
表21　第128号墓土層観察表（A～A'） …… 57
表22　第136号墓土層観察表（A～A'） …… 57
表23　第136号墓土層観察表（B～B'） …… 57
表24　第136号墓土層観察表（C～C'） …… 57
表25　土壌9土層観察表 …… 57
表26　第13号墓土層観察表（A～A'） …… 58
表27　第8号墓・第140号墓土層観察表
（A～A'） …… 58
表28　第9号墓土層観察表（B～B'） …… 58
表29　Pit 9土層観察表（C～C'） …… 58
表30　第8号墓・第140号墓・Pit26土層観察表
（D～D'） …… 58
表31　22号墓土層観察表（A～A'） …… 58
表32　138号墓・Pit15土層観察表（A～A'） …… 59
表33　11号墓・焼土7土層観察表（A～A'） …… 59
表34　11号墓・Pit 8・43号墓土葬観察表
（B～B'） …… 59
表35　10号墓・Pit 4・焼土7土層観察表
（C～C'） …… 59
表36　焼土7土層観察表（D～D'） …… 59
表37　18号墓・Pit 2土層観察表（A～A'） …… 59
表38　18号墓土層観察表（B～B'） …… 59
表39　夷王山墳墓群　出土遺物観察表 …… 60
表40　24K3・4区東西セクション
北壁土層観察表（A～A'） …… 72
表41　23K13・14区東西セクション北壁土層
観察表（B～B'） …… 72
表42　溝2土層観察表（C～C'） …… 72
表43　勝山館跡中央通路　出土遺物観察表 …… 74

写真図版

PL. 1　遺構検出状況・出土遺物
（夷王山墳墓群）
PL. 2　遺構検出状況・出土遺物
（夷王山墳墓群・勝山館跡　中央通路）
PL. 3　過年度調査　出土遺物
PL. 4　過年度調査　出土遺物
PL. 5　遺構検出状況（夷王山墳墓群）
PL. 6　遺構検出状況（夷王山墳墓群）
PL. 7　遺構検出状況（夷王山墳墓群）
PL. 8　遺構検出状況（夷王山墳墓群）
PL. 9　遺構検出状況（夷王山墳墓群）
PL. 10　遺構検出状況（夷王山墳墓群）
PL. 11　遺構検出状況（夷王山墳墓群）
PL. 12　遺構検出状況（夷王山墳墓群）
PL. 13　遺構検出状況（夷王山墳墓群）
PL. 14　遺構検出状況（夷王山墳墓群）
PL. 15　遺構検出状況
（3～勝山館跡　中央通路）
PL. 16　遺構検出状況（勝山館跡　中央通路）
PL. 17　出土遺物（銅銭）－夷王山墳墓群
PL. 18　出土遺物（銅銭）－夷王山墳墓群
PL. 19　出土遺物（銅銭）－夷王山墳墓群
PL. 20　出土遺物（銅銭）－夷王山墳墓群
PL. 21　出土遺物（鉄釘）－夷王山墳墓群
PL. 22　出土遺物（鉄釘）－夷王山墳墓群
PL. 23　出土遺物（鉄釘・縫針他）
－夷王山墳墓群
PL. 24　出土遺物（勝山館跡　中央通路）
PL. 25　過年度調査　出土遺物
PL. 26　過年度調査　出土遺物
PL. 27　過年度調査　出土遺物
PL. 28　過年度調査　出土遺物

例　言

1．本書は史跡上之国勝山館跡の史跡等活用特別事業（ふるさと歴史の広場）に伴う平成15年度の遺構確認発掘調査・整備事業の概要をまとめたものである。

2．発掘調査の体制は次のとおりである。

調査主体者　上ノ国町教育委員会
教育長　上野秀勝

指導　史跡上之国勝山館跡調査研究専門員
朝尾直弘　京都橘女子大学教授
網野善彦　歴史家
榎森進　東北学院大学教授
仲野浩　東北芸術工科大学名誉教授

上ノ国町史跡整備検討委員会
仲野浩　東北芸術工科大学名誉教
榎森進　東北学院大学教授
鈴木亘　鶴見大学講師
田中哲雄　東北芸術工科大学教授
宮本長二郎　東北芸術工科大学教授
渡辺定夫　東京大学名誉教授

主管　上ノ国町教育委員会文化財課
課長　渡部孝之
主任学芸員　松崎水穂
文化財係長・学芸員　斎藤邦典
博物館整備係　須田俊一郎
嘱託発掘調査員　塚田直哉
加賀谷央
郷土資料調査専門員　久末久義
臨時事務補　木村さおり
調査担当者　松崎水穂
発掘調査員　塚田直哉
調査補助員　笠谷奈智子　竹内江美子
作業員　池田泰子　井越祥子　大谷弓子　奥寺京子　川口泰子　川村恵司　久保田真小滝あけみ　笹浪竹志　鈴木真澄　住吉春子　目黒加奈子　鳶田晃子

3．本書の編集は、松崎・塚田が協議の上、塚田が行なった。執筆は、松崎・塚田が行ない文末に分担者名を記した。また、遺構・遺物の実測図と図版等の作成は、調査補助員・作業員が行なった。

4．本書に掲載の写真撮影は、塚田・川村が行なった。写真撮影は、35㎜カラーリバーサル及びカラーネガの２種類のフィルムを使用した。

5．挿図の縮尺は、各図ごとにスケールを付している。写真の縮尺は不統一であるが、銅銭・鉄釘・縫針等の遺物写真については、縮尺を２分の１で掲載した。

6．遺物の点数については、現場での取り上げ点数を表す。

7．土層の色調観察には、「新版標準土色帳」（農林水産技術会議事務局1993）を使用した。

8．本書に掲載している遺物には観察表を付し、法量及び諸特徴を一覧できるようにした。また、表中の（　）については、欠損などして残存している現存値を示し、［　］は鉄釘などに棺の板材が付着したり、錆のために正確な長さが計測できないための推定値として示した。

9．鉄釘の分類については、「近世の釘」（金箱1984）を参考にした。銅銭の分類については、「新版　中世出土銭の分類図版」（永井2002）を参考にした。また陶磁器の分類については、「14～16世紀の青磁碗の分類について」（上田1982）、「14～16世紀の白磁の型式分類と編年」（森田1982）、「15、16世紀の染付碗、皿の分類とその年代」（小野1982）、「瀬戸・美濃大窯製品の生産と流通」（藤澤2001）、「県道鯖江・美山線改良工事に伴う発掘調査報告書（朝倉氏遺跡資料館1983）を参考にした。

10．出土遺物、調査写真・図面等は、上ノ国町教育委員会で管理・保管している。

11．写真図版には下記の写真を使用させて頂いた。記して御礼申し上げる。ＰＬ３－４、ＰＬ４－６・７、ＰＬ25－２（提供　アサヒグラフ　撮影　熊谷武二）、ＰＬ３－１・２・４、ＰＬ４－８、ＰＬ25－１、ＰＬ27－３（提供　中央公論新社　撮影　笹野武則）、ＰＬ26－４・８、ＰＬ28－２～４・７・８（提供　（財）アイヌ文化振興・研究推進機構　撮影　津田宏昭）

12．調査ならびに本書の作成にあたり、次の関係機関と各位からご指導、ご助言を頂戴した。記して感謝申し上げたい（敬称略）。
文化庁記念物課　本中眞　磯村幸男　伊藤正義
市原富士夫　坂井秀弥　岡田康博　玉田芳英
建造物課　刈谷勇雅　上野勝久　大和智　西和

彦　日本考古学協会　外山和夫　北海道教育大学　庄井良信　札幌国際大学　澤澤百合子　札幌大学　川名広文　札幌学院大学　臼杵勲　北海学園大学　澤井玄　藤女子大学　小野裕子　駒沢大学　蓑島栄紀　函館工業高等専門学校　中村和之　鈴木孝治　ロシア極東国立総合大学トリョフスビャッキー・アナトーリー　東北芸術工科大学　松井敏也　手代木美穂　張大石　北里大学　和栗秀一　つくば国際大学　関周一　中央大学　前川要　國學院大學　岩崎厚志　昭和女子大学　菊地誠一　法政大学　中野栄夫　和氣俊行　名古屋大学　小田寛貴　南山大学　小谷凱宣　鹿児島大学　新田栄治　國立琉球大學　池田榮史　北海道開拓記念館　小林幸雄　水島未記　船山直治　三浦泰之　鈴木琢也　余市水産博物館　浅野敏昭　国立歴史民俗博物館　小野正敏　千田嘉博　久留島浩　村木二郎　上野祥史　齋藤務　小瀬戸恵美　宇治市歴史資料館　杉本宏　山口県立萩美術館・浦上記念館　上田秀夫　北海道教育庁文化課　大沼忠春　田才雅彦　伊藤直一　長沼孝　北海道埋蔵文化財センター　種市幸生　越田賢一郎　函館市教育委員会　田原良信　上磯町教育委員会　安西雅希　松前町教育委員会　久保泰　前田正憲　今金町教育委員会　宮本雅通　厚真町教育委員会　小野哲也　厚沢部町教育委員会　石井淳平　館観光促進会　佐藤永吉　山形県埋蔵文化センター　山口博之　上越市教育委員会　小島幸雄　酒々井町教育委員会　木内達彦　つくば市教育委員会　山本賢一郎　神岡町教育委員会　大平愛子　珠洲市教育委員会　平田天秋　堺市立埋蔵文化財センター　嶋谷和彦　山口市教育委員会　古賀信幸　福岡市教育委員会　折尾学　大庭康時　佐賀県教育庁　松尾法博　三加和町教育委員会　黒田裕司

引用参考文献

網野善彦・石井進編　2001「上之国勝山館跡と夷王山墳墓群から見えるもの」『北から見直す日本史』大和書房

石井進　2002「中世のかたち」『日本の中世Ⅰ』中央公論新社

上田秀夫　1982「14～16世紀の青磁碗の分類について」貿易陶磁研究第２号

小野正敏　1982「15、16世紀の染付碗、皿の分類とその年代」貿易陶磁研究第２号

金箱文夫　1984「近世の釘」『物質文化43』物質文化研究会

坂詰秀一　1986『出土渡来銭－中世－』ニュー・サイエンス社

嶋谷和彦　2001「堺の模鋳銭と成分分析」『中世の出土模鋳銭』

永井久美男　2002「新版　中世出土銭の分類図版」兵庫埋蔵銭調査会

永井久美男　2001「中世と近世初期の時期区分－ヴェトナムの後黎（前期）銭と濠銭による新説－」『出土銭貨　第15号』出土銭貨研究会

永井久美男編　1998『近世の出土銭Ⅱ－分類図版編－』兵庫埋埋銭調査会

藤澤良祐　2001「瀬戸・美濃大窯製品の生産と流通」『戦国・織豊期の陶磁器流通と瀬戸・美濃大窯製品－東アジア的視野から－』㈶瀬戸市埋蔵文化財センター

森田勉　1982「14～16世紀の白磁の型式分類と編年」貿易陶磁研究第２号

㈶アイヌ文化振興・研究推進機構　2001『よみがえる北の中・近世－掘り出されたアイヌ文化－』

朝倉氏遺跡資料館　1983『県道鯖江・美山線改良工事に伴う発掘調査報告書』

上ノ国町教育委員会　1980～2003　『史跡上之国勝山館跡Ⅰ～ⅩⅩⅤ』

上ノ国町教育委員会　1991『夷王山墳墓群Ⅱ』

上ノ国町教育委員会　1984『夷王山墳墓群』

アサヒグラフ　3822　1995.8.11号

一．夷王山墳墓群第Ⅱ地区の調査

Ⅰ　調査の概要

1．調査にいたる経緯

史跡上之国勝山館跡は、1977年に国の史跡として指定され、1979年から環境整備事業を開始する。2000年からは、史跡等活用特別事業による整備事業を進めており、その一環としてガイダンスの建設、墳墓や勝山館跡の模型の製作を計画した。

ガイダンス建設予定地には、1964、1981（昭和39、56）年に行なわれた分布調査によって、数基の墳墓の存在が確認されているところである。そのため、ガイダンス建設に先立つ発掘調査を行なうこととなった。昨年度は検出した遺構のうち、3・5・14・125・127・130・136号墓の型取りをし、遺物を取り上げずに砂で埋め戻しを行ない調査を終了した。そのため今年度は、それらの遺構から出土した遺物の取り上げ、完掘や新たに拡張した部分の調査を行なった。

2．調査位置

夷王山駐車場の東側に隣接する平坦地において、発掘調査区を設定した。夷王山墳墓群は、Ⅰ～Ⅵの地区に分布する墳墓群である。本調査区はそのうちの第Ⅱ地区とされる場所で、1989年に駐車場造成に伴う発掘調査を行なっている。その調査時に、今のところ第Ⅱ地区でしか見つかっていない十文字形の火葬施設が数基検出されており、今回の調査でもそれらの墓の検出が期待された。

3．調査方法

グリッド及び標高値は昨年度の調査で設定したものを継続して使用した。グリッドは、東から西に「い」、「あ」、A～Cのひらがな・アルファベット、北から南に0～7の算用数字を用い、4×4mのグリッドを32区画設定した。グリッド名は、アルファベット・ひらがなと算用数字の組み合わせにより呼称した。遺構の実測は、全体の平面図については、20分の1、40分の1の縮尺を用いた。個別の図面については、10分の1を原則とし、場合によっては5分の1の縮尺を用いた。遺構番号は、以前の分布調査によって登録されているものについては、それを使い、今回の調査によって新たに検出されたものについては、現在までに登録されている番号の次から検出された順に付した。遺物取り上げは、中世面より上層（Ⅰ層、Ⅱ層）のものについては、グリッド別に層位ごとに取り上げた。遺構から出土した遺物については、出土地点、標高値を記録し、層位ごとに取り上げを行なった。

調査経過

5月初～中旬

調査機材等の搬入と整備を行なう。重機を使用して昨年度に埋め戻した土の除去作業をする。今年度に新たに拡張した部分については、人力で表土を除去し、その後遺構確認調査を行なった。

5月下～6月初旬

模型の型取りをした3・5・14・125・127・130・136号墓の遺物の取り上げ、完掘を行なう。

また新たに10・13・22・138・8・9・139・140・11・43号墓を検出し、Ⅳ層上面まで掘り下げた。そして、セクションベルトを残して遺構を掘り始める。13号墓より種子製の数珠玉が数点出土する。

6月中～下旬

9号墓より銅銭が約200点、水晶製の数珠が約30点出土する。調査区内の遺構を完掘したため、全体清掃を行ない、全景写真の撮影をする。完掘した遺構に砂で埋め戻しをし、夷王山墳墓群第Ⅱ地区での作業を終了した。

4．基本層序

Ⅰ層：近現代に相当する堆積層である。

Ⅱ層：近世に相当する堆積層である。下部には1640年代降灰のＫｏ－ｄ（駒ケ岳ｄ）火山灰の層を含む。

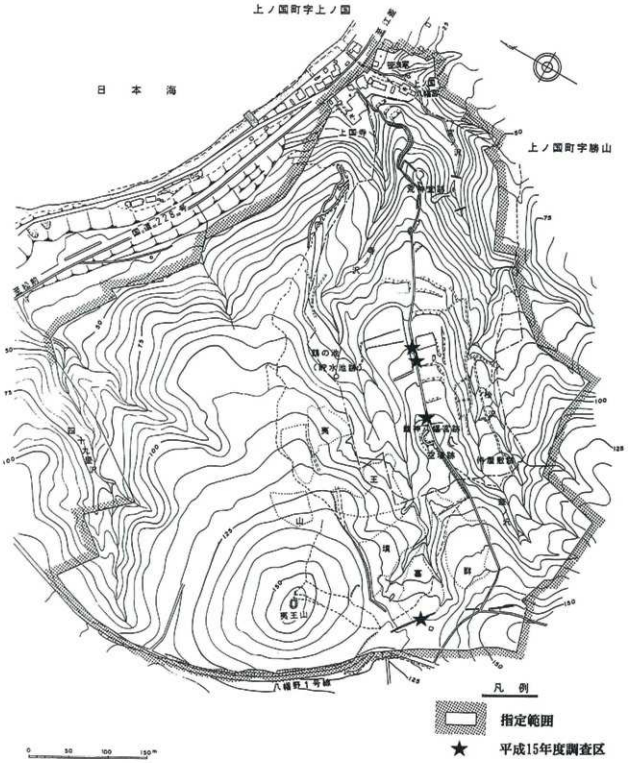
この火山灰層は上層を近世面、下層を中世面に区別するための目安としている層である。

Ⅲ層：中世後期(15～16世紀)に相当する堆積層である。

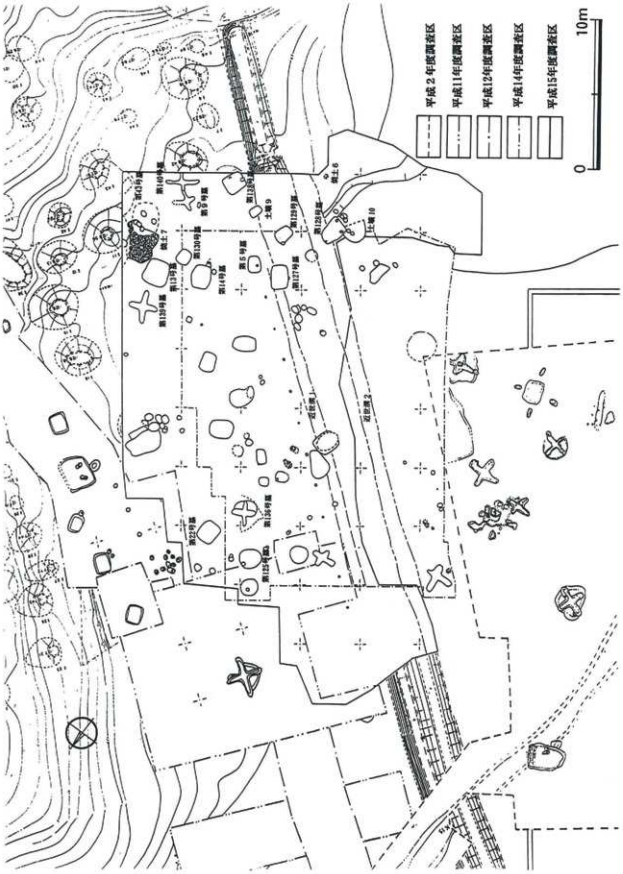
Ⅳ層：縄文～擦文時代に相当する堆積層である。黒色の腐植土層を、a層とし、擦文期に相当する層としている。その下層に堆積する10世紀中葉に降灰のＢ－Ｔｍ（白頭山－苫小牧）火山灰を、b層にし、b層の下層に堆積する黒色の腐植土層を、c層として、縄文時代に相当する層としている。

Ⅴ層：黒色もしくは黒褐色を呈し、10～30㎝大の礫を含み、湿性に富んでいる層である。

（塚田）



第1図　遺跡地形図・調査区位置図



第２図　調査区位置図

3号墓（第7・8図、ＰＬ５－４～８）

〔位置〕本調査区の東側、あ４・あ５グリッドに位置する。昭和39年度の分布調査で、登録された墓である。

〔葬法〕屈葬土葬墓

〔形態・規模〕墓壙の平面形は、隅丸長方形を呈し、長軸133cm、短軸101cm、深さ49cmを測る。その上部に直径約180cm、厚さ約20cmの円形をしたマウンド状の盛土をする。

〔棺推定規模・推定頭位〕長軸96cm、短軸54cm、高さ23cmを測り、頭位はＮ－18°－Ｗである。

〔堆積土〕盛土21層、掘り方13層（SPB～SPB'）に分層される。盛土のうち注記№ヨ～ナは棺の上部に盛土を構築した後に、盛土が棺内に崩落した自然堆積層である。墓壙の周りに見られる溝状のものは、マウンド状に盛土するためにできた掘削痕（盛土掘上げ溝）で、そこにKo－d火山灰が堆積している。

〔新旧関係〕なし

〔出土遺物〕副葬品は、漆器（塗膜）１点、銅銭７点（細片0.2ｇ）が出土している。その他に鉄釘31点、炭化物2.3ｇが出土している。漆器（塗膜）は、底部を下にして出土し、外面黒色・内面朱色をしている。銅銭は、棺中央部やや西寄りに４枚（銭９は３枚重ね）まとまって副葬し、祥符通寶、無文銭などが出土している。銅銭の下には、むしろ状の編物が敷かれており、その上に遺物が副葬されている。鉄釘の頭部形態は、１角釘、２・４～６・８頭巻釘である。また、鉄釘の出土位置と向き、もしくは木目方向から、１～４・６～８は側板→側板、５は蓋板→側板に打ち付けた釘ということを想定できる。

14号墓（第９～11図、ＰＬ６－１～５）

〔位置〕本調査区の東側、あ６グリッドに位置する。昭和56年度の分布調査で、登録された墓である。

〔葬法〕屈葬土葬墓

〔形態・規模〕墓壙の平面形は、隅丸方形を呈し長軸158cm、短軸130cm、61cmを測る。その上部に直径約180cm、厚さ約40cmの円形をしたマウンド状の盛土をする。

〔棺推定規模・推定頭位〕長軸90cm、短軸70cm、高さ42cmを測り、頭位はＮ－４°－Ｗである。

〔堆積土〕盛土57層、掘り方10層（SPA～SPA'）に分層される。盛土のうち、注記№25～57は棺内に崩落した自然堆積層である。

〔新旧関係〕５号墓・Pit10より新しく、Pit27・28より古い。

〔出土遺物〕副葬品は、漆器（塗膜）１点、銅銭５点（細片0.8ｇ）が出土している。その他に骨0.1ｇ、炭化物3.4ｇ出土している。漆器（塗膜）は底部を上にして、伏せた状態で出土している。色調は外面黒色をし、朱色で模様を施して内面は腐食のため、不明である。銅銭は、漆器の上部もしくは隣接する南側、また棺南西角付近に副葬し、その下部にむしろ状の編物が敷かれており、その上に遺物が副葬されている。宋通元寶などの銭が出土している。鉄釘の頭部形態は、４～６・10・12～15・22・24・25頭巻釘である。１～６は蓋板→側板、７～16は側板→側板、17～22は底板→側板に打ち付けた釘と思われる。

５号墓（第12～14図、PL６－６～８、PL７－１～２）

〔位置〕本調査区の東側、Ａ６グリッドに位置する。昭和56年度の分布調査で、登録された墓である。

〔葬法〕屈葬土葬墓

〔形態・規模〕墓壙の平面形は、隅丸長方形を呈し、長軸113cm、短軸92cm、深さ39cmを測る。その上部に直径約290cm、厚さ約30cmの円形と思われるマウンド状の盛土を構築する。

〔木棺推定規模・推定頭位〕長軸70cm、短軸42cm、高さ15cmを測り、頭位はＮ－23°－Ｗである。

〔堆積土〕マウンド25層、掘り方８層（SPA～SPA'）に分層される。盛土のうち、注記№ロ～ノは棺内に崩落した自然堆積層である。墓壙の周りに見られる溝状のものは、盛土掘上げ溝でそこにKo－d火山灰が堆積している。

〔新旧関係〕14号墓・Pit16より古い。

〔出土遺物〕副葬品は、漆器（塗膜）１点、銅銭44点（細片2.3ｇ）出土している。その他に人骨0.1ｇ、毛髪数点、炭化物2.4ｇ出土している。フローテーションより、白磁端反皿（Ｅ群）１点が出土している。漆器（塗膜）は、底部を下にして出土し、色調は、外面については腐食のため不明で、内面朱色をしている。銅銭は、棺中央やや西寄りにまとまって副葬し（銭11は31枚重ね）、繊維状の織物が付着しているものも見られた。また盛土内からも銅銭が出土する（銭36～40・54・57・58）

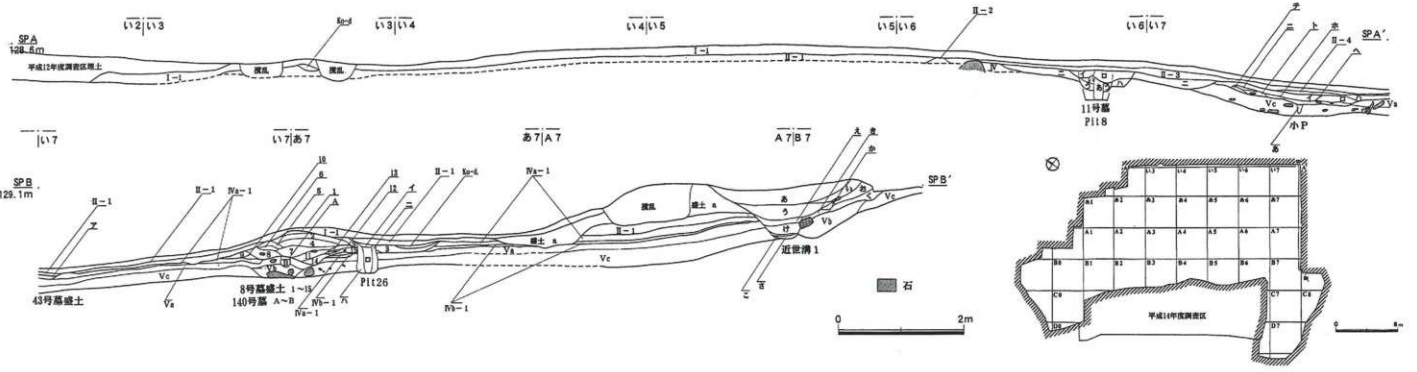


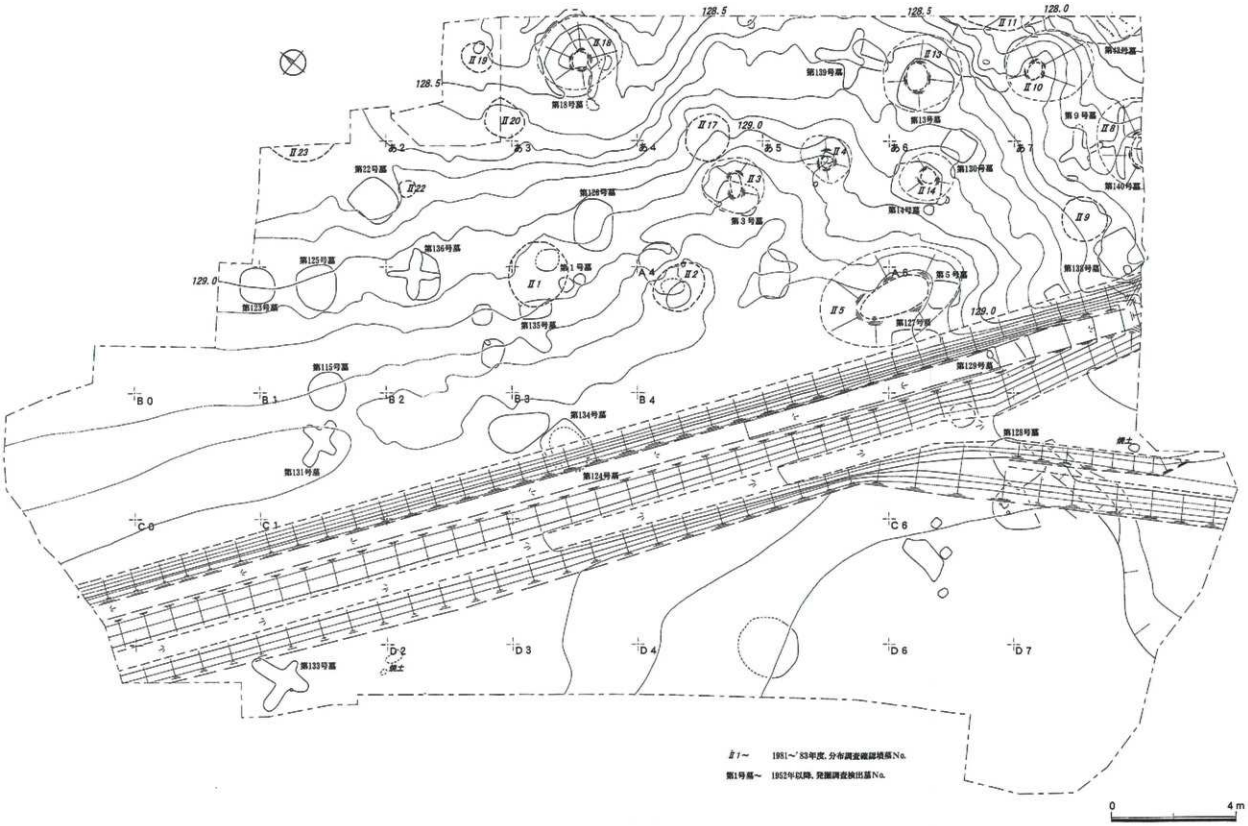
表1　あ2～あ7区南北セクション東壁土層観察表（A～A′）

	Ⅰ－1	10YR3/2	黒褐	ローム	ソフト	
	Ⅱ－1	10YR2/2	黒褐色	礫粒微量　ローム	ソフト	炭粒微量
	Ⅱ－2	10YR2/2	黒褐色	Ko-dブロック	ソフト	
	Ⅱ－3	10YR3/4	暗褐色	Ko-dブロック少量	ややハード	
	Ⅱ－4	10YR3/4	暗褐色	Ko-d砂状に多量	ややハード	
	Va	10YR2/2	黒褐色		ややソフト	
	Vc	10YR2/2	黒褐色		シルト　ソフト	
11号墓盛土	イ	7.5YR3/2	黒褐色	礫粒	ややソフト	
					(a)よりやや暗い	炭粒微量　焼土粒
	ロ	7.5YR3/2	黒褐色	Ko-d多量　礫粒	ソフト	炭粒微量　焼土粒
	ハ	7.5YR3/2	黒褐色	Ko-d多量　礫粒　ソフトローム	ソフト	炭粒微量　焼土粒
	ニ	7.5YR3/2	黒褐色	Ko-d多量　礫粒	ややソフト	焼土粒
43号墓	イ	10YR3/1	黒褐色	Ko-dブロック微量　B-Tm	ややハード	
	ロ	10YR2/3	黒褐色	Ko-d・B-Tmブロック微量	ややハード	
	ハ	10YR3/2	黒褐色	Ko-dブロック少量	ややハード	
	ニ	10YR3/1	黒褐色	B-Tm層状に多量	ややソフト	
	ホ	10YR2/3	黒褐色		ややハード	炭粒微量
	ヘ	10YR2/2	黒褐色	Ko-dブロック微量	シルト	
					ややハード	
					ややソフト	炭粒微量
	ト	10YR3/2	黒褐色		ややハード	
	チ	10YR3/2	黒褐色	B-Tmブロック微量	ややハード	
Pit8	あ	7.5YR3/2	黒褐色	Ko-d多量　礫粒　ローム粒	ソフト	
	い	7.5YR3/3	暗褐色	礫粒	ソフト	焼土粒　炭粒微量
	う	7.5YR3/3	暗褐色	礫粒　ローム粒	ややソフト	焼土粒　炭粒微量
小P	あ	10YR2/2	黒褐色		シルト　ソフト	

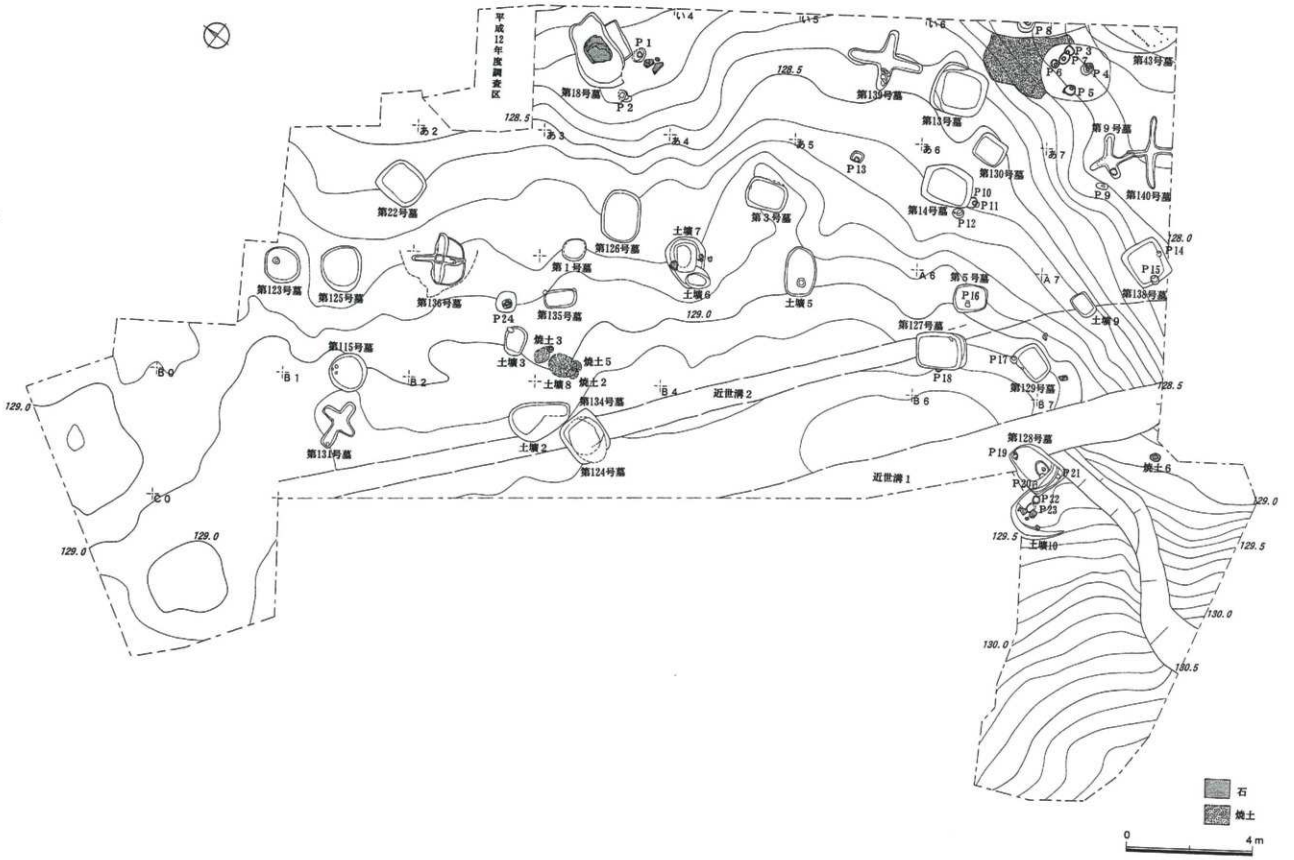
表2　い7・あ7・A7・B7区東西セクション南壁土層観察表（B～B′）

	Ⅰ－1	10YR3/3	暗褐色		ややソフト	
	Ⅱ－1	10YR3/3	暗褐色	Ko-dブロック少量	ややソフト	炭粒微量
	Ⅳa－1	10YR2/1	黒色	Ko-dブロック微量	ややハード	
	Ⅳb－1	10YR4/6	褐色	B-Tm　黒褐色土少量	ややソフト	
	Va	10YR2/2	黒褐色		ややソフト	
	Vb	10YR2/2	黒褐色	黄褐色ロームブロック×1	ソフト	
	Vc	10YR2/1	黒色		シルト　ソフト	
盛土（土層）	a	10YR3/3	暗褐色	Ko-dブロック少量	ややハード	
43号墓盛土	ア	10YR3/2	黒褐色		ややハード	炭粒微量
8号墓盛土	1	10YR3/3	暗褐色	玉砂利多量	ややソフト	
	2	10YR3/2	黒褐色	玉砂利微量　B-Tm微量	ソフト	
	3	10YR2/2	黒褐色	Ko-dブロック微量	ややハード	炭粒微量
	4	10YR2/2	黒褐色	Ko-dブロック微量　B-Tmブロック微量	ややソフト	
	5	10YR3/1	黒褐色	B-Tm層状に中量	ややソフト	炭粒微量
	6	10YR3/1	黒褐色		ややハード	炭粒微量
	7	10YR2/2	黒褐色	B-Tm粒微量	ややハード	炭粒微量
	8	10YR3/1	黒褐色		ややハード	炭粒微量
	9	10YR3/2	黒褐色	B-Tmブロック少量	ややソフト	炭粒微量
	10	10YR3/2	黒褐色	B-Tm中量　Ko-dブロック微量	ややソフト	炭粒少量
	11	10YR2/2	黒褐色	B-Tmブロック微量	ややハード	
	12	10YR2/2	黒褐色	B-Tmブロック微量	ややソフト	
	13	10YR2/3	黒褐色	黄褐色ロームブロック中量	ややハード	
	14	10YR2/1	黒色	B-Tmブロック微量	ややソフト	
	15	10YR2/2	黒褐色	B-Tmブロック微量	ソフト	
140号墓	A	10YR3/2	黒褐色		ソフト	炭粒微量
	B	10YR3/1	黒褐色		ソフト	炭粒微量
Pit26	イ	10YR2/2	黒褐色	Ko-d多量	ハード	
	ロ	10YR2/2	黒褐色	Ko-dブロック少量　B-Tmブロック微量	ハード	
	ハ	10YR2/2	黒褐色	Ko-dブロック微量	ややハード	
	ニ	10YR2/2	黒褐色	Ko-dブロック微量　B-Tmブロック少量	ややハード	
近世溝1	あ	10YR2/3	黒褐色		ややソフト	炭粒少量
	い	10YR3/3	暗褐色		ややソフト	炭粒微量
	う	10YR3/3	暗褐色	砂質　黄褐色ローム粒少量	ややソフト	
	え	10YR3/4	暗褐色		ややハード	
	お	10YR5/6	黄褐色	ローム　黒褐色土少量	ややハード	
	か	10YR3/3	暗褐色	黄褐色ローム粒少量	ややハード	
	き	10YR3/3	暗褐色	黄褐色ローム粒微量	ややソフト	
	く	10YR2/3	黒褐色	黄褐色ローム粒少量	ややソフト	
	け	10YR5/6	黄褐色	ローム　黒褐色土微量	ハード	
	こ	10YR3/3	暗褐色		ややソフト	
	き	10YR5/6	黄褐色	黒褐色土微量	ややソフト	

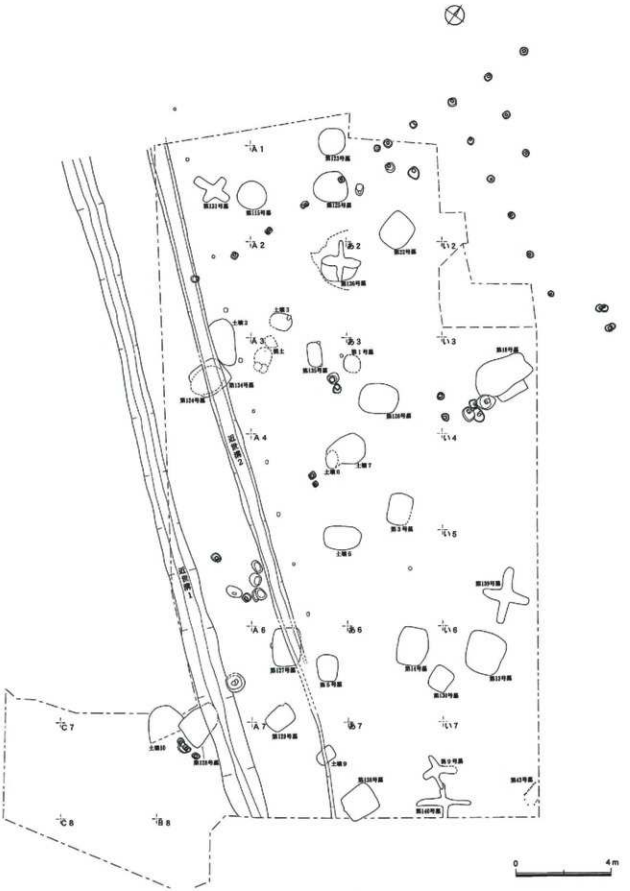
第3図　土層堆積図



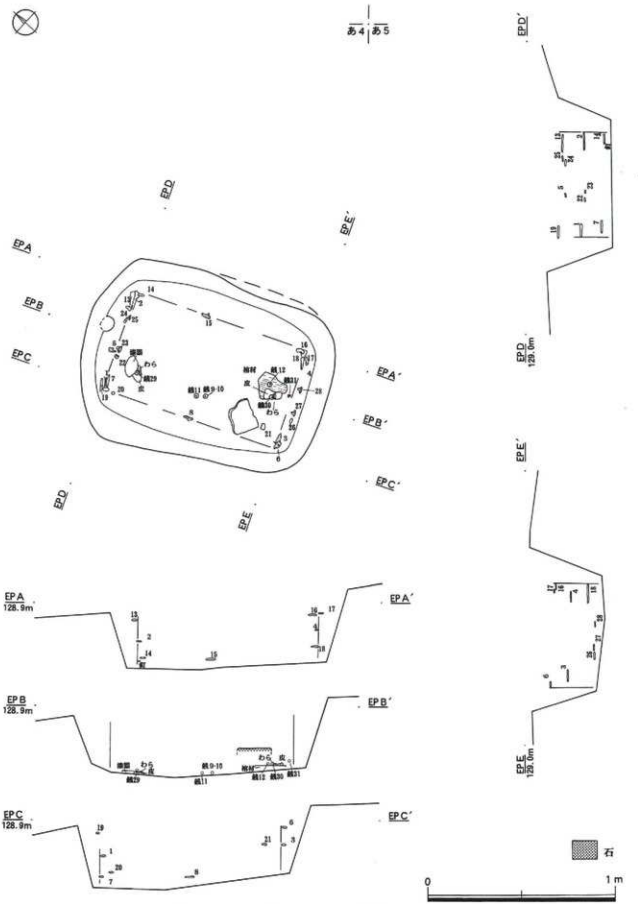
第４図　分布調査・発掘調査墳墓位置関係図



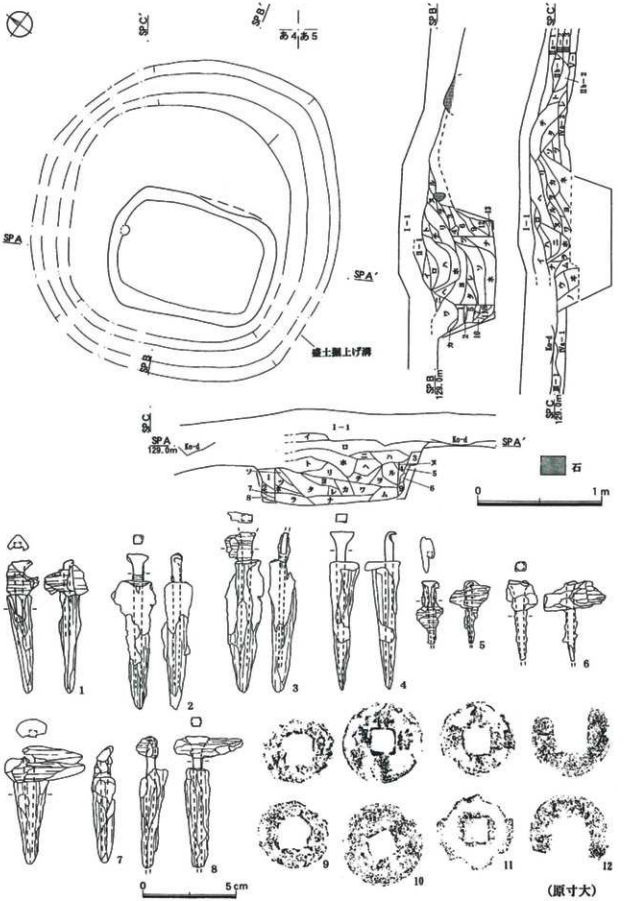
第5図　調査区遺構配置図



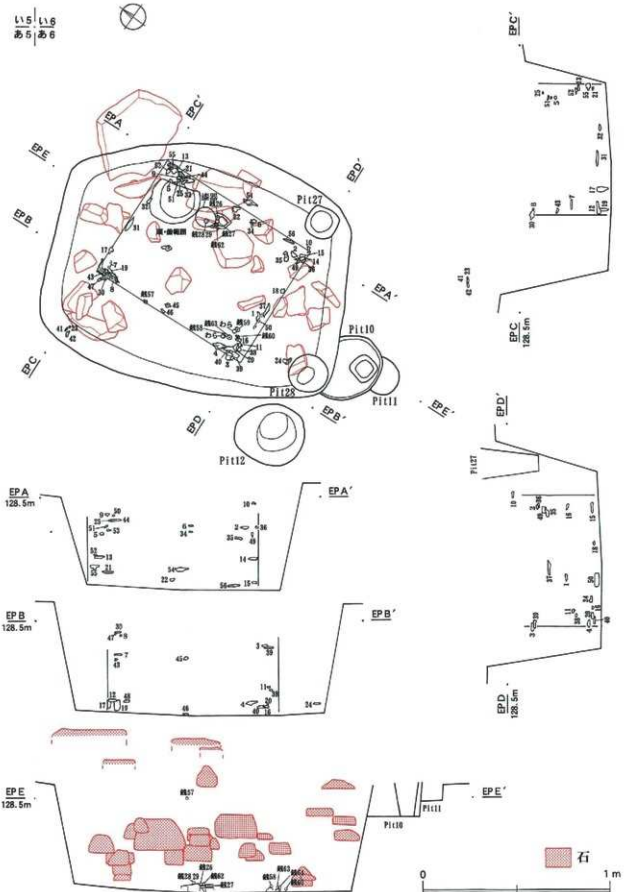
第６図　近世以降柱穴等検出状況



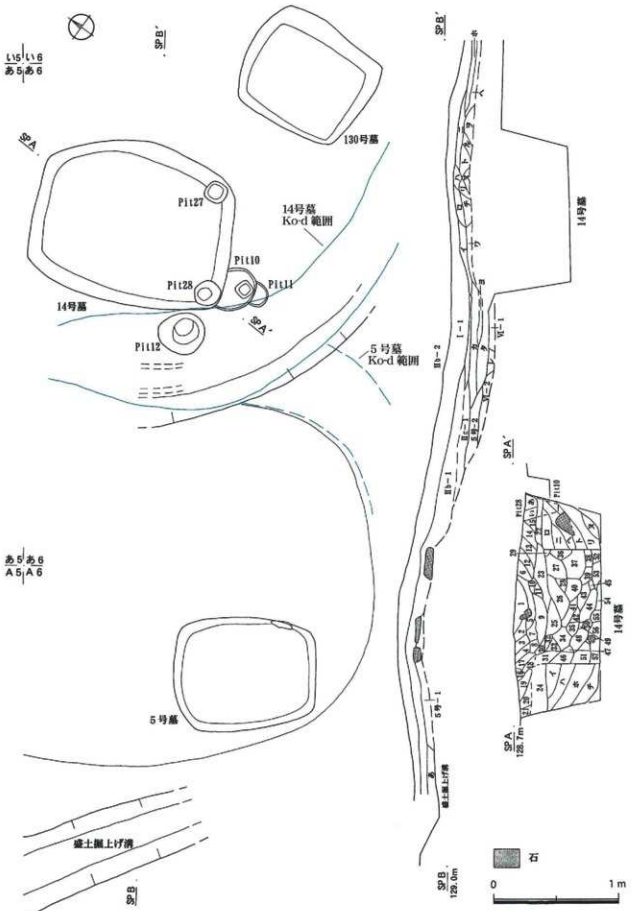
第７図　第３号墓　平面図、遺物分布図他



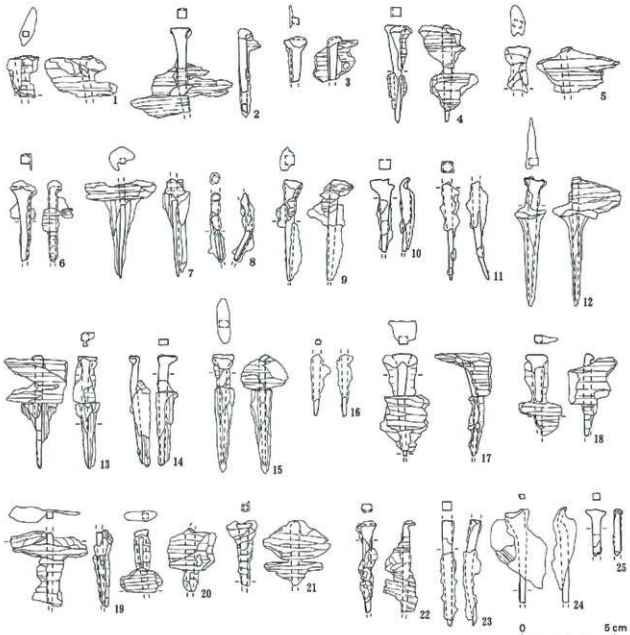
第8図　第3号墓　平面図、出土遺物(鉄釘、銅銭)他

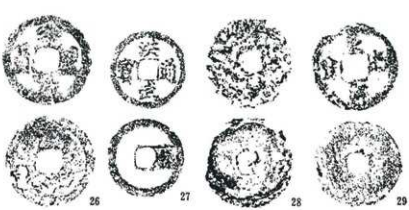


第９図　第14号墓　平面図、遺物分布図他



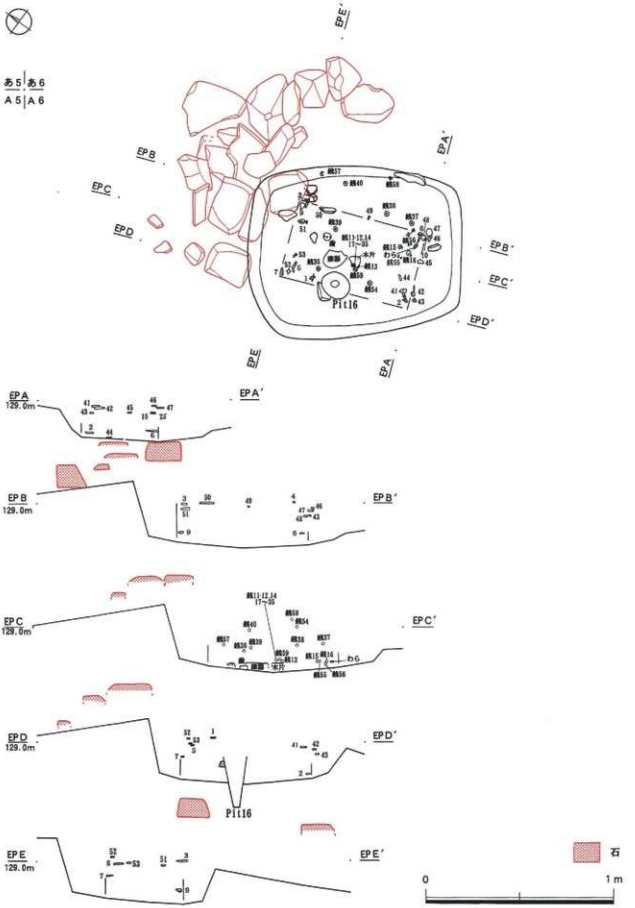
第10図　第14号墓・5号墓・130号墓　位置関係図他



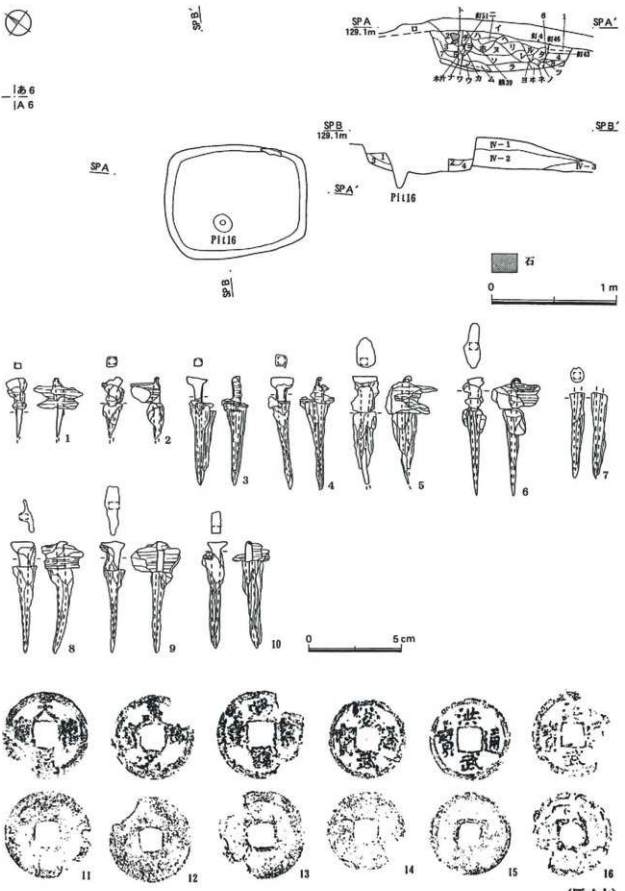


(原寸大)

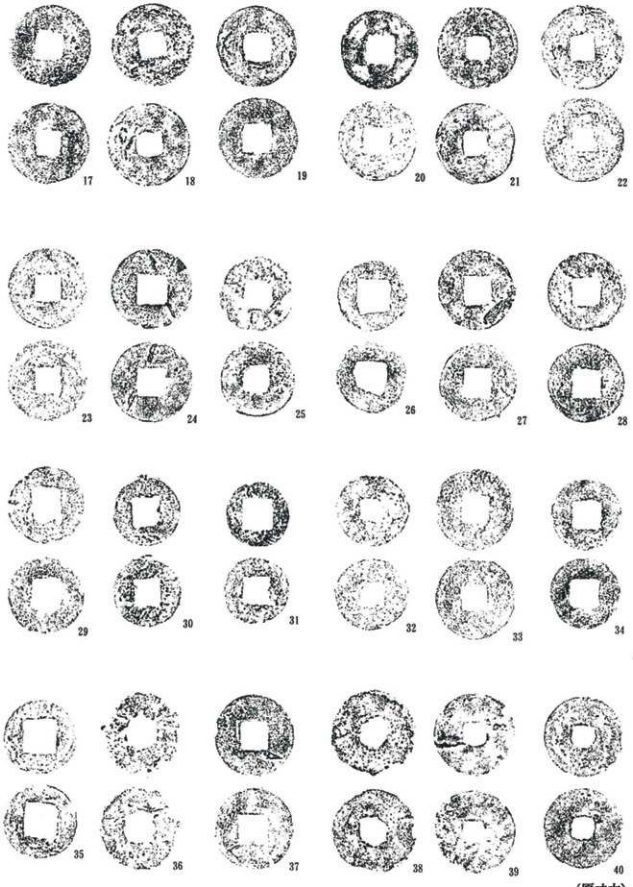
第11図　第14号墓　出土遺物(鉄釘、銅銭)



第12図　5号墓　平面図、遺物分布図他



第13図　第５号墓　平面図・出土遺物(鉄釘、銅銭)他



第14図　第５号墓　出土遺物(銅銭)

ことから、棺を埋めた状態で撒いたものと思われる。その銭種は約半数を無文銭が占め、その他に洪武通寶などが出土している。鉄釘の頭部形態は、1～6・8～10頭巻釘である。1は蓋板→側板、2～10は側板→側板に打ち付けた釘である。

125号墓（第15・16図、PL 7－3～5）

〔位置〕本調査区の北側、A 1グリッドに位置する。2002年度の発掘調査で新たに発見された墓である。

〔葬法〕火葬墓

〔形態・規模〕墓壙の平面形は、円形を呈し、長軸142cm、短軸127cm、深さ17cmを測る。盛土は確認できなかった。

〔堆積土〕13層（SPB～SPB'）に分層され、覆土中にローム粒を含む層位が多く見られるため、人為堆積と思われる。

〔新旧関係〕127号墓より新しい。

〔出土遺物〕副葬品は、銅銭17点（細片5.8g）が出土している。その他に鉄釘51点、人骨469.2g、炭化物53.8gが出土している。出土遺物は、いずれも被熱を受けている。銅銭は、皇宋通寶、政和通寶、嘉泰通寶などが出土している。鉄釘の頭部形態は、すべて頭巻釘である。

129号墓（第17・18図、PL 7－6～8、PL 8－1～2）

〔位置〕本調査区の南側、A 6・A 7グリッドに位置する。2002年度の調査で新たに確認された墓である。

〔葬法〕屈葬土層墓

〔形態・規模〕墓壙の平面形は、隅丸長方形を呈し、長軸122cm、短軸92cm、深さ43cmを測る。長軸約250cm、短軸約170cm、厚さ約40cmの楕円形をしたマウンド状の盛土をする。

〔木棺推定規模・推定頭位〕長軸70cm、短軸44cm、高さ28cmを測り、頭位はN－11°－Wである。

〔堆積土〕盛土29層、掘り方11層（SPB～SPB'）に分層される。盛土のうち注記№ナ～ヤは、棺内に崩落した自然堆積層である。

〔新旧関係〕127号墓より新しく、Pit17より古い。

〔出土遺物〕副葬品は、漆器（塗膜）1点、銅銭19点（細片0.3g）、栗2点が出土している。その他に鉄釘35点、骨0.2g、炭化物45g出土している。漆器（塗膜）は底部を下にして出土し、その色調は、外面濃い茶色・内面朱色を呈する。銅銭は、棺中央部（銭22・29は3枚重ね）と南側やや西寄りの2ヶ所にまとまって副葬されており、その上部を、樹皮のようなものが覆って、その下部にはむしろ状の編物（図中ではわらと表記）が敷かれている。また、盛土内からも出土する（銭24・25・28・30・31・46・47・48・49）ことから、棺埋めた時点で撒いたものと思われる。また銅銭は、皇宋通寶や洪武通寶、永楽通寶などが出土している。栗が漆器（塗膜）の脇から出土しており、秋頃の埋葬を想定できる。

127号墓（第19・20図、PL 8－3～6）

〔位置〕本調査区の南側、A 6グリッドに位置する。2002年度の調査で新たに確認された墓である。

〔葬法〕屈葬土葬墓

〔形態・規模・方位〕墓壙の平面形は、隅丸長方形を呈し、長軸160cm、短軸120cm、深さ48cmを測る。

〔棺推定規模・推定頭位〕長軸91cm、短軸66cm、高さ32cmを測り、頭位はN－35°－Wである。

〔堆積土〕盛土（棺内崩落土）24層、掘り方9層（SPA～SPA'）に分層される。

〔新旧関係〕Pit18より新しく、129号墓・Pit29より古い。

〔出土遺物〕漆器（塗膜）1点、銅銭14点（細片0.3g）、人骨0.1g、炭化物8.7g出土している。漆器（塗膜）は、底部を下にした状態で出土している。色調は、外面黒色をし、朱色で模様を施している。内面は朱色をしている。銅銭は、開元通寶、皇宋通寶、正隆元寶、洪武通寶などが出土し、漆器周辺や棺南、南東部に副葬されている。また、盛土内からも出土する（銭10・13・16・54）ことから、棺を埋めた状態で撒かれたものと思われる。鉄釘の頭部形態は、1～7・9頭巻釘である。1・2は蓋板→側板、3～8は側板→側板、9は底板→側板に打ち付けた釘である。

128号墓（第21・22図、PL 8－7～8、PL 9－1）

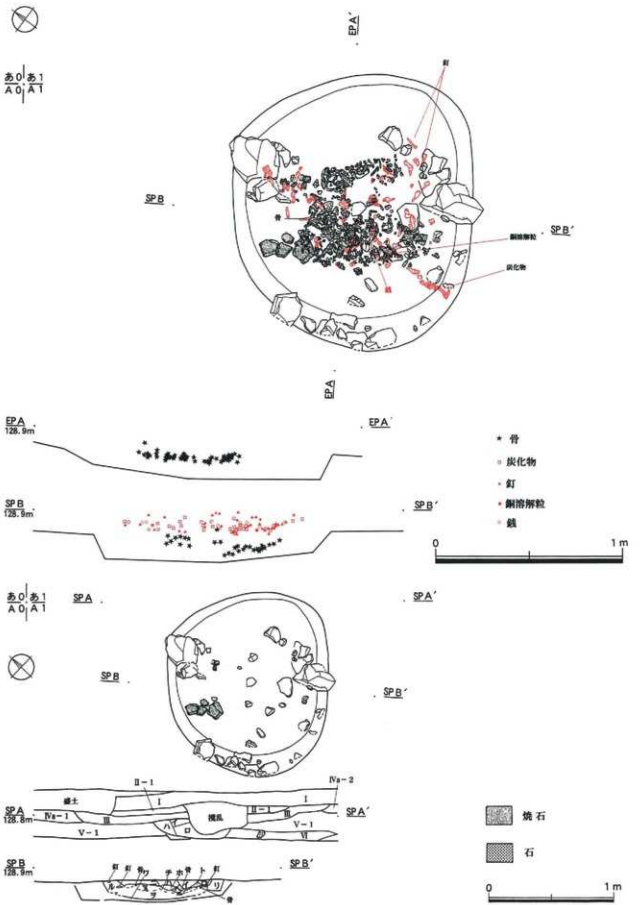
〔位置〕本調査区の南側、B 6・7グリッドに位置する。2002年度の調査で新たに確認された墓である。

〔葬法〕屈葬土葬墓

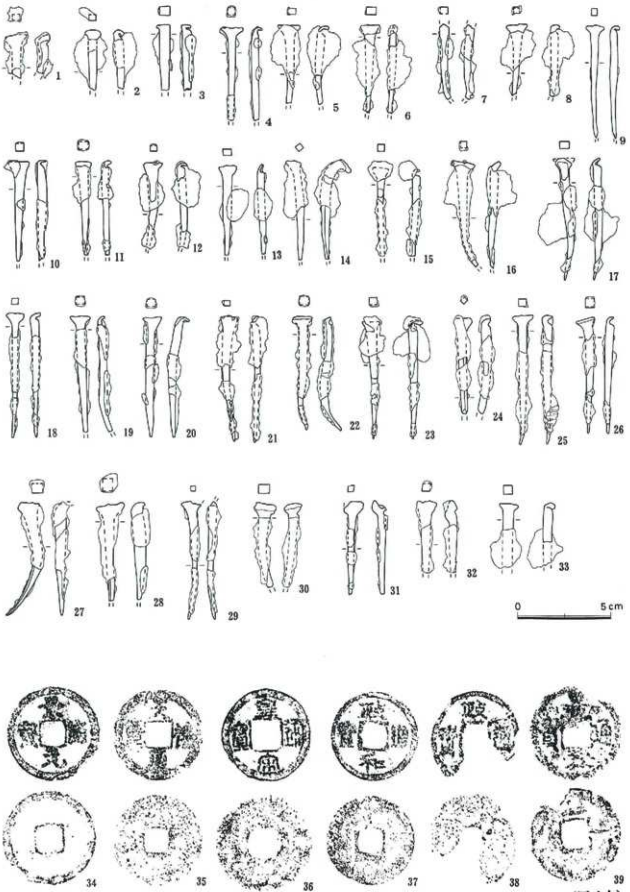
〔形態・規模〕墓壙の平面形は、隅丸長方形を呈し、長軸170cm、短軸117cm、深さ53cmを測る。その上部に直径約120cm、厚さ約15cmの円形をしたマウンド状の盛土をする。

〔木棺推定規模・軸方向〕長軸74cm、短軸55cm、高さ31cmを測り、頭位はN－6°－Eである。

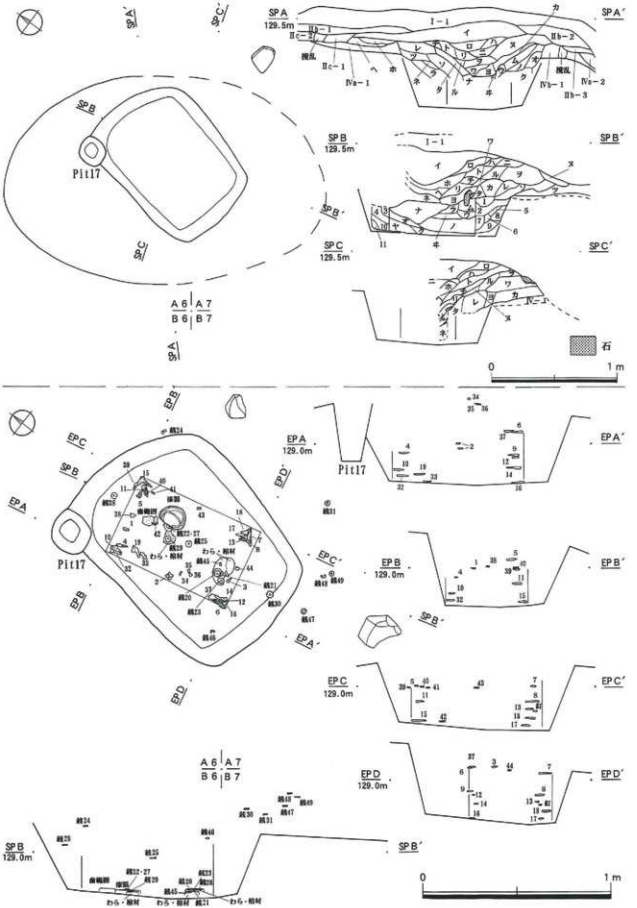
〔堆積土〕盛土22層、掘り方18層（SPA～SPA'）に分層される。盛土のうち、注記№タ～ラは棺内に崩落した自然堆積層である。



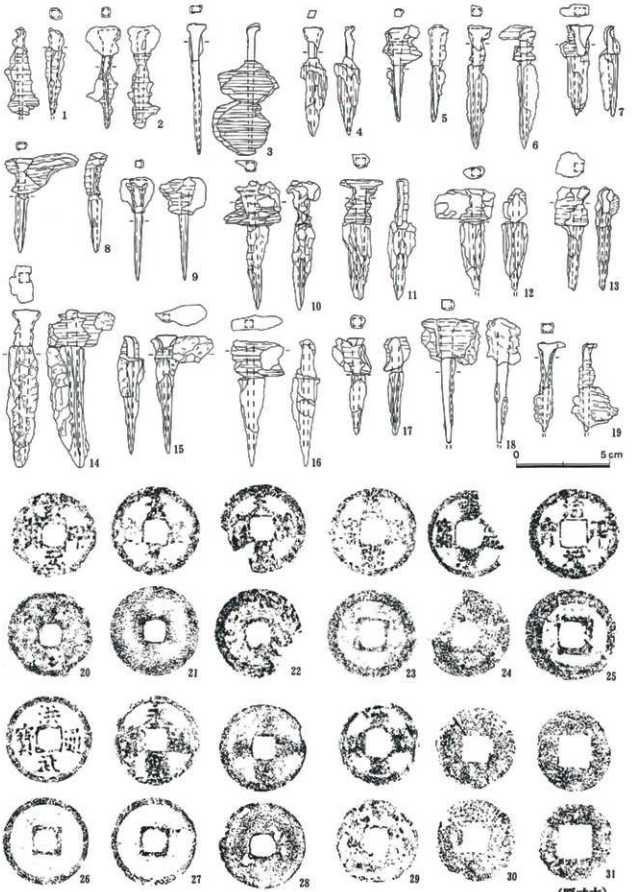
第15図　第125号墓　平面図、遺物分布図他



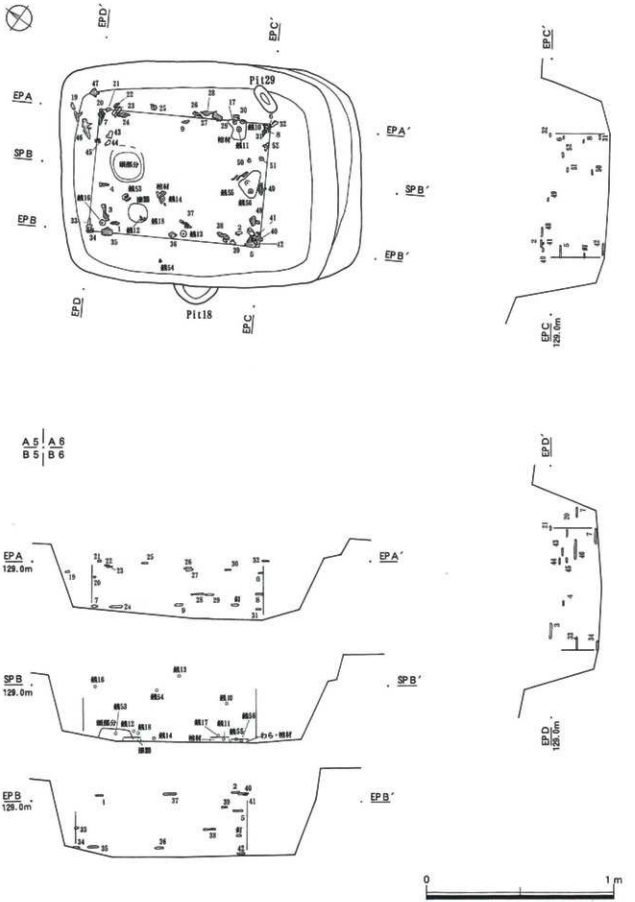
第16図　第125号墓　出土遺物(鉄釘、銅銭)



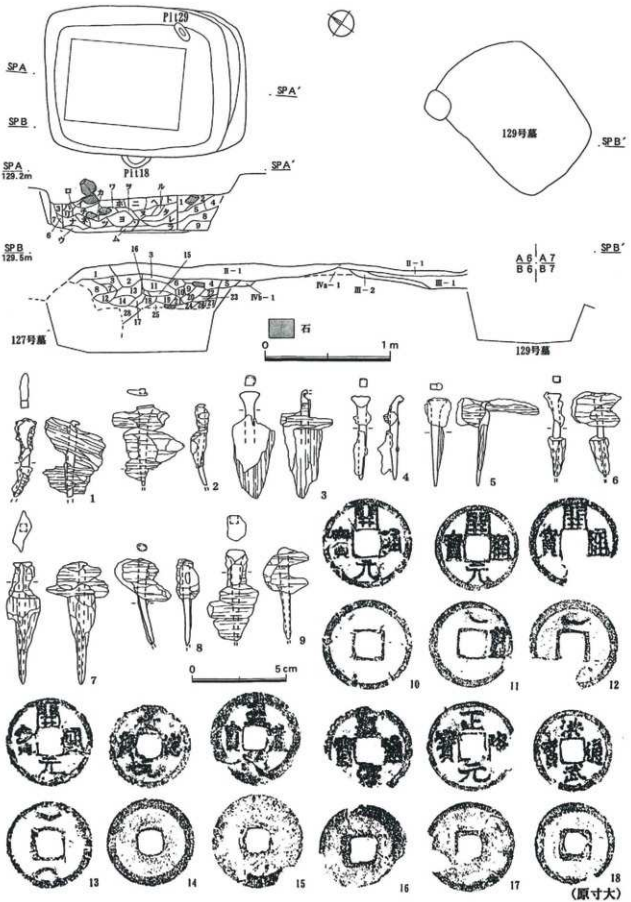
第17図　第129号墓　平面図、遺物分布図他



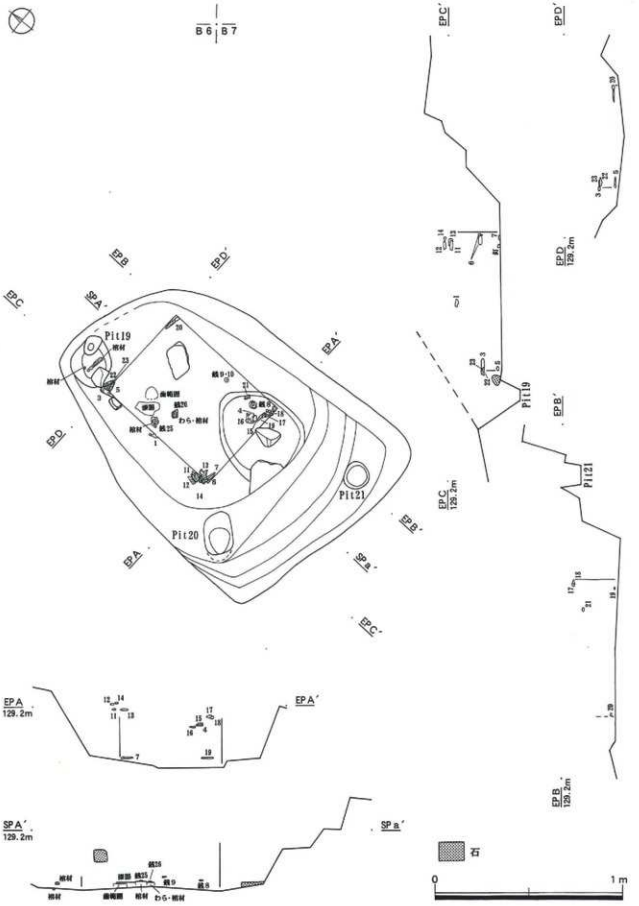
第18図　第129号墓　出土遺物(鉄釘、銅銭)



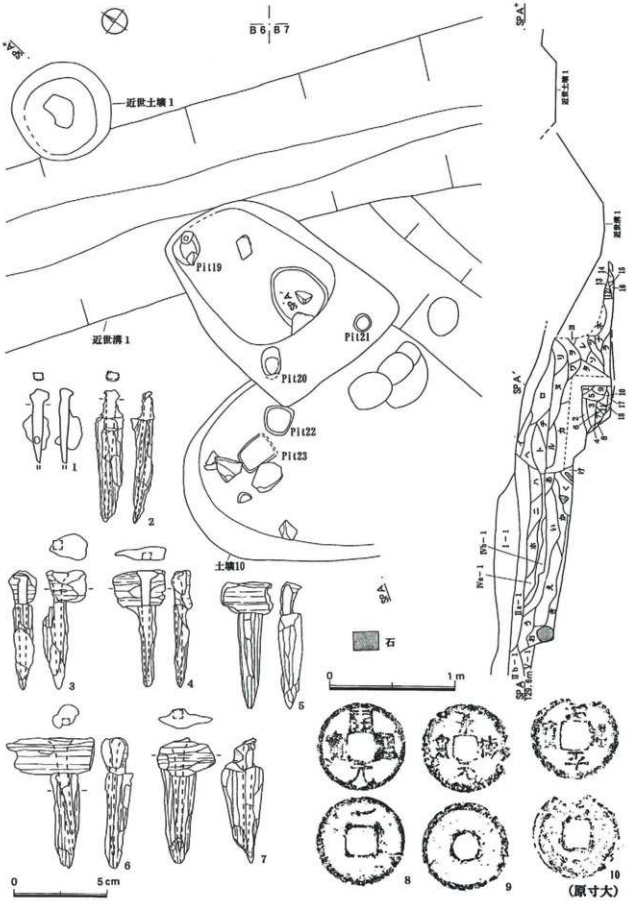
第19図　第127号墓　平面図、遺物分布図他



第20図　第127号墓　平面図、出土遺物(鉄釘、銅銭)他



第21図　第128号墓　遺物分布図



第22図　第128号墓　平面図、出土遺物(鉄釘、銅銭)他

〔新旧関係〕土壙10より新しく、Pit19・20・21より古い。
〔出土遺物〕副葬品は、漆器（塗膜）１点、銅銭４点（細片0.1g）が出土している。その他に鉄釘27点、炭化物1.6gが出土している。漆器（塗膜）は、側面を上にして出土しており、起した状態か伏せた状態か不明である。色調は、外面黒色をして朱色で模様を施し、内面朱色をしている。銅銭は、開元通寶、治平通寶、景徳元寶などが出土している。鉄釘の頭部形態は、１角釘、２～４頭巻釘である。１は蓋板→側板、２～７は側板→側板に打ち付けた釘である。

130号墓（第23・24図、PL９－２～６）

〔位置〕本調査区の南東側、あ６・い６グリッドに位置する。2002年度の調査で新たに確認された墓である。
〔葬法〕屈葬土葬墓
〔形態・規模〕墓壙の平面形は、隅丸長方形を呈し、長軸102㎝、短軸89㎝、深さ45㎝ を測る。その上部に直径210㎝、厚さ約20㎝ のマウンド状の盛土をする。
〔棺推定規模・推定頭位〕長軸57㎝、短軸41㎝、高さ15㎝ を測り、頭位はN－８°－Wである。
〔堆積土〕盛土30層、掘り方23層（SPA～SPA’）に分層される。盛土のうち、注記No ツ～マは棺内に崩落した自然堆積層である。
〔新旧関係〕13号墓より古い。
〔出土遺物〕副葬品は、漆器（塗膜）１点が出土している。その他に鉄釘17点、炭化物1.1gが出土している。漆器（塗膜）は、底部を上にして出土し、外面暗褐色・内面朱色をしている。鉄釘の頭部形態は、６・14角釘、９・11・13頭巻釘である。１～５は蓋板→側板、６～15は側板→側板に打ち付けた釘である。

136号墓（第25・26図、PL９－６～８、PL10－１～２）

〔位置〕本調査区の北側、あ２・Ａ２グリッドに位置する。2002年度の調査で新たに確認された墓である。
〔葬法〕火葬施設
〔形態・規模〕墓壙の平面形は、十文字形を呈し、長軸173㎝、短軸161㎝、深さ17㎝ を測る。
〔堆積土〕16層（SPC～SPC’）に分層され、ロームが混入することと、その堆積の仕方から人為堆積と思われる。
〔新旧関係〕127号墓より新しい。
〔出土遺物〕副葬品は、銅銭７点が出土している。その他に鉄釘５点、焼骨3.9g、炭化物304.2g出土している。出土遺物は、いずれも被熱を受けている。銅銭は被熱を受けているため、遺体を木棺に納める際に副葬し、そのまま火葬していることを想定することができる。また銅銭はすべて北宋銭で、熙寧元寶や元豊通寶、皇宋通寶などが出土している。鉄釘の頭部形態は、頭巻釘である。焼骨はその出土量の少なさから、集骨している可能性がある。

13号墓（第27～31図、PL10－６～８、PL11－１～３）

〔位置〕本調査区の南東側、い５・い６グリッドに位置する。昭和39年度の分布調査で、登録された墓である。
〔葬法〕屈葬土葬墓
〔形態・規模〕墓壙の平面形は、隅丸方形を呈し、長軸172㎝、短軸157㎝、深さ57㎝を測る。その上部に直径約270㎝、厚さ約20㎝の円形をしたマウンド状の盛土をする。
〔木棺推定規模・軸方向〕長軸90㎝、短軸61㎝、高さ36㎝を測り、軸方向はN－４°－Wである。
〔堆積土〕盛土（棺内崩落土）16層、掘り方11層に分層される。10～20㎝大の礫が、掘り方部分に一定のレベルで、集中して出土することから、意図的に大きい礫を土と一緒に埋め戻していると想定される。また、盛土掘上げ溝が見られ、そこにKo－d火山灰が堆積している。
〔新旧関係〕130号墓より新しい。
〔出土遺物〕副葬品は、漆器（塗膜）１点、銅銭36点（細片0.8g）数珠玉（種子製）17点が出土している。その他に棺内から鉄釘31点、歯１点、人骨0.6g、炭化物17.6g、縄文土器１点、石器１点が出土している。漆器（塗膜）は底部を上にして、伏せた状態で出土している。色調は、外面黒色をし、内面朱色と思われる。銅銭は、棺中央部やや西寄り（銭49と銭58は３枚重ね）と南部（銭52は５枚、銭56は３枚重ね）にまとまって副葬している。その銭種は北宋銭を中心として、皇宋通寶や朝鮮通寶、洪武通寶、ヴェトナムの紹平通寶などが出土している。銅銭36点のうち16点（銭48・51・53・54・57・61～63・70・74・75・77～81）は、盛土内から出土しいるため、棺を埋めた時点で撒いたものと思われる。また、銅銭49・50・65の下側にむしろ状の編物が敷かれていた。種子製の数珠玉が、銭49・58の周辺に、まとまって出土し、そ

の形態は扁平形（31～45）のものと棗形（46）のものがある。数珠玉の個体数は、16個体と思われる。鉄釘の頭部形態は、釘１～８・12～21・23・25～28・30頭巻釘である。また１～８蓋板→側板、９～20側板→側板、21～30底板→側板に打ち付けた釘である。

８号墓（第32・33図、PL10－３～５）

〔位置〕本調査区の南東壁に接し、あ６・い６グリッドに位置する。昭和39年度の分布調査で、登録された墓である。今回の調査では、墓の主体部が調査区外に存在するために、調査区内で観察できる盛土部分のみの調査となった。

〔葬法〕未完掘のため不明

〔形態・規模〕壁面で観察できる範囲で、盛土が直径約350㎝、厚さ約40㎝堆積している。

〔堆積土〕盛土15層に分層される。盛土の頂部では、直径0.5～１㎝大の玉砂利が多数混入している。土層注記でＶと表記した層は、黒色を呈し、10～30㎝大の礫を多く含み、湿性に富んでいる層である。８号墓が立地している場所は、東側に向かって傾斜しており、その下方には沢が存在している。この黒色土層は、調査区北東壁のい６・い７グリッドの境目あたりから堆積し、調査区の東側に見られる土層である。そのため大雨が降雨したときなどに、雨水とともに礫や土砂もこの傾斜地を伝わりそれらが堆積した土層と思われ、沢に至る流路であった可能性を想定できる。

〔新旧関係〕9･140号墓より新しく、Pit26より古い。

〔出土遺物〕なし

９号墓（第32～36図、PL9－4～8、PL10－1～3）

〔位置〕本調査区の南東壁寄り、あ６・い６グリッドに位置する。昭和56年度の分布調査で、登録された墓である。集石を除去した際に、遺構のプランを確認した。

〔葬法〕火葬施設

〔形態・規模〕墓壙の平面形は、十文字形を呈し、長軸149㎝、短軸144㎝、深さ22㎝を測る。

〔堆積土〕４層に分層される。

〔新旧関係〕140号墓より新しく、８号墓より古い。

〔出土遺物〕副葬品は、銅銭202点（細片10.9g）、数珠玉（水晶製）34点が出土している。その他に鉄釘82点、人骨329.7g、炭化物53.2gが出土している。出土遺物は、いずれも被熱を受けている。銅銭は、１つの墓から出土した点数としては、これまでの調査で最も多い出土点数で、北宋銭を中心として、祥符元寶や皇宋通寶、天聖元寶などが出土している。また、銅銭の内側の穴を見通せるように重なって出土することから、緡の状態で副葬された可能性が想定される。数珠玉の個体数は23個体と思われ、T字状に穿孔された丸形の玉（50）や棗形の玉（48、49）などが出土している。鉄釘の頭部形態は、すべて頭巻釘である。

140号墓（第32・33図、PL９－８、PL10－１）

〔位置〕本調査区の南東壁に接し、あ６・い６グリッドに位置する。今回の発掘調査で新たに発見された墓である。８号墓のマウンド状の盛土を除去した際に、遺構のプランを確認した。

〔葬法〕遺構の形態としては、十文字形を呈していることから火葬施設とすることができるが、堆積土中に焼土や炭化物といった混入物が見られず、火葬施設として使用した痕跡を本遺構からは、確認することができなかった。

〔形態・規模〕墓壙の平面形は、十文字形を呈し、長軸227㎝、短軸145㎝、22㎝を測る。140号墓のものと思われる盛土は確認できなかった。

〔堆積土〕10層に分層され、自然堆積と考えられる。上部には、８号墓と思われる盛土が確認された。

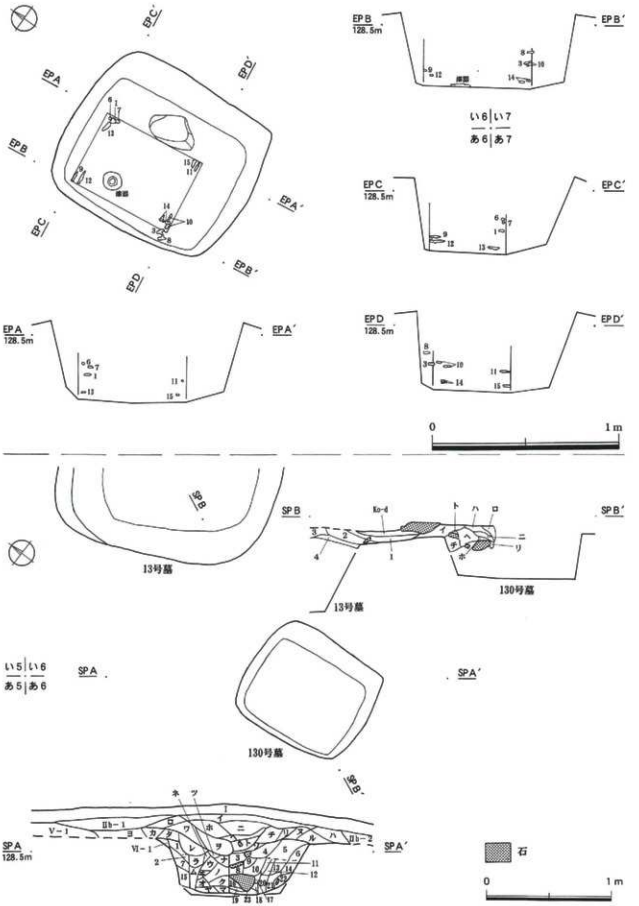
〔新旧関係〕８・９号墓より古い。

〔出土遺物〕焼骨0.1g、炭化物3.8g出土しているが、覆土の上層から出土しているため、９号墓の遺物が混入したものであると想定される。140号墓に伴う遺物は出土していない。

22号墓（第37図、PL10－６～８、PL11－１～２）

〔位置〕本調査区の北側、あ１・あ２グリッドに位置する。地表からの観察では確認できず、今回の発掘調査で新たに発見された墓である。22号墓という墓番号については、昭和39年の分布調査で地表面観察によって、墓として登録されていたが、発掘調査で遺構・遺物の痕跡を検出できなかった。そして、その周りを広げて遺構検出を行なったところ、覆土にKo－d火山灰が厚く堆積している墓を新たに検出した。そのため、比較的場所が近接している、欠番となった22号墓という番号をつけた。

〔葬法〕鉄釘や多量の炭化物が出土しないため、木棺に遺体を納めた土葬や火葬による埋葬ではないと想定できる。つまり、木棺を用いない土葬という埋葬方法を考えることができるが、出土する遺物から具体的にその方法を直接指し示すものは確認できなかった。そのため、埋葬方法として木棺



第23図　第130号墓　平面図、遺物分布図他

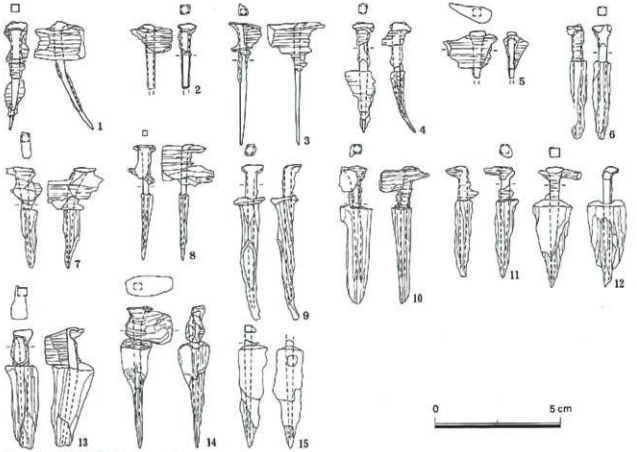


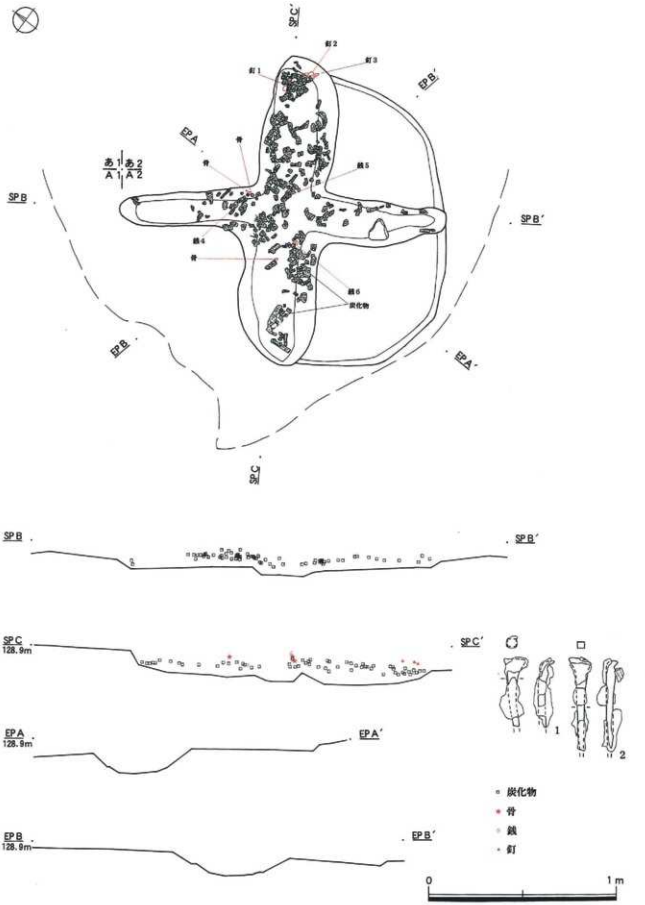
表3　第130号墓土層観察表（A～A'）

	I	10YR3/3 暗褐色	礫少量	ハード	炭粒微量
	Ⅱb−1	10YR3/4 暗褐色	礫粒　ローム粒　Ko−d15%	ややハード	
	Ⅱb−2	10YR3/4 暗褐色	ローム粒微量　Ko−d10%	ややハード	
	Ⅴ−1	10YR2/3 黒褐色	礫粒　ローム粒微量	ハード	
	Ⅶ−1	10YR3/3 暗褐色	ローム粒　礫粒極少量	ソフト	
盛外覆土	1	7.5YR2/3 黒褐色	ローム粒　礫粒少量	ソフト	
	2	10YR4/4 褐色	黄褐色粒微量	ややハード	
	3	10YR3/3 暗褐色	ローム粒　礫粒少量	ややハード	
	4	10YR3/2 黒褐色	ローム粒　礫粒少量		
	5	10YR3/4 暗褐色	ローム粒　礫粒少量	ややソフト	
	6	10YR2/3 黒褐色	ローム粒微量	ややソフト	
	7	10YR2/3 黒褐色	黄褐色粒微量	ややソフト	
	8	10YR3/3 暗褐色	ローム粒　礫粒少量	ややソフト	
	9	10YR3/3 暗褐色	ロームブロック　ローム粒少量	ややソフト	
	10	10YR3/3 暗褐色	ローム粒　礫粒少量	ソフト	
	11	10YR2/3 黒褐色		ややソフト	
	12	10YR2/2 黒褐色	黄褐色粒微量	ソフト	
	13	10YR3/3 暗褐色		ややハード	
	14	10YR3/4 暗褐色		ハード	
	15	10YR2/3 黒褐色	黄褐色粒微量	ソフト	
	16	10YR2/3 黒褐色	ロームブロック　礫粒少量	ソフト	
	17	10YR2/3 黒褐色	ローム粒　礫粒微量	ソフト	
	18	10YR2/3 黒褐色	ローム粒　礫粒微量	ソフト	
	19				
	20	10YR2/3 黒褐色	黄褐色粒微量	ソフト	
	21	10YR3/2 黒褐色		ややソフト	
	22	10YR3/4 暗褐色	5×3cm大の礫1個	ハード	
	23	10YR2/3 黒褐色	ロームブロック　ローム粒少量	ややハード	
盛土	イ	10YR3/3 暗褐色	礫粒　ローム粒	ややソフト	
	ロ	10YR3/2 黒褐色	礫粒　ローム粒	シルト ややソフト	炭粒微量
	ハ	10YR3/3 暗褐色	ローム粒微量	シルト ややハード	炭粒微量
	ニ	10YR2/2 黒褐色	礫粒　ローム粒	シルト ソフト	炭粒極少量
	ホ	10YR2/3 黒褐色	礫粒　ローム粒	シルト ソフト	炭粒極少量
	ヘト	10YR2/3 黒褐色	ローム粒　礫粒微量	シルト ソフト	
	チ	10YR3/4 暗褐色	ロームブロック　礫粒 ローム多量	ややソフト	
	リ	10YR3/4 暗褐色	礫　礫粒　ローム	ソフト	
	ヌ	10YR3/4 暗褐色	ロームブロックローム粒 礫粒少量	ややソフト	
	ル	10YR3/4 暗褐色	ローム粒　礫粒少量	ややハード	
	ヲ	10YR2/2 黒褐色	ローム粒　礫粒微量	ややソフト	
	ワ	10YR3/2 黒褐色	ローム粒　礫粒　Ko−d微量	ややソフト	
	カ	10YR3/4 暗褐色	礫粒少量	ハード	
	ヨ	10YR3/2 黒褐色	礫粒　ローム粒微量	ハード	
	タ	10YR3/4 暗褐色	ロームブロック　礫粒 ローム粒少量	ハード	
	レ	10YR3/4 暗褐色	ロームブロック　ローム粒 礫粒少量	ややハード	
	ソ	10YR3/2 黒褐色	ローム粒少量　礫粒微量	ややハード	
盛土（柱内崩落土）	ツ	10YR2/3 黒褐色	ローム粒極少量	ソフト	
	ネ	10YR3/3 暗褐色	ローム粒微量　礫粒極少量	ややソフト	
	ナ	10YR3/3 暗褐色	ロームブロック　ローム粒少量	ややソフト	
	ラ	10YR2/3 黒褐色	ローム粒微量	ソフト	
	ム	10YR3/2 黒褐色	ローム粒　礫粒微量	ソフト	
	ウ	10YR2/3 黒褐色	ローム粒　礫粒	ソフト	
	キ	10YR3/3 暗褐色	ローム粒　礫粒微量	ソフト	
	ノ	10YR3/3 暗褐色	ローム粒　礫粒	ソフト	
	オ				
	ク	10YR3/3 暗褐色	ローム粒60%　礫粒微量	ややソフト	
	ケ	10YR2/3 黒褐色	ロームブロック　ローム粒少量	ややハード	
	マ	10YR2/3 黒褐色	ローム粒極少量	ややハード 粘質	

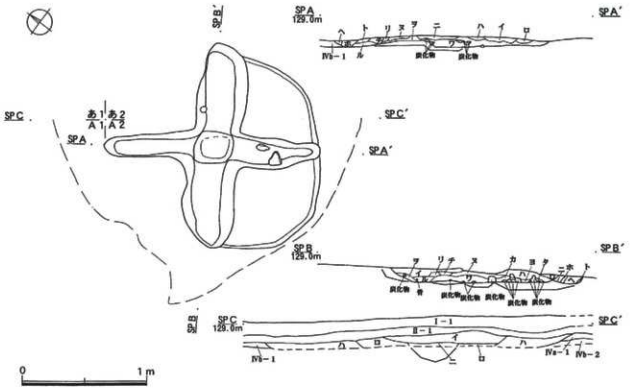
表4　第130号墓土層観察表（B～B'）

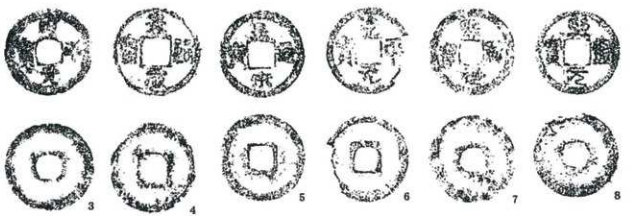
130号墓土	イ	10YR3/2 黒褐色	ローム粒少量	ややソフト	
	ロ	10YR2/2 黒褐色	B−Tm少量	ややソフト	
	ハ	10YR2/3 黒褐色	B−Tm少量		
	ニ	10YR2/3 黒褐色	B−Tm・ローム粒少量		
	ホ	10YR3/3 暗褐色	ローム粒やや多量　礫粒少量		
	ヘ	10YR3/3 暗褐色	ローム粒やや多量　礫粒少量		
	ト	10YR3/3 暗褐色	ローム粒少量	ソフト	
	チ	10YR3/3 暗褐色		ややソフト	炭粒微量
	リ	10YR2/3 黒褐色	B−Tm少量	ソフト	
13号墓土	1	10YR3/2 黒褐色	礫粒　ローム粒少量 Ko−dやや多量		
	2	10YR2/3 黒褐色	礫粒　ローム粒少量	ややハード	
	3	10YR2/3 黒褐色	礫粒・ローム粒・B−Tm少量	ソフト	
	4	10YR3/1 黒褐色	礫粒・ローム粒少量	ややソフト	炭少量

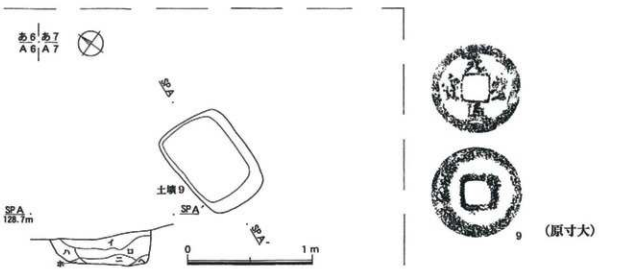
第24図　第130号墓　出土遺物（鉄釘）



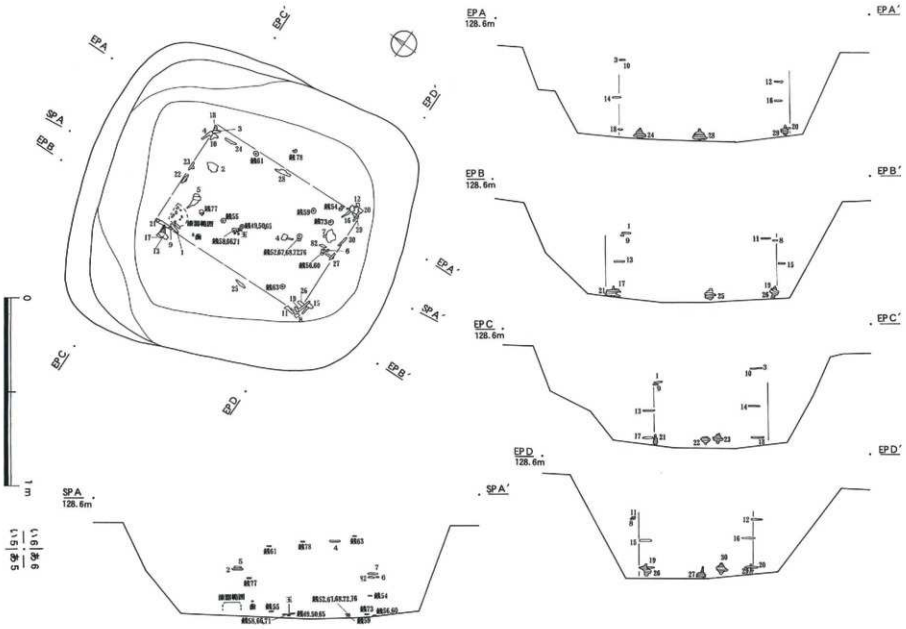
第25図　第136号墓　平面図、出土遺物(鉄釘)他



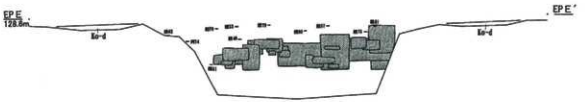


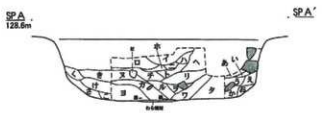


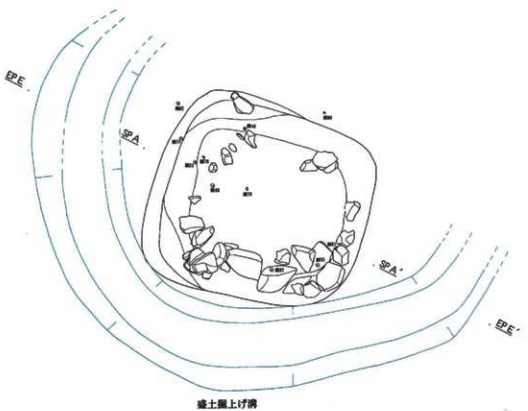
第26図　第136号墓・土壙9　平面図、出土遺物(銅銭)他



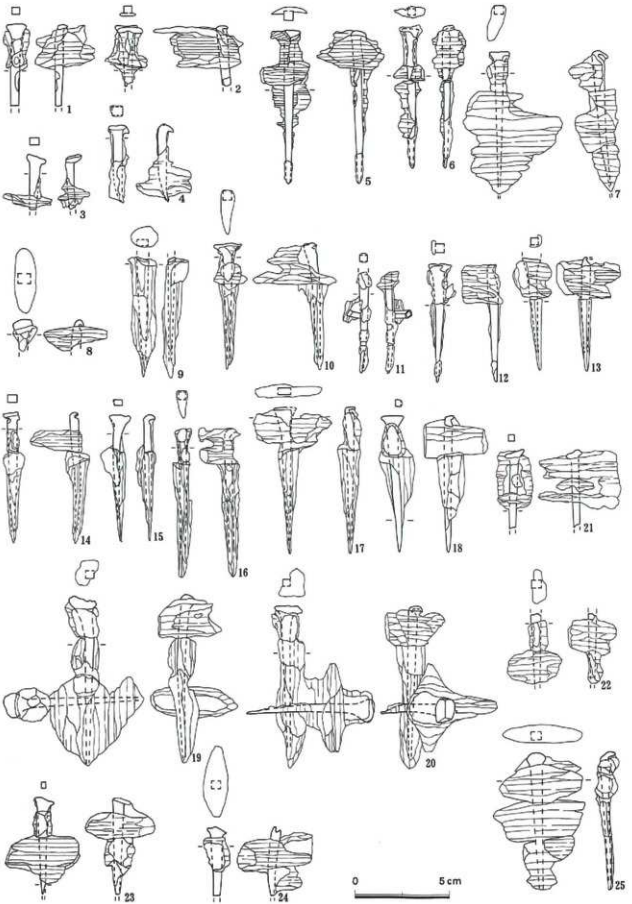
第27図　第13号墓　遺物分布図



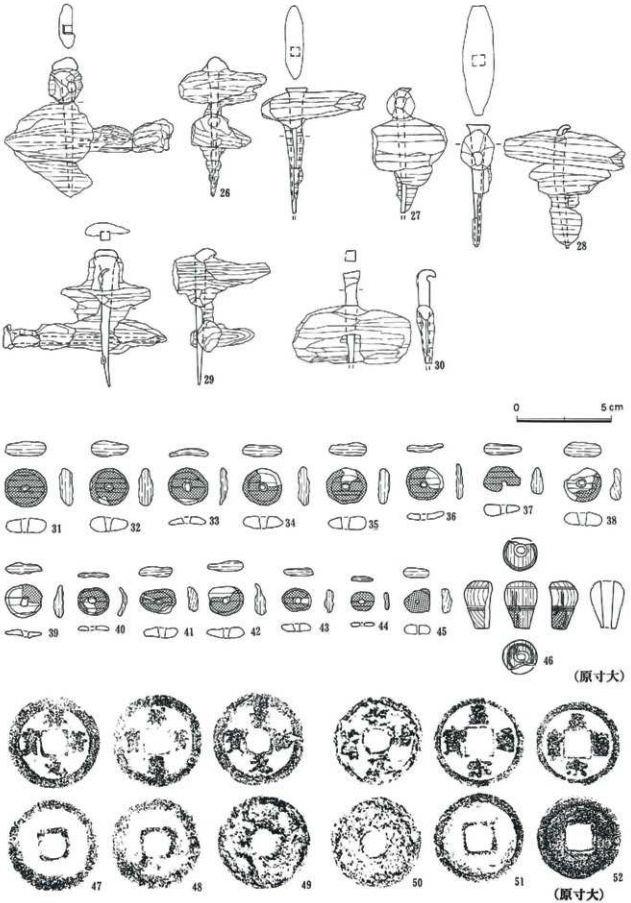




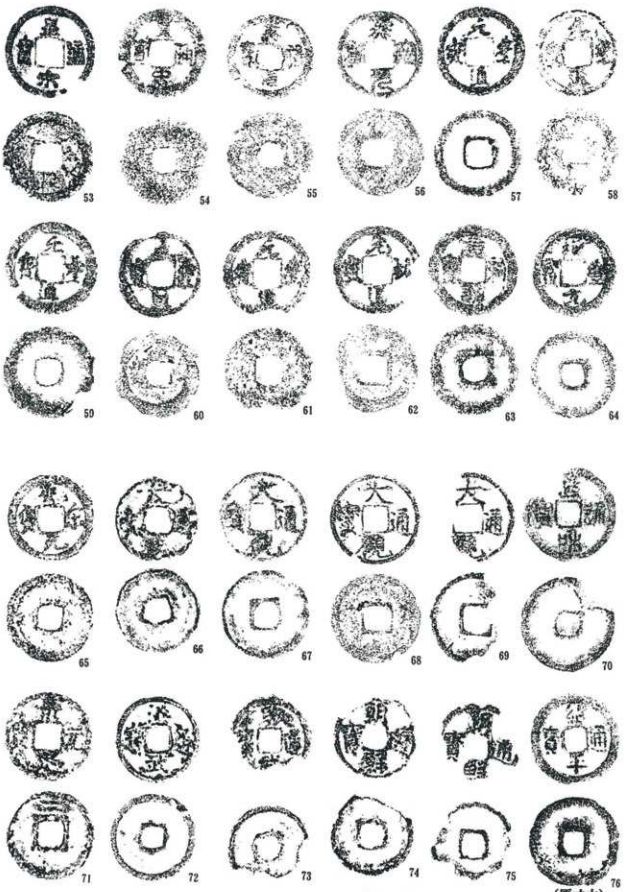
第28図　第13号墓　平面図他



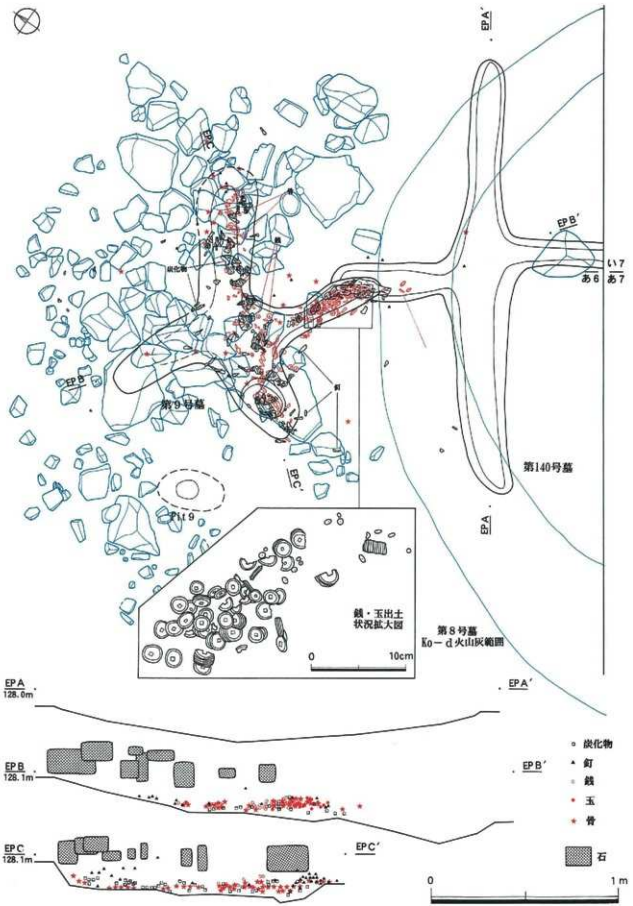
第29図　第13号墓　出土遺物(鉄釘)



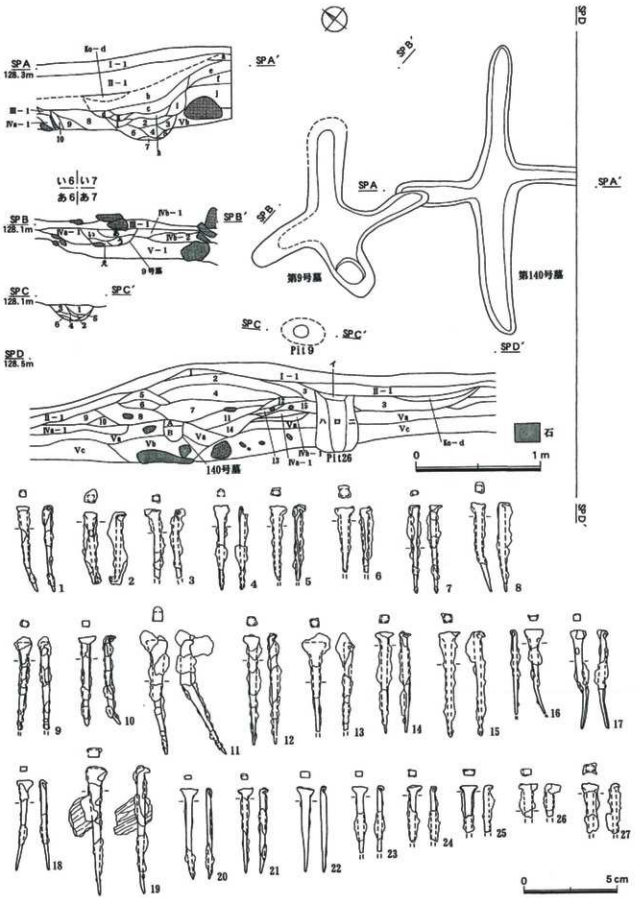
第30図　第13号墓　出土遺物(鉄釘、数珠玉、銅銭)



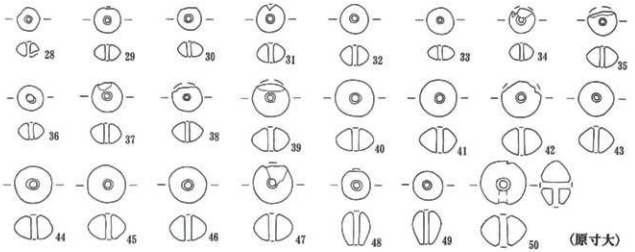
第31図　第13号墓　出土遺物(銅銭)

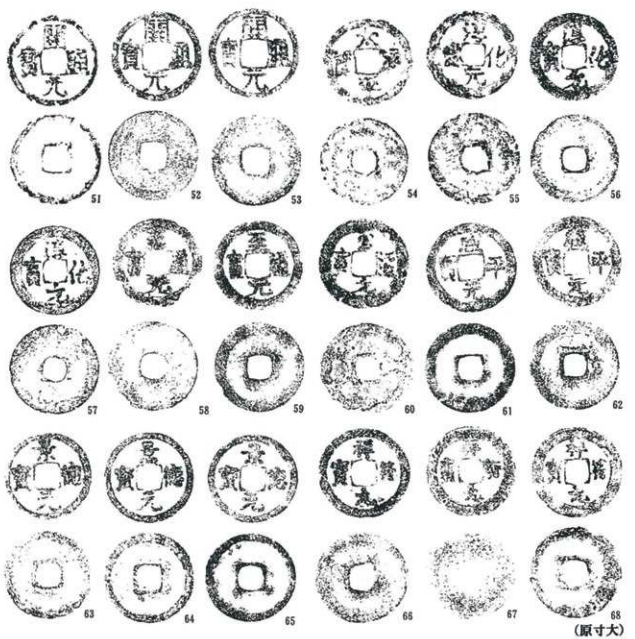


第32図　第９号墓・140号墓・８号墓　平面図、遺物分布図他

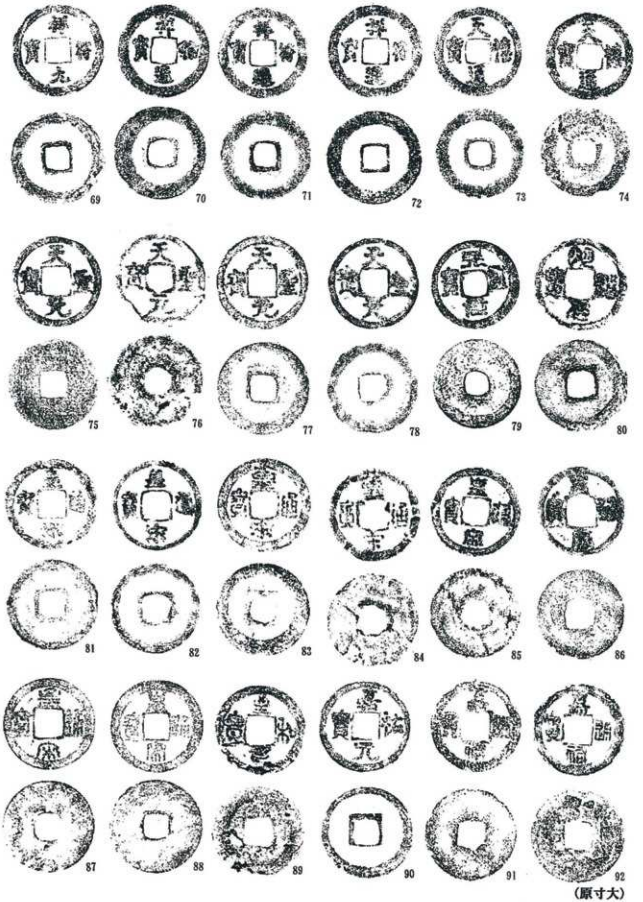


第33図　第９号墓　平面図、出土遺物(鉄釘)他



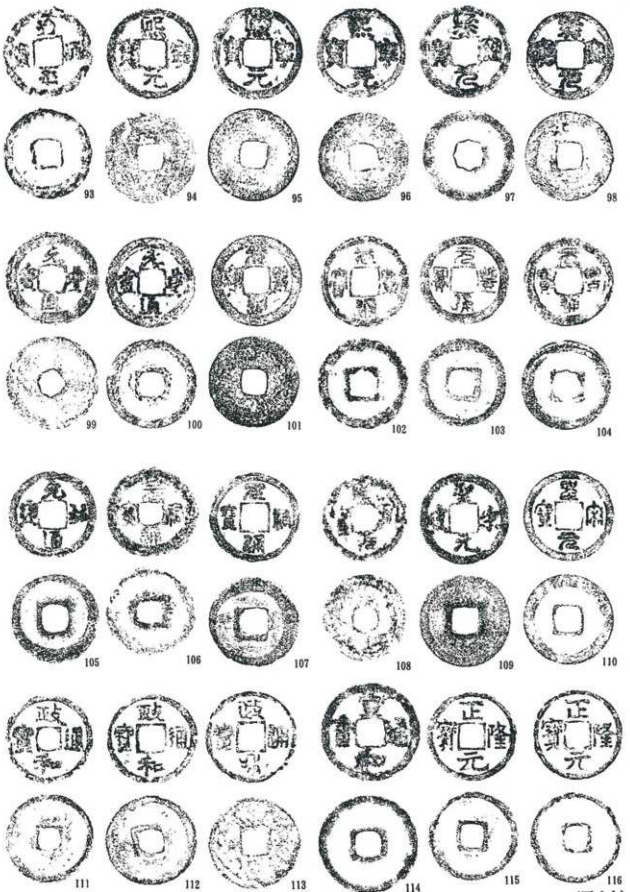


第34図　第９号墓　出土遺物(数珠玉、銅銭)



(原寸大)

第35図　第９号墓　出土遺物(銅銭)



第36図　第９号墓　出土遺物(銅銭)

を用いない直接埋葬する、直葬を１つの可能性として挙げることができる。

〔形態・規模〕墓壙の平面形は、不整円形を呈し、長軸141cm、短軸126cm、深さ65cm を測る。

〔堆積土〕盛土31層、掘り方６層に分層される。Ko－d火山灰がレンズ状に厚く堆積することから、火山灰降下時点においてある程度のくぼみが存在していたことや、墓壙を埋め戻しはしているものの、マウンド状に盛土していないことを想定することができる。このようにKo－d火山灰が厚く堆積する墓は、22号墓の東、約１mのところに立地する119号墓においても見られ、報告書中の松田の報告で、「火山灰下には墳丘の落ち込みと推される土層がほとんど見られないため、埋葬時から墳丘が無いと推される」(上ノ国町教育委員会2001)とあり、22号墓とほぼ同じ構造をしているのではないかと思われる。また119号墓では、鉄釘が出土しているという相違がある。

〔新旧関係〕なし

〔出土遺物〕副葬品は、銅銭12点が出土している。その他に炭化物2.2gが出土している。銅銭は、まとまって墓壙中央部の底部から出土し、その上をわら状の繊維が覆っている。また明銭の洪武通寶が、９枚出土して出土枚数のほとんどを占め、その他に無文銭などが出土している。

138号墓（第38・39図、PL11－３～６）

〔位置〕本調査区の南東壁に接する、あ７・あ８・A７グリッドに位置する。マウンド状の盛土を持っていなかったため、地表からの観察では確認できず、今回の発掘調査で新たに発見された墓である。検出された位置が近世以降に構築された土塁に近接していることから、盛土部分を削平されている可能性がある。

〔葬法〕屈葬土葬墓

〔形態・規模〕平面形は隅丸方形を呈し、長軸134cm、短軸121cm、深さ50cm を測る。

〔堆積土〕盛土16層、掘り方９層に分層される。盛土のうち、注記№ホ～タまでは棺内に崩落した自然堆積層である。

〔木棺推定規模・軸方向〕長軸87cm、短軸63cm、高さ24cm を測り、N－27°－Eである。

〔新旧関係〕Pit14・15より古い。

〔出土遺物〕副葬品は、漆器（塗膜）１点、銅銭17点（細片0.2g）が出土している。その他に鉄釘54点、歯0.1g、毛髪数点、炭化物8.3g、不明種子２点が出土している。漆器（塗膜）は、底部を上にして伏せた状態で出土している。色調は、外面黒色をし、朱色で模様を施している。銅銭は北宋銭を中心として、祥符通寶政和通寶、洪武通寶などが出土し、漆器周辺や棺南東角(銭12は７枚重ね)に副葬されている。繊維状の織物が付着した銅銭が（銭53は３枚重ね）出土し、むしろ状の編物の上に副葬されている。また銅銭の上を、樹皮のようなものが覆っている。鉄釘の頭部形態は、１～５・８・10頭巻釘である。１～６・８・９は側板→側板、７・10・11は底板→側板に打ち付けた釘である。

139号墓（第40・41図、PL13－７・８、PL14－１）

〔位置〕本調査区の東側、い５グリッドに位置する。今回の発掘調査で新たに発見された墓である。Ⅳ層上面を精査中に遺構のプランを確認した。

〔葬法〕火葬施設

〔形態・規模〕墓壙の平面形は、十文字形を呈し、長軸236cm、短軸196cm、深さ26cm を測る。盛土は確認できなかった。

〔堆積土〕23層に分層され、覆土に５～10cm大の礫が多く混入するため、人為堆積と思われる。

〔新旧関係〕13号墓より古い。

〔出土遺物〕副葬品は、銅銭15点（細片1.1g）、縫針４点、炭化米14点が出土している。その他に鉄釘33点、人骨125.7g、炭化物145.3g、不明種子５点が出土している。銅銭は、開元通寶や皇宋通寶、政和通寶、洪武通寶などが出土している。鉄釘の頭部形態は、すべて頭巻釘である。図中で木片としたものは、燃料の一部であると思われる。

10号墓（第42・43図、PL14－２～４）

〔位置〕本調査区の南東側、い６・い７グリッドに位置する。昭和39年度の分布調査で、登録された墓である。鉄釘が出土しており、木棺もしくは骨箱のような容器の存在を想定できるが、それに伴う墓壙や骨などを確認できなかった。そのため、当初は墓ではないと思われたが、マウンド状の盛土やそれを構築する際の盛土掘り上げ溝が確認され、一部ではあるが墓としての特徴を持っているため、葬法不明としながら墓として認識した。

〔葬法〕不明

〔形態・規模〕直径約180cm、厚さ約20cm の円形の盛土をし、その下部にPit３～７を伴う。

〔堆積土〕盛土３層に分層される。盛土掘上げ溝が見られ、そこにKo－d火山灰が堆積している。

〔新旧関係〕焼土７、11・43号墓より新しい。
〔出土遺物〕鉄釘11点、炭化物14.8gが出土している。

11号墓（第42図）

〔位置〕本調査区の北東壁に接し、い６・い７グリッドに位置する。今回の調査では、墓の主体部が調査区外に存在するために、調査区内で観察できる盛土部分のみの調査となった。
〔葬法〕未完掘のため不明である。
〔形態・規模〕壁面で観察できる範囲で、盛土が直径約340cm、厚さ約15cm を測る。
〔堆積土〕盛土５層に分層される。
〔新旧関係〕43号墓より新しく、10号墓・Pit8より古い。
〔出土遺物〕なし

43号墓（第42・43図、PL14－５～６）

〔位置〕本調査区の北東・南東壁に接し、い７グリッドに位置する。今回の調査では、墓の主体部が調査区外に存在するために、調査区内で観察できる盛土部分のみの調査となった。この43号墓という番号は、昭和39年の分布調査で、登録された墓番号である。今回見つかった盛土をその墓に付随する盛土の一部として判断し、43号墓という番号をつけた。
〔葬法〕未完掘のため不明である。
〔形態・規模〕壁面で観察できる範囲で、盛土が直径約280cm、厚さ約20cm を呈する。
〔堆積土〕盛土８層に分層される。盛土掘上げ溝が見られ、そこにKo－d火山灰が堆積している。
〔新旧関係〕10号墓、11号墓より古い。
〔出土遺物〕鉄釘24点が出土している。鉄釘は、盛土の上面から出土しており、先端が直角に屈曲しているものも見られた。頭部形態は、すべて頭巻釘である。このような鉄釘のみが出土して副葬品が伴わない墓は、2002年度に発掘された第Ⅰ地区の135号墓においても検出されている。

18号墓（第43図、PL14－７～８、PL15－１）

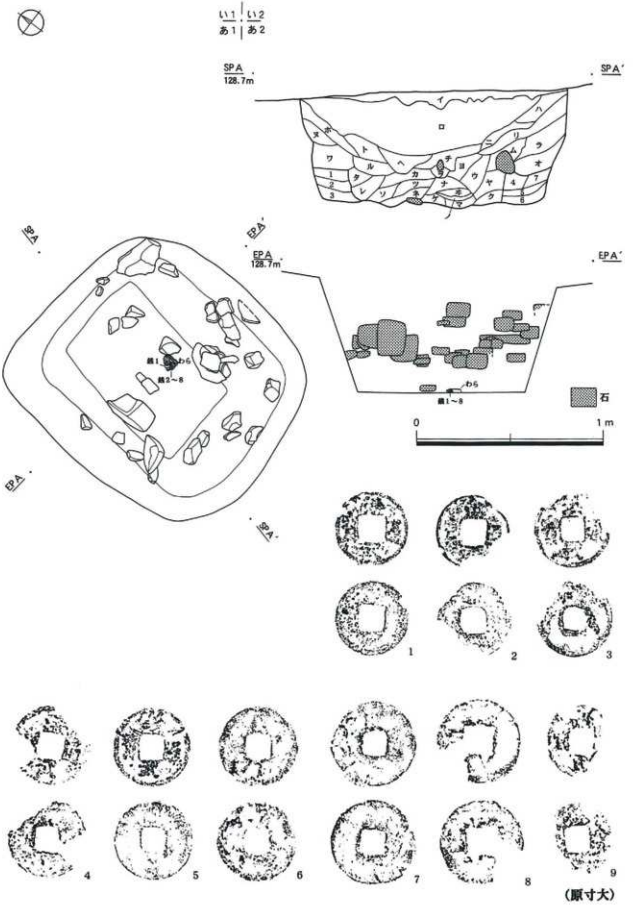
〔位置〕本調査区の北東側、い３・い４グリッドに位置する。昭和27年に、明治大学の後藤守一教授らによって発掘された墓である。今回、盛土が一部残存していることなどを確認したため、再調査を行なった。
〔葬法〕焼骨が出土しているため、火葬墓と思われるが、それを燃やした燃料（炭化物）が出土していないので、別の場所（火葬施設など）で火葬され、集骨された骨を埋葬した墓と思われる。
〔形態・規模〕昭和27年度の発掘調査結果から、マウンド状の盛土が直径約390cm、厚さ約50cm を呈し、その下に長軸約280cm、短軸約180cm、深さ約30cmの不整円形の掘り込みを持つ。
〔堆積土〕盛土８層に分層される。
〔新旧関係〕近世以降の柱穴に切られている。
〔出土遺物〕昭和27年度の調査では、銅銭１枚（銭文不明）、焼骨（重量不明）が出土している。今回の調査では、副葬品として銅銭１点(43図-15)が出土している。その他に焼骨165.1gが出土している。銅銭は、洪武通寶が昭和27年度の埋め戻し土から１点出土している。焼骨は、大形石の下にあった石組み(PL15－１)の中からまとまって出土している。昭和27年度の発掘調査結果を記した報告書（上ノ国町教育委員会1984）では、「大形石の下には何もなく其の下は基盤であった。念のため掘り下げたが石２個を出したのみにして他に何物も見出せなかった。」という記述があることから、当時の発掘調査者が供養の意味を込めて石組みを作りその中に焼骨を埋納したと思われる。

土壙９（第26図、PL10－３～５）

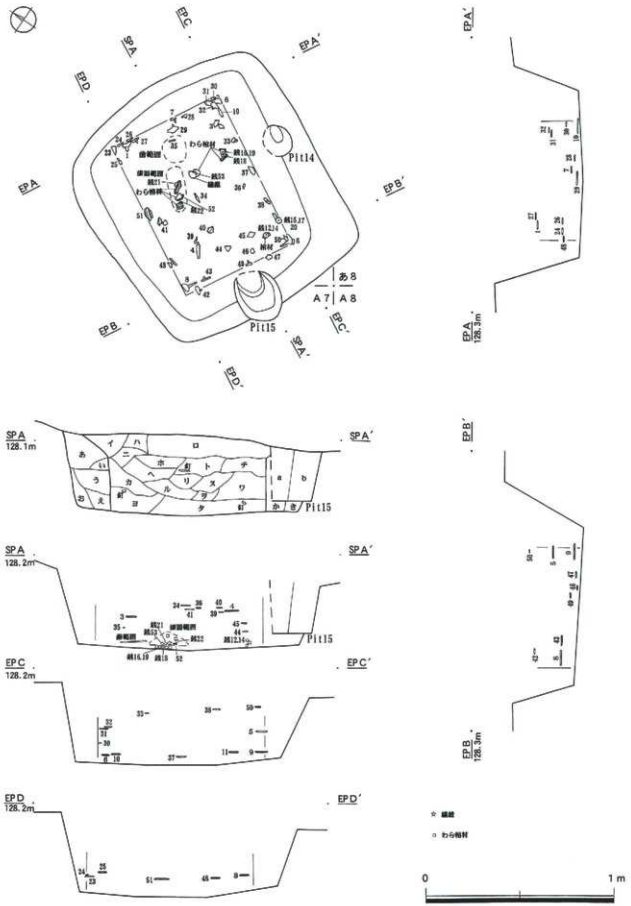
〔位置〕本調査区の南側、Ａ７グリッドに位置する。Ⅳ層上面を精査中に遺構のプランを確認した。
〔形態・規模〕土壙の平面形は、隅丸長方形を呈し、長軸80cm、短軸56cm、深さ35cm を測る。
〔堆積土〕９層に分層される。
〔新旧関係〕なし
〔出土遺物〕なし

焼土７（第42図）

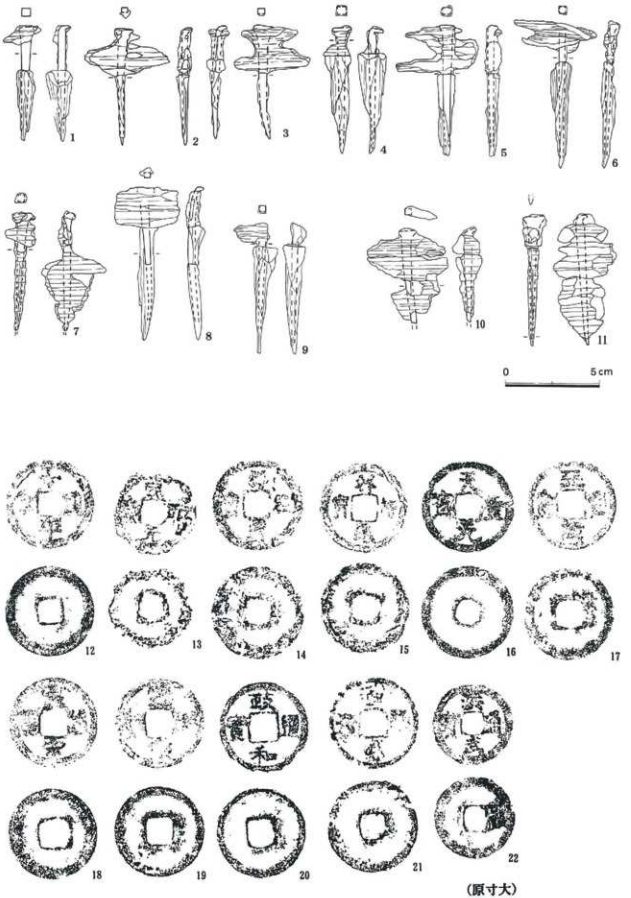
〔位置〕本調査区の東側、い６・い７グリッドに位置する。Ｂ－Tm火山灰層の下層において検出されたことから、縄文時代の焼土範囲と考えているものである。
〔形態・規模〕長軸290cm、短軸220cm、厚さ約20cm の不整円形を呈する。
〔堆積土〕８層に分層され、自然堆積である。
〔新旧関係〕10・11・43号墓より古い。
〔出土遺物〕鉄釘１点、不明骨0.1g、種子(ぶどう)が出土しているが、上層に位置する10号墓の遺物が混入したものと思われる。　（塚田）



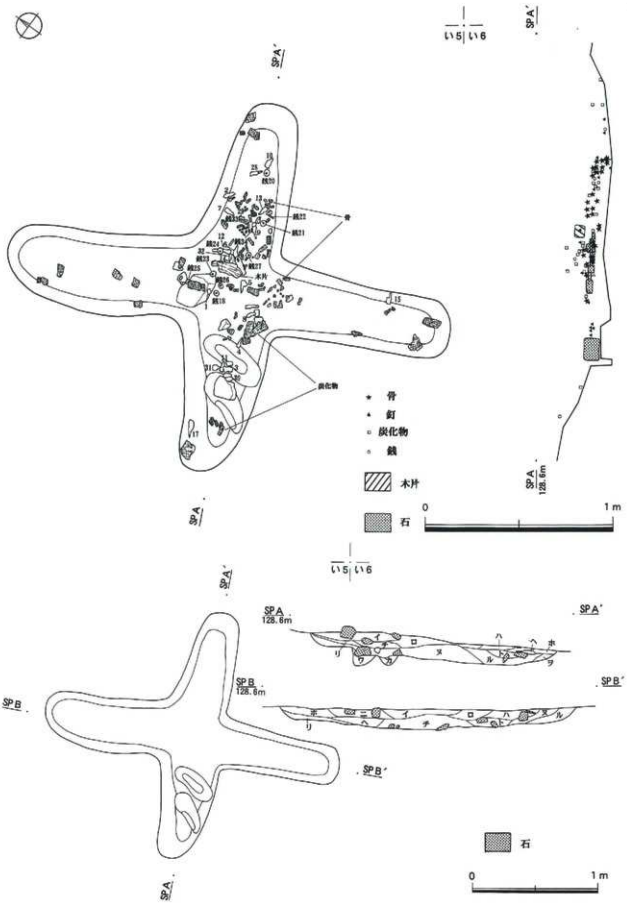
第37図　第22号墓　平面図、出土遺物他(銅銭)



第38図　第138号墓　平面図、遺物分布図他



第39図　第138号墓　出土遺物(鉄釘、銅銭)



第40図　第139号墓　平面図、遺物分布図他

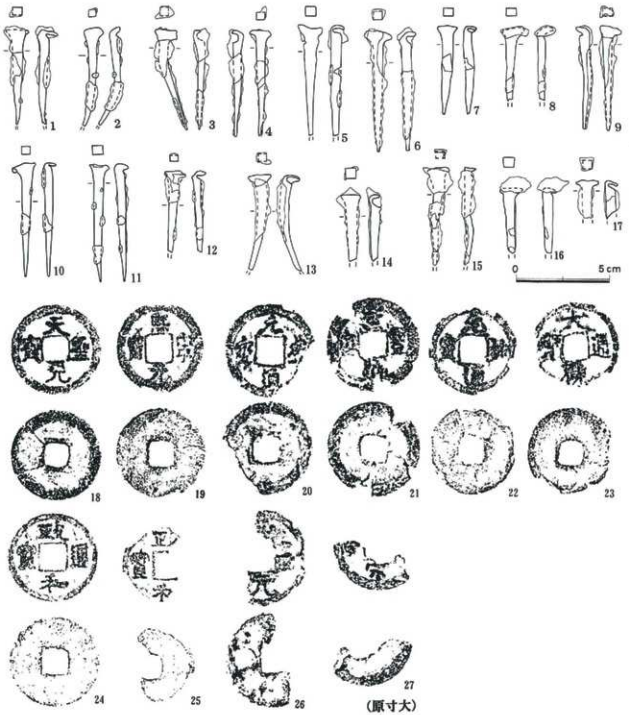


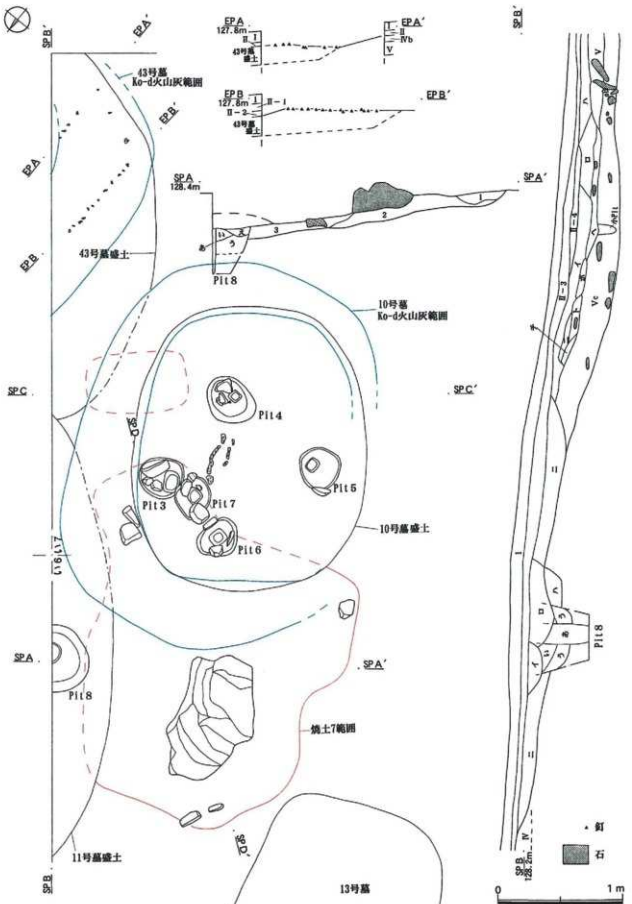
表5　139号墓土層観察表（A～A'）

覆土	イ	10YR2/4 黒褐色		ややソフト	
	ロ	10YR2/2 黒褐色		ややハード	
	ハ	10YR2/3 黒褐色		ややハード	炭粒微量
	ニ	10YR2/2 黒褐色			炭粒微量
	ホ	10YR3/2 黒褐色			焼土粒少量
	ヘ	10YR2/3 黒褐色		ややソフト	炭粒微量
	ト	10YR3/3 暗褐色		ややソフト	焼土粒微量
	チ	10YR2/1 黒色		ややソフト	炭粒少量
	リ	10YR3/4 暗褐色	黄褐色ローム粒微量	ややハード	
	ヌ	10YR3/4 暗褐色		ややソフト	炭粒少量 焼土
	ル				

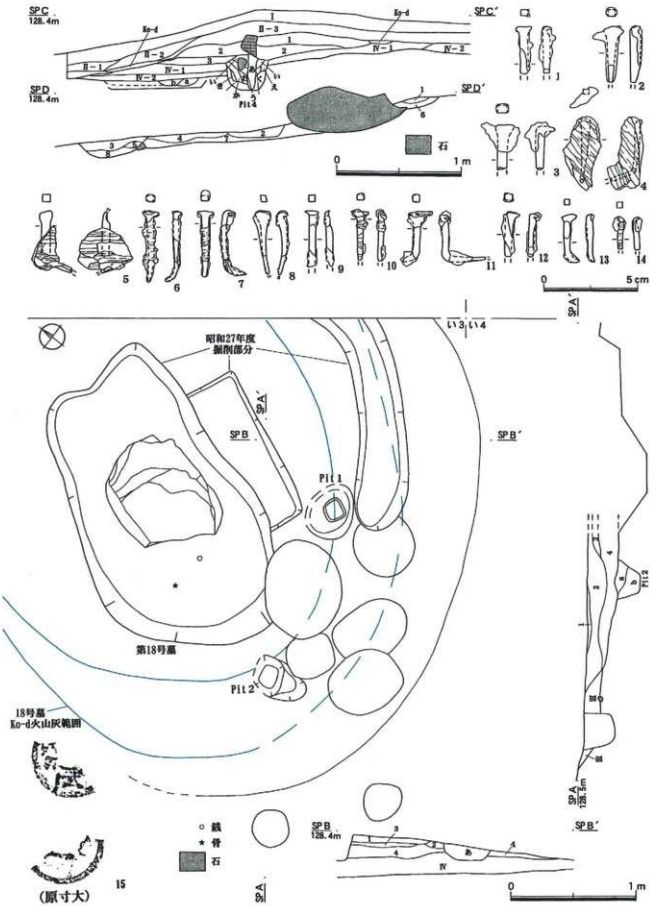
表6　139号墓土層観察表（B～B'）

覆土	イ	10YR2/3 黒褐色	B-Tmブロック少量	ややハード	焼土粒微量
	ロ	10YR2/3 黒褐色		ややソフト	
	ハ	10YR2/3 黒褐色		ややハード	炭粒微量
	ニ	10YR2/3 黒褐色		ややハード	炭粒少量
	ホ	10YR2/3 黒褐色		ややハード	焼土粒微量
	ヘ	10YR3/3 暗褐色		ややソフト	炭粒少量
	ト	10YR2/2 黒褐色		ソフト	焼土粒少量
	チ	10YR2/3 黒褐色		ソフト	
	リ	10YR2/3 黒褐色	Ko-d粒微量	ややソフト	
	ヌ	10YR2/1 黒色		ややソフト	炭粒少量
	ル	10YR2/3 黒褐色		ややハード	焼土粒微量
	ヲ	10YR2/3 黒褐色		ややハード	炭粒微量 焼土
	ワ	10YR3/4 暗褐色	黄褐色ローム粒微量	ややソフト	
	カ	10YR3/4 暗褐色	黄褐色ローム粒微量	ややソフト	

第41図　第139号墓　出土遺物(鉄釘、銅銭)



第42図　第10号墓・43号墓・11号墓・焼土７　平面図他



第43図　第10号墓・43号墓・18号墓　平面図、出土遺物(鉄釘、銅銭)他

表7　第3号基土層観察表（A～A'）

	Ⅰ-1	10YR2/3	黒褐色			
	Ⅱ-1	10YR4/3	鈍い黄褐色	B-Tm少量	ソフト	
裾外覆土	1	10YR2/2	黒褐色	ローム粒少量	ソフト	
	2	10YR2/2	黒褐色	ローム粒少量 ロームブロック多量		
	3	10YR2/3	黒褐色	礫粒　ローム粒やや多量	ソフト	
	4	10YR2/2	黒褐色	ローム粒やや多量	ややソフト	
	5	10YR4/3	鈍い黄褐色	ローム粒やや多量 褐色	粘質	
	6	10YR3/4	暗褐色	ローム粒少量	ソフト	
	7	10YR3/2	黒褐色	ローム粒少量	ソフト	
	8	10YR3/4	暗褐色	ローム粒多量	粘質	
	9	10YR4/4	褐色	ローム粒多量	ソフト	
盛土	イ	10YR2/3	黒褐色	B-Tm少量	ややソフト	
	ロ	10YR2/2	黒褐色	礫粒微量　ローム粒少量	ややソフト	
	ハ	10YR1.7/1	黒色			
	ニ	10YR2/2	黒褐色	ローム粒微量		
	ホ	10YR2/3	黒褐色	礫粒微量	ソフト	
	ヘ	10YR2/3	黒褐色	ローム粒微量		
	ト	10YR1.7/1	黒色	ローム粒微量		
盛土（樹内崩落土）	チ	10YR2/2	黒褐色	ローム粒微量		
	リ	10YR1.7/1	黒色	ローム粒・B-Tm少量	ソフト	
	ヌ	10YR2/2	黒褐色	ローム粒	ややソフト	焼土粒微量
	ル	10YR2/2	黒褐色	ローム粒少量	ややソフト	
	ヲ	10YR2/2	黒褐色	ローム粒多量	ソフト	
	ワ	10YR2/3	黒褐色	ローム粒　ロームブロック	ソフト	
	カ	10YR2/3	黒褐色	ローム粒多量　ロームブロック	ソフト	
	ヨ	10YR2/2	黒褐色	ローム粒　ロームブロック多量	ややソフト	
	タ	10YR2/2	黒褐色	ロームブロック多量	ややソフト	
	レ	10YR1.7/1	黒色			
	ソ	10YR1.7/1	黒色			
	ツ	10YR3/2	黒褐色	礫粒　ローム粒	ソフト	
	ネ	10YR3/3	暗褐色	礫粒　ローム粒		
	ナ	10YR2/3	黒褐色	ローム粒少量	粘質	
	ラ	10YR2/3	黒褐色	ローム粒多量	粘質	
	ム	10YR2/2	黒褐色	ローム粒少量	ややソフト	

表8　第3号基土層観察表（B～B'）

	Ⅰ-1	10YR2/3	黒褐色			
	Ⅱ-1	10YR2/3	黒褐色	B-Tmやや多量		
裾外覆土	1	10YR2/2	黒褐色	ローム粒多量		
	2	10YR2/3	黒褐色	ローム粒やや多量	粘質	
	3	10YR2/3	黒褐色	ローム粒少量	ソフト	
	4	10YR4/6	褐色	全面ローム	ハード	
	5	10YR2/2	黒褐色	ローム粒	ソフト	
	6	10YR3/3	暗褐色	ローム粒少量	ややソフト	
	7	10YR2/2	黒褐色	ローム粒多量	粘質	
	8	10YR2/1	黒色	ローム粒微量		
	9	10YR3/3	暗褐色	ローム粒少量 ロームブロック少量	ソフト	
	10	10YR2/2	黒褐色	ローム粒少量	ソフト　粘質	
	11	10YR2/1	黒色	ローム粒多量	粘質	
	12	10YR3/3	暗褐色	ロームブロック少量	粘質	
	13	10YR4/3	鈍い黄褐色	ローム 褐色		
盛土	イ	10YR2/3	黒褐色	B-Tm少量	ややソフト	
	ロ	10YR2/2	黒褐色	礫粒微量　ローム粒少量	ややソフト	
	ハ	10YR2/3	黒褐色	礫粒微量		
	ニ	10YR2/2	黒褐色	礫粒微量		
	ホ	10YR1.7/1	黒色	ローム粒微量	ソフト	
	ヘ	10YR2/3	黒褐色	礫粒微量		
	ト	10YR4/3	鈍い黄褐色	ローム粒・B-Tm少量 褐色	ソフト	
	チ	10YR3/1	黒褐色	B-Tm少量	ソフト	
	リ	10YR4/4	褐色	ローム粒・B-Tm・黒色土少量	ソフト	
	ヌ	10YR4/3	鈍い黄褐色	ローム粒・B-Tm少量 褐色	ソフト	
	ル	10YR3/4	暗褐色	ローム　B-Tm少量	ハード	
	ヲ	10YR3/2	黒褐色	ローム粒・B-Tm少量	ソフト	
	ワ	10YR2/2	黒褐色	礫粒微量　ローム粒少量		焼土粒微量
	カ	10YR2/2	黒褐色	礫粒微量　ローム粒やや多量	ソフト	炭少量
盛土（樹内崩落土）	ヨ	10YR1.7/1	黒色	ローム粒・B-Tm少量	ソフト	
	タ	10YR1.7/1	黒色	ローム粒少量	ソフト	
	レ	10YR2/2	黒褐色	ローム粒　ロームブロック多量	ややソフト	
	ソ	10YR2/2	黒褐色	ロームブロック多量	ややソフト	
	ツ	10YR3/3	暗褐色	ローム粒多量		
	ネ	10YR2/3	黒褐色	ローム粒少量	粘質	
	ナ	10YR3/3	暗褐色	ローム粒少量	ソフト	

表9　第3号基土層観察表（C～C'）

	Ⅰ-1	10YR2/3	黒褐色			
	Ⅱa-1	10YR3/3	暗褐色	Ko-d少量	ややソフト	
	Ⅲ-1	10YR2/4	暗褐色	ローム粒・ko-d少量	ややハード	
	Ⅲ-2	10YR3/3	暗褐色	Ko-dやや多量	ソフト	
	Ⅲ-3	10YR3/2	黒褐色	ローム粒少量	ややソフト	
	Ⅳ-1	10YR3/4	暗褐色	ソフトローム		
	Ⅳ-2	10YR2/1	黒色			
	Ⅴ-1	10YR3/4	暗褐色	ソフトローム		
盛土	イ	10YR2/3	黒褐色	ローム粒微少	ソフト	
	ロ	10YR2/3	黒褐色		ソフト	
	ハ	10YR2/3	黒褐色	B-Tm少量	ややソフト	
	ニ	10YR2/2	黒褐色	礫粒・B-Tm少量		
	ホ	10YR2/1	黒色	B-Tm少量	ソフト	
	ヘ	10YR2/3	黒褐色		ソフト	
	ト	10YR2/3	黒褐色		ややソフト	
	チ	10YR2/2	黒褐色	礫粒微量	ややソフト	
	リ	10YR2/3	黒褐色	礫粒微量	ソフト	
	ヌ	10YR2/2	黒褐色	礫粒微量　ローム粒少量	ソフト	
	ル	10YR2/3	黒褐色	礫粒微量　ローム粒少量	ソフト	
	ヲ	10YR2/1	黒色	ローム粒少量	ソフト	
	ワ	10YR2/1	黒色	ローム粒　ソフトローム		焼土粒・炭微量
	カ	10YR3/1	黒褐色	ローム粒少量	ややソフト	
	ヨ	10YR3/1	黒褐色	ローム粒	ソフト　粉質	
	タ	10YR2/3	黒褐色	ローム粒少量	ソフト	
	レ	10YR2/2	黒褐色	ローム粒少量	ややソフト	
	ソ	10YR3/3	暗褐色	ローム粒	ソフト	
	ツ	10YR2/3	黒褐色	ローム粒　ロームブロック少量	ソフト	
	ネ	10YR3/4	暗褐色	ローム粒　ロームブロック多量		
	ナ	10YR2/3	黒褐色	礫粒少量	ややハード	
	ラ	10YR2/3	黒褐色		ソフト	
	ム	10YR2/2	黒褐色	礫粒・ローム粒・Ko-d少量	ソフト	
	ウ	10YR2/3	黒褐色	礫粒　Ko-d微量	粘質	焼土粒
	キ	10YR2/3	黒褐色	ローム粒　Ko-d	ややソフト	炭微量
	ノ	10YR2/3	黒褐色	ローム粒　礫粒	ソフト	

表10　第14号墓・Pit10土層観察表（A～A'）

裾外覆土	イ	10YR5/6	黄褐色	ローム　黒色土粒微量	ハード	
	ロ	10YR3/2	黒褐色	ロームブロック少量	ハード	
	ハ	10YR3/2	黒褐色	ロームブロック少量	ハード	
	ニ	10YR3/3	暗褐色	ロームブロック少量	ハード	
	ホ	10YR3/3	暗褐色	ロームブロック少量	ハード	
	ヘ	10YR3/2	黒褐色	ロームブロック微少	ハード	
	ト	10YR2/3	黒褐色	ロームブロック少量	ややソフト	
	チ	10YR2/3	黒褐色	ロームブロック少量	ハード	
	リ	10YR5/6	黄褐色	ローム　黒褐色粒少量	ややハード	
	ヌ	10YR5/6	黄褐色	ローム　黒褐色粒微量	ややソフト	
盛土	1	10YR2/2	黒褐色	Ko-d5% 礫粒微少	ややソフト	
	2	10YR2/2	黒褐色	Ko-d10% 礫粒	ややソフト	
	3	10YR2/1	黒色	Ko-d 礫粒極少量	ややソフト	
	4	10YR2/2	黒褐色	礫粒極少量	ややソフト	
	5	10YR2/1	黒色	礫粒極少量	ややソフト	
	6	10YR2/2	黒褐色	礫粒　ローム粒微量	ややソフト	
	7	10YR2/3	黒褐色	礫粒微量	ややソフト	
	8	10YR2/3	黒褐色	礫粒微少	ソフト	
	9	10YR2/2	黒褐色	礫粒　ローム粒微少量	ソフト	
	10	10YR2/3	黒褐色	礫粒微量	ややソフト	
	11	10YR2/2	黒褐色	礫粒極少量	ソフト	
	12	10YR3/4	暗褐色	ローム7ブロック30%　礫粒 ローム粒微量	ややソフト	
	13	10YR3/2	黒褐色	ロームブロック5%　礫粒 ローム粒	ややソフト	
	14	10YR2/2	黒褐色	ローム粒　ロームブロック微量	ややハード	
	15	10YR2/3	黒褐色	ローム粒　礫粒微量	ややハード	
	16	10YR2/3	黒褐色	ローム粒　礫粒微量	ハード	
	17	10YR3/4	暗褐色	ロームブロック30%　礫粒 ローム粒微少	ややハード	
	18	10YR2/3	黒褐色	ロームブロック5%	ややハード	
	19	10YR2/3	黒褐色	ローム粒　礫粒　火山灰微量	ハード	
	20	10YR3/4	暗褐色	恵土粒　ローム粒	ハード	
	21	10YR2/2	黒褐色	ローム粒　礫粒極少量	ややハード	
	22					
	23	10YR2/2	黒褐色	礫粒　ローム粒極少量	ソフト	
	24					
盛土（樹内崩落土）	25	10YR2/2	黒褐色	ローム粒微量　礫粒極少量	ややハード	
	26	10YR2/2	黒褐色	ローム粒5%	ソフト	
	27	10YR2/2	黒褐色	ローム粒　礫粒微量 火山灰10%	ソフト	
	28	10YR2/2	黒褐色	ローム粒2%　火山灰微量	ソフト	
	29	10YR2/2	黒褐色	黒褐色土5%　ローム粒50%	ソフト	
	30	10YR2/2	黒褐色	礫粒　ローム粒	ソフト	
	31	10YR2/3	黒褐色	10YR4/6黄色ロームブロック	ややソフト	

					ローム粒50%		
	32	10YR2/2	黒褐色	ローム粒微量　礫粒	ソフト		
	33	10YR2/3	黒褐色	ロームブロック60%	ソフト		
	34	10YR2/2	黒褐色	ロームブロック　ローム粒5%	ソフト		
	35	10YR2/2	黒褐色	ローム粒微量	ソフト		
	36	10YR4/3	黄い黄褐色		ややソフト		
	37	10YR2/2	黒褐色	ローム粒50%	ソフト		
	38	10YR2/2	黒褐色	ローム粒・ブロック30%	ソフト		
	39	10YR2/2	黒褐色	ローム粒70%	ソフト		
	40	10YR2/2	黒褐色	礫粒微量	ソフト		
	41	10YR2/1	黒色	礫粒微量	ソフト		
	42	10YR2/2	黒褐色	ローム粒少量	ソフト		
	43	10YR2/2	黒褐色	ローム粒　礫粒微量	ソフト		
	44	10YR2/2	黒褐色	ローム粒・ブロック40%	ソフト		
	45	10YR2/2	黒褐色	ローム粒・ブロック30%	ソフト		
	46	10YR2/2	黒褐色	ローム粒・ブロック70%	ややソフト		
	47	10YR2/2	黒褐色	ローム粒50%	ソフト		
	48	10YR2/2	黒褐色	ローム粒・ブロック60%	ソフト		
	49	10YR2/1	黒色		ソフト		
	50	10YR2/2	黒褐色	ローム粒・ブロック30%	ソフト		
	51	10YR3/4	暗褐色	ロームブロック　ローム粒30%	ソフト		
	52						
	53	10YR3/3	暗褐色		ややハード		
					粘質		
	54	10YR3/4	暗褐色	ローム粒微量	ややハード		
					粘質		
	55	10YR2/3	黒褐色	ローム粒微量	ややハード		
					粘質		
	56	10YR2/2	黒褐色	ローム粒・ブロック40%	ややソフト		
	57	10YR2/2	黒褐色	ロームブロック30%	ソフト		
Pit28	あ	10YR2/3	黒褐色	ローム粒　礫粒微量	ややハード		
				火山灰極少量			
	い	10YR2/3	黒褐色	ローム粒　礫粒微量	ソフト		
				火山灰極少量			

表11　14号基土層観察表（B～B'）

	I－1	10YR3/3	暗褐色	ローム粒微量	ややソフト	炭粒
	Ib－1	10YR3/3	暗褐色	Ko-d少量	ややソフト	
	Ib－2				密	
	Ic－1					
	Ib－1	10YR4/6	褐色	全面ハードローム		
	Ib－2	10YR4/4	褐色	全面ハードローム		
盛土	イ	10YR2/3	黒褐色	ローム粒微量	ややソフト	炭粒
	ロ	10YR3/4	暗褐色	ローム粒微量　火山灰極少量	ソフト	炭粒
	ハ	10YR2/3	黒褐色		ソフト	
	ニ	10YR2/3	黒褐色	ローム粒微量	ソフト	炭粒
	ホ	10YR3/2	黒褐色	ローム粒微量	ソフト	炭粒
	ヘ	10YR3/2	黒褐色	火山灰5%　礫粒微量	ややソフト	
	ト	10YR2/2	黒褐色	ローム粒極少量	ソフト	
	チ	10YR3/3	暗褐色	火山灰40%	ソフト	
	リ	10YR3/3	暗褐色	火山灰極少量	ソフト	
	ヌ	10YR2/1	黒色	ローム粒極少量	ソフト	
	ル	10YR2/1	黒色	ローム粒極少量	ソフト	
	ヲ	10YR3/4	暗褐色	ローム粒　ロームブロック多量	ややハード	
	ワ	10YR2/2	黒褐色		ソフト	炭粒微量
	カ	10YR3/4	暗褐色	Ko-d微量	ハード	
	ヨ	10YR3/4	暗褐色	ロームブロック3%	ややハード	
	タ	10YR3/2	黒褐色	ローム粒　礫粒微量	ややソフト	
	レ	10YR3/3	暗褐色	ロームブロック60%	ややハード	
	1	10YR2/2	黒褐色	ローム粒少量　礫	ややソフト	
	2	10YR3/4	暗褐色	ローム粒　礫粒微量	ややハード	
	あ	10YR3/2	黒褐色	ロームブロック　ローム粒	ややハード	炭粒少量
				基盤礫		

表12　第5号基土層観察表（A～A'）

樹外	1	10YR3/2	黒褐色	ロームブロック	ややハード	
樹土	2	10YR3/2	黒褐色	ロームブロック(ローム粒20%)	ややハード	
	3					
	4					
	5	10YR3/3	暗褐色	黄褐色粒微少	ややソフト	
	6	10YR3/3	暗褐色	Ko-d微量	ややハード	
	7	10YR3/4	暗褐色	Ko-d微量	ややハード	
	8	10YR2/3	黒褐色	黄褐色粒微量	ややハード	
盛土	イ	7.5YR2/2	黒褐色	ローム粒　礫粒	ソフト	
盛土	ロ	7.5YR2/3	黒褐色	礫粒	ソフト	炭粒少量
(樹内	ハ	7.5YR1.7/1	黒色	火山灰微量	ソフト	
層除	ニ	7.5YR1.7/1	黒色	火山灰30%	ソフト	
土)	ホ	7.5YR2/2	黒褐色	火山灰　ロームブロック少量	ソフト	
	ヘ	10YR2/3	黒褐色	ローム粒　ロームブロック少量	ややソフト	
					火山灰微量	
	ト	7.5YR2/2	黒褐色	ローム粒微量	ややハード	
	チ	10YR2/3	黒褐色	ローム粒微量	ソフト	
	リ	10YR2/3	黒褐色	火山灰少量　ローム粒微量	ソフト　密	
	ヌ	10YR2/3	黒褐色	ローム粒　火山灰微量	ソフト	
	ル	10YR2/2	黒褐色	ローム粒微量	ソフト	
	ヲ	10YR2/3	黒褐色	ローム粒　火山灰少量	ソフト	
	ワ	10YR2/2	黒褐色	ローム粒	ソフト	
	カ	10YR2/3	黒褐色	ローム粒　火山灰微量	ソフト	
	ヨ	10YR2/2	黒褐色	ローム粒	ソフト	
	タ	10YR2/3	黒褐色		ソフト	
	レ	10YR2/3	黒褐色	ローム粒微量　火山灰少量	ソフト	
	ソ	10YR2/3	黒褐色	ローム粒微量	ソフト	
	ツ			全面火山灰		
	ネ	10YR3/3	暗褐色	ローム粒　火山灰少量	ややハード	
	ナ	10YR2/3	黒褐色	ローム粒　ロームブロック少量	ややソフト	
	ラ	10YR3/2	黒褐色			ややソフト
						粘質
	ム					
	ウ	10YR3/2	黒褐色		ソフト　粘質	
	ヰ	10YR3/3	暗褐色	ローム	ややソフト	
						粘質
	ノ	10YR3/3	暗褐色	ローム	ややソフト	

表13　第5号基土層観察表（B～B'）

	B'－1	10YR2/3	黒褐色	ややハード	
	B'－2				
	B'－3				
樹外	1	10YR2/3	黒褐色	黄褐色粒少量	ハード
樹土	2	10YR2/3	黒褐色	黄褐色粒微量	ややハード
	3	10YR2/2	黒褐色	黄褐色粒少量	ややハード
	4	10YR2/2	黒褐色	黄褐色粒微量	ややソフト

表14　第125号墓土層観察表（A～A'）

	Ⅱ－1	7.5YR3/2	黒褐色	Ko-dやや多量	ソフト	
	層	7.5YR2/2	黒褐色	ローム粒	ソフト	地土粒　炭粒
	Ⅲa－1	7.5YR2/2	黒褐色		ソフト	炭化物
	Ⅲa－2	7.5YR2/1	黒色		ソフト　シルト	炭粒
	Ⅴ－1	7.5YR2/2	黒褐色	ソフトローム多量	ソフト	
	Ⅵ	7.5YR3/2	黒褐色	ソフトローム	ソフト	
盛土	イ	7.5YR3/2	黒褐色	ローム粒	ソフト	
	ロ	7.5YR2/2	黒褐色	ローム粒	ソフト	
	ハ	7.5YR2/1	黒色	ローム粒	ソフト	

表15　第125号墓土層観察表（B～B'）

盛土	イ	7.5YR2/2	黒褐色	ローム粒	ソフト	炭粒
	ロ	7.5YR2/3	暗褐黒色	ローム粒　鉄釘	ソフト	炭粒　地土粒
						やや多量
	ハ	7.5YR2/3	暗褐黒色	ローム粒	ソフト	炭粒　地土粒
	ニ	7.5YR2/2	黒褐色	ローム粒	ソフト	炭粒
	ホ	7.5YR2/2	黒褐色		ソフト	炭粒　地土粒
						やや多量
	ヘ	7.5YR2/2	黒褐色		ソフト	炭粒　地土粒
	ト	7.5YR2/2	黒褐色	ローム粒　骨片	ソフト	炭粒　地土粒
	チ					
	リ	7.5YR2/2	黒褐色	ローム粒	ソフト	
	ヌ	7.5YR2/2	黒褐色		ソフト	炭粒　地土粒
	ル	7.5YR2/3	暗褐黒色	ローム粒	ソフト	炭粒
						地土粒多量
	ヲ	7.5YR3/2	黒褐色	骨中量	ハード	炭粒　地土粒
	ワ	7.5YR3/3	暗褐色	礫粒	ハード	炭粒微量
						地土粒微量

表16　第129号基土層観察表（A～A'）

	I -1	10YR3/3	暗褐色			
	Ib-1	10YR4/3	鈍い黄褐色	Ko-d多量	ソフト	
	Ib-2	10YR3/3	暗褐色	礫紋・Ko-d少量	ソフト	
	Ib-3	10YR3/3	暗褐色	Ko-d多量	ソフト	
	Ic-1	10YR4/3	鈍い黄褐色	礫紋少量		
	Ic-2	10YR3/4	暗褐色	礫紋少量	ソフト	
	Ia-1	10YR2/1	黒色		ソフト	
	Ia-2	10YR2/2	黒褐色		ソフト	
	Ib-1	10YR2/2	黒褐色	B-Tm少量		
盛土	イ	10YR2/2	黒褐色	礫紋微量		
	ロ	10YR2/1	黒色	Ko-d微量		
	ハ	10YR2/1	黒色	礫紋微量		
	ニ	10YR2/2	黒褐色	礫紋微量		
	ホ	10YR3/4	暗褐色	礫紋　ロール粒 ロームブロック少量	ややハード	
	ヘ	10YR4/4	褐色	礫紋　ロームブロック多量	ハード　粘土	
	ト	10YR2/3	黒褐色	礫紋　B-Tm・ロール粒微量		
	チ	10YR2/3	黒褐色	礫紋		
	リ	10YR2/2	黒褐色	礫紋・B-Tm微量		
	ヌ	10YR3/3	暗褐色	B-Tm少量		
	ル	10YR2/2	黒褐色	ロール粒微量		
	ヲ	10YR3/2	黒褐色		ソフト	
	ワ	10YR2/2	黒褐色	礫紋微量		炭粒微量
	カ	10YR2/2	黒褐色	礫紋微量		
	ヨ	10YR2/1	黒色	礫紋微量		炭粒微量
	タ	10YR4/3	鈍い黄褐色	ロール粒微量	粘質	
	レ	10YR2/1	黒色	B-Tm微量	ややハード	
	ソ	10YR2/1	黒色	礫紋微量　B-Tm少量	ややハード	
	ツ	10YR2/1	黒色	礫紋・B-Tm微量	ややハード	
	ネ	10YR2/1	黒色	礫紋・B-Tm微量	ややソフト	
	ナ	10YR2/1	黒色	礫紋少量	ややソフト	
	ラ	10YR3/4	暗褐色	礫紋・ロール粒やや多量 B-Tm微量		
	ム	10YR2/2	黒褐色	礫紋微量　B-Tm少量		
	ウ	10YR2/3	黒褐色	礫紋微量　ロール粒	ややソフト	
	ノ	10YR3/3	暗褐色	ロール粒　B-Tm	ソフト	
	ノ	10YR2/3	黒褐色	礫紋　ロール粒　B-Tm少量	ソフト	
	オ	10YR3/4	暗褐色	礫紋　ロール粒　B-Tm	ソフト	
	ク	10YR3/3	暗褐色	礫紋　ロール粒　B-Tm	ソフト	

表17　第129号基土層観察表（B～B'）

粕外層土	1	10YR4/3	鈍い黄褐色	礫紋　ロール粒多量	粘質	炭粒少量 焼土粒微量
	2	10YR3/4	暗褐色	礫紋　ロール粒多量	ソフト	炭粒少量 焼土粒
	3	10YR3/3	暗褐色	礫紋　ロール粒多量	ソフト	
	4	10YR3/4	暗褐色	礫紋　ロール粒多量　基盤礫少量	ソフト	
	5	10YR2/3	黒褐色	礫紋　ロール粒多量 全面ローム	ソフト	炭粒やや多量
	7	10YR3/3	暗褐色	礫紋　ロール粒多量	ソフト	炭粒少量
	8	10YR4/3	鈍い黄褐色	礫紋　ローム多量	ソフト	炭粒少量
	9	10YR3/4	暗褐色	礫紋　ロームブロック少量	ソフト　粘質	炭粒少量
	10	10YR4/3	鈍い黄褐色	礫紋　ロール粒多量	ソフト	
	11	10YR2/3	黒褐色	礫紋　ロール粒多量	粘質	
盛土	イ	10YR2/2	黒褐色	B-Tm少量		
	ロ	10YR4/3	鈍い黄褐色	礫紋やや多量　ロール粒少量		
	ハ	10YR2/2	黒褐色	礫紋微量　Ko-d少量		
	ニ	10YR2/3	黒褐色	礫紋微量　ロール粒少量 B-Tm少量	ソフト	
	ホ	10YR2/2	黒褐色	礫紋　B-Tm少量	ややハード	
	ヘ	10YR1.7/1	黒色	B-Tm少量		
	ト	10YR2/3	黒褐色	礫紋微量　ロール粒少量	ハード	
	チ	10YR2/3	黒褐色	礫紋微量　B-Tm少量	ややソフト	
	リ	10YR3/3	暗褐色	礫紋　ロール粒　B-Tm	ややソフト	
	ヌ	10YR3/3	暗褐色	礫紋　ロール粒	ややハード	焼土粒微量
	ル	10YR3/1	黒褐色	礫紋微量　Ko-d微量	ソフト	
	ヲ	10YR3/3	暗褐色	礫紋やや多量　ロール粒 B-Tm少量	ソフト	
	ワ	10YR3/1	黒褐色	礫紋微量　ロール粒少量	ややハード	炭粒微量
	カ	10YR2/3	黒褐色	礫紋　ロール粒　Ko-d多量	ハード	炭粒微量
	ヨ	10YR3/3	暗褐色	礫紋少量　ロール粒少量	ソフト	
	タ	10YR3/4	暗褐色	礫紋少量　ロール粒やや多量 基盤礫少量　Ko-d少量	ややハード	
	レ	10YR3/4	暗褐色	礫紋　ロール粒多量	ややハード	炭粒微量
	ソ	10YR4/4	褐色	礫紋　ロール粒多量	ややハード	炭粒微量
	ツ	10YR2/3	黒褐色	礫紋・ロール粒多量	ややハード	炭粒微量
	ネ	10YR2/2	黒褐色	礫紋・B-Tm少量	ややハード	
盛土（樹内崩落土）	ナ	10YR2/2	黒褐色	B-Tm少量		
	ラ	10YR2/3	黒褐色	礫紋微量　ロール粒	ソフト	
	ム	10YR2/2	黒褐色	ロール粒少量	ソフト	
	ウ	10YR2/3	黒褐色	ロール粒少量	ソフト	
	キ	10YR2/3	黒褐色	ロール粒　黒色土	ソフト	
	ノ	10YR3/3	暗褐色	礫紋　ロール粒	ソフト	
	オ	10YR2/2	黒褐色	礫紋　ロール粒多量	ソフト	
	ク	10YR3/1	黒褐色	礫紋　ロール粒やや多量	ソフト	
	ヤ	10YR3/1	黒褐色	礫紋	ソフト	

表18　第129号基土層観察表（C～C'）

盛土	イ	10YR2/2	黒褐色	B-Tm少量		
	ロ	10YR2/3	黒褐色	B-Tm少量　礫紋微量		
	ハ	10YR2/2	黒褐色	B-Tm少量　礫紋微量		
	ニ	10YR3/3	暗褐色	B-Tm・ロール粒少量		
	ホ	10YR2/2	黒褐色	礫紋　B-Tm少量	ややハード	
	ヘ	10YR1.7/1	黒色	B-Tm少量		
	ト	10YR2/2	黒褐色	礫紋・B-Tm少量	ややハード	
	チ	10YR2/3	黒褐色	礫紋　B-Tm少量　ロームブロック	ややハード	
	リ	10YR3/2	黒褐色	礫紋　ロール粒	ソフト	
	ヌ	10YR2/2	黒褐色	礫紋　ロール粒・B-Tm少量	ややハード	
	ル	10YR3/3	暗褐色	礫紋・ロール粒・基盤礫少量	ソフト	
	ヲ	10YR3/3	暗褐色	礫紋少量	ソフト	
	ワ	10YR4/4	褐色	礫紋少量　ロール粒 ロームブロック多量	ソフト	
	カ	10YR4/6	褐色	礫紋　ロール粒 ロームブロック多量	ハード	
	ヨ	10YR4/4	褐色	礫紋　ロール粒　ロームブロック	ハード	
	タ	10YR3/3	暗褐色	礫紋・ロール粒少量	ソフト	
	レ	10YR3/3	暗褐色	礫紋少量　ロール粒やや多量	ソフト	炭粒少量
盛土（樹内崩落土）	ソ	10YR2/2	黒褐色	B-Tm少量		
	ツ	10YR2/3	黒褐色	ロール粒少量	ソフト	
	ネ	10YR3/3	暗褐色	ロール粒少量	ソフト	

表19　第127号基土層観察表（A～A'）

粕外層土	1	7.5YR4/4	褐色	ソフトローム　礫紋	ソフト	炭粒微量
	2	7.5YR4/4	褐色	ソフトローム	ソフト	炭粒微量
	3	7.5YR4/4	褐色	ハードロームブロック	ややハード	
	4	7.5YR4/4	褐色	ソフトローム　小石	ややハード	
	5	7.5YR4/4	褐色	ソフトローム	ソフト	炭粒微量
	6	7.5YR4/4	褐色	ソフトローム　礫紋	ソフト	
	7	7.5YR4/4	褐色	ソフトローム　玉砂利	ソフト	
	8	7.5YR4/4	褐色	ソフトローム　礫紋	ソフト	
	9	7.5YR4/4	褐色	ソフトロームブロック	ソフト	
盛土（樹内崩落土）	イ	10YR3/4	暗褐色	ローム粒　礫紋微量	ややハード	
	ロ	10YR4/4	褐色	ロームブロック　ロール粒	ややハード	
	ハ	10YR3/3	暗褐色	ローム粒	ソフト	炭粒微量
	ニ	10YR2/3	黒褐色	10YR4/6褐色土30%	ソフト	
	ホ	10YR3/2	黒褐色	ロール粒　礫紋微量	ややソフト	
	ヘ	10YR2/3	黒褐色	ロール粒　礫紋微量	ソフト	
	ト	10YR3/4	暗褐色	ロール粒　ロームブロック少量	ソフト	
	チ	10YR3/4	暗褐色	ロール粒　ロームブロック40%	ソフト	
	リ	10YR4/3	暗褐色	ロール粒　ロームブロック少量	ソフト	
	ヌ	10YR3/4	暗褐色	ロール粒　ロームブロック少量	ソフト	
	ル	10YR3/3	暗褐色	ロール粒　ロームブロック30%	ソフト	
	ヲ	10YR3/4	暗褐色	ロール粒　ロームブロック40%	ソフト	
	レ	10YR4/6	褐色	ローム粒	ソフト	
	ソ	10YR3/4	暗褐色	ロール粒　ロームブロック40%	ソフト	
	ツ	10YR3/4	暗褐色	ロール粒　ロームブロック30%	ややソフト	
	ネ	10YR3/4	暗褐色	ローム粒　礫紋微量	ソフト	
	ナ	10YR3/4	暗褐色	ロール粒　ロームブロック少量	ソフト	
	ラ	10YR3/4	暗褐色	ロール粒　ロームブロック少量	ややソフト	
	ム	10YR3/4	暗褐色	ロール粒微量	ややソフト 粘質	
	ウ	10YR3/3	暗褐色	ローム粒　礫紋	ややハード 粘質	

表20　第127号基土層観察表（B～B'）

	Ⅱ－1	10YR3/3	暗褐色	Ko-d　ハードローム	ややソフト	
	Ⅱ－1	10YR3/3	暗褐色	ローム粒	ソフト	炭粒
	Ⅱ－2	10YR2/2	黒褐色	ハードローム	ソフト	炭粒　焼土粒
	Rb－1					
	Rb－2					
盛土	1	10YR4/3	褐色	ローム粒　礫粒	ややハード	焼土粒
	2	10YR4/3	褐色	ソフトローム	ソフト	炭粒
	3	10YR2/2	黒褐色	ソフトローム　礫粒	ソフト	焼土粒
	4	10YR3/2	黒褐色	ハードロームブロック　礫粒	ややハード	
	5	10YR3/2	黒褐色	ハードロームブロック　礫粒	ソフト	
	6	10YR3/2	黒褐色	ソフトローム　礫粒	ソフト	炭粒　焼土粒
	7	10YR3/3	暗褐色	ソフトローム　礫粒	ソフト	炭粒
	8	10YR2/3	黒褐色	ソフトローム　礫粒	ソフト	炭粒
	9	10YR3/3	暗褐色	ソフトローム	ソフト	炭粒
	10	10YR3/2	黒褐色	ソフトローム	ソフト	炭粒
	11	10YR3/2	黒褐色	ソフトローム	ソフト	炭粒
	12	10YR3/2	黒褐色	ソフトローム　礫粒	ソフト	炭粒
	13	10YR3/3	暗褐色	ソフトローム　礫粒	ソフト	焼土粒
	14	10YR4/3	褐色	ソフトローム	ソフト	炭粒
	15	10YR3/3	暗褐色	ソフトローム	ソフト	炭粒
	16	10YR2/2	黒褐色	ソフトローム	ソフト	炭粒
	17	10YR4/4	褐色	ソフトローム	ややハード	炭粒　焼土粒
	18	10YR4/3	褐色	ソフトローム　礫粒	ソフト	炭粒
	19	10YR4/3	褐色	ソフトローム　礫粒	ソフト	炭粒
	20	10YR4/4	褐色	ハードローム　礫粒	ややハード	
	21	10YR4/3	褐色	ソフトローム	ソフト	炭粒
	22	10YR4/3	褐色	ハードローム　礫粒	ややハード	炭粒
	23	10YR4/3	褐色	ソフトローム　礫粒	ややハード	
	24	10YR4/4	褐色	ソフトローム	ソフト	炭粒
	25	10YR3/3	暗褐色	ソフトローム	ソフト	炭粒
	26	10YR4/4	褐色	ハードローム　礫粒	ハード	
	27	10YR4/3	褐色	ソフトローム	ソフト	
	28	10YR3/3	暗褐色	ソフトローム	ソフト	炭粒

表21　第128号基土層観察表（A～A'）

	Ba－1	10YR4/4	褐色	礫粒　ローム粒微量	ハード	
	Rb－1	10YR3/4	暗褐色	礫粒　ローム粒　火山灰微量	ややハード	
	Rb－1	10YR3/3	暗褐色	ローム粒　礫粒微量　B-Tm	ソフト	
	Rb－1			全面B-Tm		
	V－1	10YR3/4	暗褐色	ローム粒少量		
裾外	1	10Y85/4	黄褐色	礫粒微量　ロームブロック	ソフト	
種土			褐色			
	2	10Y84/4	褐色	礫粒微量　ロームブロック	ソフト　粘土	
			赤褐色			
	3	10Y84/4	褐色	礫粒微量　ロームブロック	ハード　粘質	炭粒少量
	4	10Y84/6	褐色	礫粒微量　ロームブロック	ソフト　粘土	炭粒少量
	5	10Y84/4	褐色	礫粒微量　ロームブロック	粘土	炭粒少量
	6	10Y84/6	褐色	礫粒微量　ロームブロック	ハード	炭粒少量
	7	10Y84/4	褐色	礫粒微量　ロームブロック	ソフト	
	8	10Y84/6	褐色	礫粒微量		ややハード
					粘土	
	9	10Y84/4	褐色	礫粒微量　ロームブロック	ハード　粘質	炭粒少量
	10	10Y84/4	褐色	礫粒微量　ロームブロック	ソフト	
	11	10Y84/4	褐色	礫粒微量　ロームブロック	ソフト	
	12	10Y83/4	暗褐色	礫粒微量	ややハード	炭微量
					粘土	
	13	10Y83/4	暗褐色	礫粒微量	ややハード	焼土粒微量
					粘土	
	14	10Y84/4	褐色	礫粒微量	ハード　粘土	焼土粒
						炭粒微量
	15	10Y84/4	褐色	礫粒微量	ハード　粘土	焼土粒
	16	10Y84/4	褐色	礫粒微量	ハード　粘土	焼土粒
	17	10Y85/6	黄褐色	礫粒微量	ソフト　粘土	
	18	10Y85/6	黄褐色	礫粒微量	ややハード	
					粘土	
盛土	イ	10Y83/3	暗褐色	礫粒　ローム粒	ソフト	
	ロ	10Y83/3	暗褐色	Na・Bb混り　ローム粒	ソフト	炭粒
	ハ	10Y82/2	黒褐色	B-Tm微量　ローム粒	ソフト	炭粒
	ニ	10Y82/2	黒褐色	ソフトローム	ソフト	炭粒
	ホ	10Y82/2	黒褐色	ローム粒	ソフト	炭粒
	ヘ	10Y82/2	黒褐色	Na・Bb混り　ローム粒	ソフト	炭粒
	ト	10Y82/3	黒褐色	Na・Bb混り　ローム粒	ソフト	炭粒
	チ	10Y82/2	黒褐色	ローム粒	ソフト	
	リ	10Y82/2	黒褐色	礫粒	ソフト	焼土粒
	ヌ	10Y82/2	黒褐色	礫粒　ローム粒　B-Tm	ソフト	
	ル	10Y82/2	黒褐色	礫粒　ローム粒	ソフト	焼土粒
	ヲ	10Y83/1	黒褐色	礫粒	ソフト	炭粒　焼土粒
	ワ	10Y83/2	黒褐色	礫粒　ローム粒	ソフト	炭粒
	カ	10Y84/3	黄いい褐色	ハードローム	ややハード	炭粒
	ヨ	10Y83/3	暗褐色	ハードローム	ハード	炭粒
盛土（裾内崩落土）	タ	10YR3/3	暗褐色	ソフトローム	ソフト	炭粒
	レ	10YR4/3	褐色	ハードローム	ソフト	炭粒
	ソ	10YR3/2	黒褐色	ソフトローム	ソフト	炭粒
	ツ	10YR2/2	黒褐色	ソフトローム	ソフト	炭粒
	ネ	10YR3/2	黒褐色	ソフトローム	ソフト	炭粒
	ナ	10YR3/2	黒褐色	ソフトローム	ソフト	炭粒
	ラ	10YR4/3	褐いい褐色	ハードローム　礫粒	ハード	炭粒

表22　第136号基土層観察表（A～A'）

	Ⅰ－1				
	Ⅱ－1	7.5YR3/2	黒褐色	Ko-dやや多量	ソフト	
	Ba－1	7.5YR4/3	褐色	ハードローム主体		
	Rb－1	7.5YR4/4	褐色	B-Tm主体	ソフト	
	Rb－2	7.5YR4/4	褐色	B-Tm主体	ソフト	
盛土	イ	7.5YR2/2	黒褐色	ローム粒	ソフト	炭粒少量
	ロ	7.5YR3/3	暗褐色	B-Tm主体	ソフト	炭粒少量
	ハ	7.5YR3/2	黒褐色		ソフト	炭粒微量
						焼土粒
	ニ	7.5YR3/1	黒褐色		ソフト	炭粒多量
						焼土粒

表23　第136号基土層観察表（B～B'）

	Rb－1	10YR3/3	暗褐色	Ko-d25%	ソフト	炭化物30%
盛土	イ	10YR2/3	黒褐色		ソフト	炭化物少量
						焼土粒微量
	ロ	10YR2/3	黒褐色	焼骨片微量	ソフト	炭化物40%
						焼土粒微量
	ハ	10YR2/2	黒褐色	B-Tm少量	ソフト	炭化物少量
	ニ	10YR2/3	黒褐色	焼骨片　B-Tm少量	ソフト	
	ホ	10YR3/4	暗褐色			
	ヘ	10YR3/4	暗褐色			
	ト	10YR2/3	黒褐色	Ko-d極少量	ソフト	
	チ	10YR2/3	黒褐色		ソフト	焼土粒
						炭粒極少量
	リ	10YR2/3	黒褐色		ソフト	焼土粒
						炭粒40%
	ヌ	10YR2/3	黒褐色		ソフト	炭化物少量
						焼土粒微量
	ル	10YR2/3	黒褐色		ソフト	炭化物20%
	ヲ	10YR2/3	黒褐色		ソフト	炭化物10%
						焼土粒微量
	ワ	10YR3/3	暗褐色		ソフト	炭化物20%
						焼土粒微量

表24　第136号基土層観察表（C～C'）

盛土	イ	10YR2/2	黒褐色		ソフト	炭化物少量
						焼土粒微量
	ロ	10YR2/3	黒褐色	B-Tm微量	ソフト	
	ハ	10YR2/1	黒色		ソフト	炭化物20%
	ニ	10YR2/2	黒褐色	ローム粒微量	ソフト	炭少量
	ホ	10YR2/2	黒褐色	(ニ) よりローム粒多量	ソフト	炭少量
	ヘ	10YR2/2	黒褐色	ローム粒微量	ソフト	炭少量
	ト	10YR2/3	黒褐色	ローム粒少量	ややソフト	炭微量
	チ	10YR2/2	黒褐色		ソフト	炭化物微量
						焼土粒微量
	リ	10YR2/2	黒褐色		ソフト	焼土粒微量
	ヌ	10YR2/3	黒褐色		ソフト	炭化物少量
						焼土粒微量
	ル	10YR1.7/1	黒色	焼骨片	ソフト	炭化物少量
	ヲ	10YR2/2	黒褐色		ソフト	炭化物少量
						焼土粒微量
	ワ	10YR1.7/1	黒色		ソフト	焼土粒微量
	カ	10YR1.7/1	黒色		ソフト	炭化物30%
	ヨ	10YR1.7/1	黒色		ソフト	炭化物20%
	タ	10YR1.7/1	黒色		ソフト	炭化物少量

表25　土壌９土層観察表

盛土	イ	10YR3/2	黒褐色		ややハード	炭微量
	ロ	10YR3/1	黒褐色	B-Tm少量	ややソフト	
	ハ	10YR3/3	暗褐色	ローム粒少量	ややソフト	
	ニ	10YR3/4	暗褐色		ややソフト	
	ホ	10YR4/4	褐色		ややハード	
	ヘ	10YR5/6	黄褐色		ややソフト	

表26　第13号基土層観察表（A～A'）

褐外	あ	10YR3/3	暗褐色	ロームブロック少量	ややソフト	
層土	い	10YR3/3	暗褐色	ロームブロック微量	ややソフト	
	う	10YR2/3	黒褐色	ロームブロック少量	ソフト	
	え	10YR3/6	黄褐色		ややハード	
	お	10YR3/4	暗褐色	ロームブロック少量	ややハード	
	か	10YR3/3	暗褐色	ロームブロック微量	ややソフト	
	き	10YR3/2	黒褐色	ロームブロック微量	ややソフト	
	く	10YR5/6	黄褐色		ややハード	
	け	10YR4/4	褐色		ややハード	
	こ	10YR3/2	黒褐色	ロームブロック少量	ややソフト	
	さ	10YR3/2	黒褐色	ロームブロック少量	ややハード	
盛土（褐内崩落土）	イ	10YR2/2	黒褐色		ややハード	炭粒微量
	ハ	10YR2/3	黒褐色		ややハード	
	ロ	10YR2/3	黒褐色		ややハード	炭粒微量
	ニ	10YR4/6	褐色		ややハード	
	ホ	10YR3/2	黒褐色		ややハード	
	ヘ	10YR3/2	黒褐色	ロームブロック少量	ソフト	
	ト	10YR3/1	黒褐色		ややハード	炭粒微量
	チ	10YR3/2	黒褐色		ややハード	
	リ	10YR2/3	黒褐色	ロームブロック微量	ソフト	炭粒微量
	ヌ	10YR3/2	黒褐色	ローム粒少量	ソフト	
	ル	10YR2/3	黒褐色	ローム粒少量	ソフト	炭粒微量
	ヌ	10YR3/3	暗褐色	ローム粒少量	ソフト	
	カ	10YR2/3	黒褐色	ローム粒微量	ややソフト	
	ワ	10YR3/3	暗褐色	ロームブロック微量	ややソフト	
	ヨ	10YR2/2	黒褐色	ローム粒微量	ややソフト	
	タ	10YR2/2	黒褐色	ローム粒微量	ややソフト	炭粒微量

表27　第8号基・第140号基土層観察表（A～A'）

	Ⅰ-1	10YR3/3	暗褐色		ややソフト	
	Ⅱ-1	10YR3/3	暗褐色	Ko-dブロック少量	ソフト	炭粒微量
	Ⅲ-1	7.5YR3/2	黒褐色	Ko-d少量	ソフト	炭粒微量
	Ⅲa-1	10YR2/2	黒褐色	ローム粒	ソフト	
	Ⅳb	10YR2/2	黒褐色	ロームブロック×1	ソフト	
8号基盛土	a	10YR3/3	暗褐色	玉砂利多量	ややソフト	
	b	10YR3/2	黒褐色	玉砂利微量	ややソフト	
	c	10YR3/2	黒褐色		ややソフト	炭粒微量
	d	10YR3/2	黒褐色	Ko-d少量	ややソフト	
	e	10YR3/2	黒褐色	玉砂利・B-Tm微量	ソフト	
	f	10YR2/2	黒褐色	Ko-dブロック微量	ややハード	炭粒微量
	g	10YR2/2	黒褐色	ローム粒微量	ややハード	
	h	10YR3/2	黒褐色	ローム粒微量	ややソフト	
	i	10YR2/2	黒褐色		ややソフト	炭粒微量
	j	10YR2/2	黒褐色		ややハード	炭粒微量
140号基層土	1	7.5YR3/1	黒褐色		ソフト	
	2	7.5YR2/1	黒色	B-Tm微量	ソフト	
	3	7.5YR2/1	黒色	Ko-d微量　ローム粒	ソフト	
	4	7.5YR2/2	黒褐色	B-Tm多量	ソフト	炭粒少量
	5	7.5YR2/1	黒色	B-Tm少量	ソフト	炭粒少量
	6	7.5YR2/2	黒褐色	B-Tm多量	ソフト	炭粒少量
	7	7.5YR2/2	黒褐色	ローム粒	ソフト	
	8	7.5YR1.7/1	黒色	Ko-d少量　全体炭	ソフト	
	9	7.5YR3/2	黒褐色	ローム粒　Ko-d	ソフト	炭粒微量
	10	7.5YR3/3	暗褐色	全面Ko-d主体	ソフト	

表28　第9号基土層観察表（B～B'）

	Ⅱ-1	10YR2/3	黒褐色	骨片　鉄釘	ややハード	炭粒少量
	Ⅲa-1	10YR3/4	褐色		ややハード	
	Ⅳb-1	10YR2/3	黒褐色	B-Tm層状に中量	ややソフト	
	Ⅳb-2	10YR2/3	黒褐色	B-Tm微量	ややハード	
	Ⅴ-1	10YR2/2	黒褐色		ややハード	
9号基層土	あ	10YR2/2	黒褐色	B-Tmブロック微量　骨片	ややソフト	炭粒少量
	い	10YR3/1	黒褐色		ややソフト	炭粒微量
	う	10YR2/2	黒褐色	骨片母灰に少量	ソフト	明褐色焼土粒少量　炭粒少量
	え	10YR3/2	黒褐色	骨片微量	ソフト	明褐色焼土粒・炭粒少量

表29　Pit9土層観察表（C～C'）

層土	1	7.5YR3/2	黒褐色	Ko-d多量　ローム粒	ソフト	炭粒微量
	2	7.5YR3/2	黒褐色	Ko-d少量　ローム粒	ややソフト	
	3	7.5YR3/2	黒褐色	ハードロームブロック　Ko-d微量	ややソフト	炭粒微量
	4	7.5YR3/2	黒褐色	ハードロームブロック	ハード	炭粒微量
	5	7.5YR2/2	黒褐色	ハードロームブロック	ハード	炭粒微量
	6	7.5YR3/2	黒褐色	ハードロームブロック	ハード	炭粒微量

表30　第8号基・第140号基・Pit26土層観察表（D～D'）

	Ⅰ-1	10YR3/3	暗褐色		ややソフト	
	Ⅱ-1	10YR3/3	暗褐色	Ko-dブロック少量	ややソフト	炭粒微量
	Ⅲa-1	10YR2/1	黒色	Ko-dブロック微量	ややハード	
	Ⅲa-2	10YR4/6	褐色	B-Tm主体　黒色土少量	ややソフト	
	Ⅴa	10YR2/2	黒褐色		ややソフト	
	Ⅴb	10YR2/2	黒褐色	ロームブロック×1	ソフト	
	Ⅴc	10YR2/1	黒色		ソフト　シルト	
8号基盛土	1	10YR3/3	暗褐色	玉砂利多量	ややソフト	
	2	10YR3/2	黒褐色	玉砂利微量　B-Tm微量	ソフト	
	3	10YR2/2	黒褐色	Ko-dブロック微量	ややハード	炭粒微量
	4	10YR2/2	黒褐色	Ko-d・B-Tmブロック微量	ややソフト	
	5	10YR3/1	黒褐色	B-Tm帯状に中量	ややソフト	炭粒微量
	6	10YR3/1	黒褐色		ややハード	炭粒微量
	7	10YR2/2	黒褐色	B-Tm粒微量	ややハード	炭粒微量
	8	10YR3/1	黒褐色		ややハード	炭粒微量
	9	10YR3/2	黒褐色	B-Tmブロック少量	ややソフト	炭粒微量
	10	10YR3/2	黒褐色	B-Tm中量　Ko-dブロック微量	ややソフト	炭粒少量
	11	10YR2/2	黒褐色	B-Tmブロック微量	ややハード	
	12	10YR2/2	黒褐色	B-Tmブロック微量	ややソフト	
	13	10YR2/3	黒褐色	ロームブロック中量	ややハード	
	14	10YR2/1	黒色	B-Tmブロック微量	ややソフト	
	15	10YR2/2	黒褐色	B-Tmブロック微量	ソフト	
140号基層土	A	10YR3/2	黒褐色		ソフト	炭粒微量
	B	10YR3/1	黒褐色		ソフト	炭粒微量
Pit26	イ	10YR2/2	黒褐色	Ko-d多量	ハード	
	ロ	10YR2/2	黒褐色	Ko-dブロック少量 B-Tmブロック微量	ハード	
	ハ	10YR2/2	黒褐色	Ko-dブロック微量	ややハード	
	ニ	10YR2/2	黒褐色	Ko-dブロック微量 B-Tmブロック少量	ややハード	

表31　22号基土層観察表（A～A'）

褐外層土	1	10YR4/6	褐色	Ko-d少量	ハード	
	2	10YR4/4	褐色	Ko-d微量	ややハード	
	3	10YR4/6	褐色		ややソフト	炭粒微量
	4	10YR4/3	鈍い黄褐色	ローム粒　ロームブロック多量 礫粒微量　Ko-d少量	ハード	
	5	10YR4/6	褐色	Ko-d少量	ややハード	
	6	10YR4/4	褐色		ややハード	炭粒少量
	7	10YR3/3	暗褐色	ロームブロック少量	ややハード	
	8	10YR3/2	黒褐色	Ko-d少量	ややハード	
	イ	10YR3/3	暗褐色	Ko-d30%		
	ロ	10YR7/3	鈍い黄褐色	全面Ko-d	粘質	
盛土	ハ	10YR3/3	暗褐色	ローム粒少量　Ko-d微量	ややハード	
	ニ	10YR3/3	暗褐色	ローム粒・Ko-d少量	ソフト	粘土
	ホ	10YR3/3	暗褐色	ローム粒やや多量　Ko-d少量	ハード	
	ヘ	10YR3/3	暗褐色	ローム粒　Ko-d少量	粘質	
	ト	10YR3/3	暗褐色	ローム粒　Ko-d少量	粘質	
	チ	10YR3/2	黒褐色	ローム粒・ロームブロック少量 Ko-d　礫粒微量	ややソフト	
	リ	10YR3/2	黒褐色	ロームブロック多量	ややソフト	炭粒微量
	ヌ	10YR3/3	暗褐色	ローム粒・ブロックやや多量 Ko-d微量	粘質	
	ル	10YR4/6	褐色	全面ローム　焦色土・B-Tm少量	ハード	
	ヲ	10YR3/2	黒褐色	ローム粒少量　礫粒微量 ロームブロック多量　Ko-d		
	ワ	10YR3/2	黒褐色	Ko-dやや多量	ソフト	
	カ	10YR4/4	褐色	ロームブロック90%　Ko-d微量	ハード	
	ヨ	10YR4/3	鈍い黄褐色	ローム粒　ロームブロックやや多量　礫粒微量	ややハード	
盛土（褐内崩落土）	タ	10YR3/2	黒褐色	ローム粒少量　Ko-d　礫粒微量 ロームブロック多量		
	レ	10YR4/4	褐色	黒色土少量　全面ローム		
	ソ	10YR3/2	黒褐色	ロームブロック多量		炭粒微量
	ツ	10YR3/2	黒褐色	ロームブロック多量　Ko-d少量	ややソフト	炭粒微量
	ネ	10YR3/2	黒褐色	Ko-d・ロームブロック多量	ややソフト	炭粒微量
	ナ	10YR2/1	黒色	礫粒微量		
	ラ	10YR4/4	褐色	ロームブロック90%	ハード	
	ム	10YR4/3	鈍い黄褐色	ローム粒・Ko-d・ロームブロックやや多量　礫粒微量	ソフト	
	ウ	10YR3/2	黒褐色	ローム粒　ロームブロックやや多量　Ko-d少量		
	キ	10YR2/3	黒褐色			
	ノ	10YR3/3	暗褐色		ソフト	
	オ	10YR4/3	鈍い黄褐色	ローム粒　礫粒微量　Ko-d少量	ハード	
	ク	10YR4/6	褐色	Ko-d少量	ややハード	ソフト
	ヤ	10YR3/2	黒褐色	Ko-d多量・Ko-dやや多量		
	マ	10YR2/2	黒褐色	Ko-d少量		
	ケ	10YR2/3	黒褐色	Ko-d多量　ローム粒	粘質	
	フ	10YR7/3	鈍い黄褐色	全面Ko-d		

表32　138号墓・Pit15土層観察表（A～A'）

褐外	あ	7.5YR3/3	暗褐色	ハードロームブロック	ややハード	
覆土	い	7.5YR3/2	黒褐色	ハードロームブロック	ややハード	
	う	7.5YR3/2	黒褐色	ソフトローム		炭粒微量
	え	7.5YR3/2	黒褐色	ソフトロームブロック	ソフト	
	お	7.5YR3/2	黒褐色	ソフトローム　礫粒		炭粒微量
	か	7.5YR2/2	黒褐色	ローム粒　Ko-d多量	ソフト	
	き	7.5YR2/2	黒褐色	ローム粒　Ko-d	ソフト	
盛土	イ	7.5YR2/2	黒褐色	B-Tm少量	ソフト	炭粒少量
	ロ	7.5YR2/2	黒褐色	Ko-d微量	ソフト　シルト	炭粒微量
	ハ	7.5YR2/2	黒褐色	B-Tm微量	ソフト	
	ニ	7.5YR2/2	黒褐色	ローム粒	ソフト	炭粒微量
盛土	ホ	7.5YR2/1	黒色	ローム粒ブロック	ソフト	
相内	へ	7.5YR2/2	黒褐色	ローム粒ブロック	ソフト	炭粒少量
遺体	ト	7.5YR2/1	黒色	ローム粒ブロック	ソフト	炭粒微量
埋土	チ	7.5YR2/2	黒褐色	ローム粒	ソフト	炭粒微量
	リ	7.5YR2/2	黒褐色	ローム粒ブロック	ソフト	炭粒少量
	ヌ	7.5YR2/2	黒褐色	B-Tm少量	ソフト	
	ル	7.5YR2/1	黒色	B-Tm少量　ロームブロック	ソフト	
	ザ	7.5YR2/1	黒色	ローム粒	ソフト	炭粒微量
	ワ	7.5YR2/1	黒色	B-Tm少量　ローム粒	ソフト	
	カ	7.5YR2/1	黒色	B-Tm少量　ローム粒	ソフト	炭粒少量
	ヨ	7.5YR2/1	黒色	ローム粒微量	ソフト	
	タ	7.5YR3/2	黒褐色	ローム粒多量	ソフト	
Pit15	a	7.5YR3/2	黒褐色	ハードロームブロック	ハード	
	b	7.5YR2/2	黒褐色	ローム粒	ソフト	炭粒微量

表33　11号墓・焼土7土層観察表（A～A'）

覆土	1	7.5YR3/3	暗褐色		ややソフト	焼土粒多量
						炭粒少量
	2	7.5YR3/3	暗褐色		ソフト　シルト	焼土粒少量
	3	7.5YR3/3	暗褐色		ソフト	焼土粒少量
						炭粒微量
Pit8	あ	7.5YR3/2	黒褐色	Ko-d多量　礫粒　ローム粒	ソフト	
	い	7.5YR3/3	暗褐色	礫粒	ソフト	焼土粒
						炭粒微量
	う	7.5YR3/3	暗褐色	礫粒　ローム粒	ややソフト	焼土粒
						炭微量
	え	7.5YR8/2	灰白色	全面Ko-d主体		

表34　11号墓・Pit8・43号墓土群観察表（B～B'）

	I	10YR3/2	黒褐色	ローム	ソフト	
	II－3	10YR3/4	暗褐色	Ko-dブロック少量	ややハード	
	II－4	10YR3/4	暗褐色	Ko-d帯状に多量	ややハード	
	Ⅳ					
	V					
	Va	10YR2/2	黒褐色	黄褐色　ロームブロック×1	ややソフト	
	Vc	10YR2/2			ソフト　シルト	
11号墓	イ	7.5YR2/2	黒褐色	礫粒	ややソフト	炭粒微量
盛土					焼土粒	
	ロ	7.5YR3/2	黒褐色	Ko-d多量　礫粒	ソフト	炭粒微量
						焼土粒
	ハ	7.5YR3/2	黒褐色	Ko-d多量　礫粒　ソフトローム	ソフト	炭粒微量
						焼土粒
	ニ	7.5YR3/2	黒褐色	Ko-d多量　礫粒	ややソフト	焼土粒
43号墓	イ	10YR3/1	黒褐色	Ko-dブロック微量　B-Tm	ややハード	
盛土	ロ	10YR2/3	黒褐色	Ko-d・B-Tmブロック微量	ややハード	
	ハ	10YR3/2	黒褐色	Ko-dブロック少量	ややハード	
	ニ	10YR3/1	黒褐色	B-Tm帯状に多量	ややソフト	
	ホ	10YR2/3	黒褐色		ややハード	炭粒微量
	へ	10YR2/2	黒褐色	Ko-dブロック微量	ややハード	
					シルト	
	ト	10YR3/2	黒褐色		ややソフト	炭粒微量
	チ	10YR3/2	黒褐色	B-Tmブロック微量	ややハード	
Pit8	あ	7.5YR3/2	黒褐色	Ko-d多量　礫粒　ローム粒	ソフト	
	い	7.5YR3/3	暗褐色	礫粒	ソフト	焼土粒
						炭粒微量
	う	7.5YR3/3	暗褐色	礫粒　ローム粒	ややソフト	焼土粒
						炭粒微量
小Pit	あ	10YR2/2	黒褐色		ソフト　シルト	

表35　10号墓・Pit4・焼土7土層観察表（C～C'）

	I	10YR3/2	黒褐色		ソフト	
	II－1	10YR3/2	黒褐色	Ko-d多量	ソフト	
	II－2	10YR3/2	黒褐色	Ko-d	ソフト	
	II－3	10YR2/2	黒褐色	Ko-d少量	ソフト	
	Ⅳ－1	10YR3/2	黒褐色		ややハード	炭粒少量
	Ⅳ－2	10YR3/1	黒褐色		ややハード	炭粒少量
10号墓	1	10YR3/2	黒褐色		ややソフト	
盛土	2	10YR3/2	黒褐色		ややハード	炭粒微量
	3	10YR2/1	黒色		ややソフト	
					シルト	
Pit4	あ	10YR2/3	黒褐色	Ko-d多量	ややハード	
	い	10YR2/3	黒褐色	Ko-d微量	ややハード	
	う	10YR2/3	黒褐色		ややハード	炭粒微量
	え	10YR2/2	黒褐色	Ko-d微量	ややソフト	
	お	10YR2/3	黒褐色		ややソフト	
	か	10YR2/2	黒褐色		ソフト	炭粒少量
	き	10YR3/4	褐褐色		ややハード	炭粒少量
	く	10YR2/3	黒褐色		ややソフト	炭粒微量
焼土7	a	7.5YR4/4	褐色		ややソフト	炭粒少量
	b	7.5YR4/6	褐色		ややソフト	炭粒少量

表36　焼土7土層観察表（D～D'）

覆土	1	5YR3/4	暗赤褐色		ソフト	全面焼土粒
	2	7.5YR3/3	暗褐色		ソフト	焼土粒多量
	3	7.5YR2/2	黒褐色	Ko-d微量	ソフト　シルト	炭粒少量
						焼土粒少量
	4	7.5YR3/3	暗褐色		ソフト	焼土粒微量
						炭化物
	5	7.5YR3/4	暗褐色		ソフト	全面焼土粒
	6	7.5YR3/3	暗褐色		ソフト	焼土粒
	7	7.5YR3/3	暗褐色		ソフト	焼土粒
	8	7.5YR3/3	暗褐色	Ko-d微量	ソフト	焼土粒微量

表37　18号墓・Pit2土層観察表（A～A'）

	Ⅱ	10YR2/2	黒褐色	ローム粒少量	ややソフト	
覆土	1	10YR8/3	浅黄橙	全面Ko-d		
	2	10YR2/2	黒褐色	炭粒微量	ややハード	
	3	10YR2/1	黒色	炭粒微量	ややソフト	
	4	10YR2/2	黒褐色	ローム粒中量	ややソフト	
Pit2	a	10YR3/3	暗褐色	炭粒微量		
	b	10YR3/2	黒褐色	炭粒微量		

表38　18号墓土層観察表（B～B'）

	Ⅳ					
盛土	1	10YR2/2	黒褐色	炭粒微量	ややソフト	
	2	10YR2/3	黒褐色		ややソフト	
	3	10YR2/3	黒褐色		ややソフト	
	4	10YR2/2	黒褐色		ソフト	
	あ	10YR3/3	暗褐色	Ko-d微量　ロームブロック少量	ややソフト	

表39 奥王山墳墓群 出土遺物観察表

図版No	PL.No	遺構	器種	備考	整理No
8図-1	PL21-1	3号墓	鉄釘	長7.12×幅[0.30]×厚[0.30]cm 完形 底板→側板 角釘	M-2
8図-2	PL21-2	3号墓	鉄釘	長8.35×幅0.45 ×厚 0.40cm 完形 側板→側板 頭巻釘	M-11
8図-3	PL21-3	3号墓	鉄釘	長8.54×幅[0.55]×厚[0.30]cm 完形 側板→側板	M-23
8図-4	PL21-4	3号墓	鉄釘	長8.31×幅[0.60]×厚[0.40]cm 完形 側板→側板 頭巻釘	M-17
8図-5	PL21-5	3号墓	鉄釘	長(3.39)×幅[0.30]×厚[0.25]cm 蓋板→側板 頭巻釘	M-5
8図-6	PL21-6	3号墓	鉄釘	長(4.30)×幅0.40×厚[0.35]cm 側板→側板 頭巻釘	M-22
8図-7	PL21-7	3号墓	鉄釘	長6.21×幅[0.45]×厚[0.35]cm 完形 側板→側板	M-3-1
8図-8	PL21-8	3号墓	鉄釘	長[7.00]×幅[0.50]×厚[0.40]cm 完形 側板→側板 頭巻釘	M-25
8図-9	PL17-1	3号墓	銅銭	無文銭 外 ×内 ×厚0.11cm,0.5g, 模鋳銭	311
8図-10	PL17-2	3号墓	銅銭	祥符通寶 外2.24×内0.62×厚0.11cm,2.1g, 模鋳銭	309-310
8図-11	PL17-3	3号墓	銅銭	元祐通寶 外2.17×内1.87×厚0.12cm,1.1g, 模鋳銭	308
8図-12	PL17-4	3号墓	銅銭	無文銭 外2.20×内 ×厚0.10cm,0.5g, 模鋳銭	312
11図-1	PL21-9	14号墓	鉄釘	長(2.09)×幅[0.35]×厚[0.30]cm 蓋板→側板	M-16
11図-2	PL21-10	14号墓	鉄釘	長(4.42)×幅0.51 ×厚0.49cm 蓋板→側板	M-11
11図-3	PL21-11	14号墓	鉄釘	長(2.39)×幅0.40 ×厚0.35cm 蓋板→側板	M-22
11図-4	PL21-12	14号墓	鉄釘	長(5.11)×幅0.45 ×厚0.45cm 蓋板→側板 頭巻釘	M-24
11図-5	PL21-13	14号墓	鉄釘	長(2.21)×幅0.51 ×厚0.44cm 蓋板→側板 頭巻釘	M-43
11図-6	PL21-14	14号墓	鉄釘	長(4.28)×幅[0.45]×厚[0.40]cm 蓋板→側板 頭巻釘	M-9
11図-7	PL21-15	14号墓	鉄釘	長(5.20)×幅0.30 ×厚[0.30]cm 側板→側板	M-3
11図-8	PL21-16	14号墓	鉄釘	長(3.71)×幅[0.35]×厚[0.35]cm 側板→側板	M-2
11図-9	PL21-17	14号墓	鉄釘	長(5.30)×幅0.50 ×厚0.50cm 側板→側板	M-6
11図-10	PL21-18	14号墓	鉄釘	長(4.90)×幅0.50 ×厚0.50cm 側板→側板 頭巻釘	M-13
11図-11	PL21-19	14号墓	鉄釘	長(5.17)×幅0.45 ×厚0.40cm 側板→側板	M-18
11図-12	PL21-20	14号墓	鉄釘	長6.88×幅[0.50] ×厚[0.35]cm 完形 側板→側板 頭巻釘	M-33
11図-13	PL21-21	14号墓	鉄釘	長5.97×幅[0.35] ×厚[0.35]cm 完形 側板→側板	M-46
11図-14	PL21-22	14号墓	鉄釘	長5.92×幅0.50 ×厚0.35cm 略完形 側板→側板	M-47
11図-15	PL21-23	14号墓	鉄釘	長6.21×幅[0.50]×厚[0.35]cm 完形 側板→側板 頭巻釘	M-53
11図-16	PL21-24	14号墓	鉄釘	長(3.24)×幅0.40 ×厚0.30cm 側板→側板	M-17
11図-17	PL21-25	14号墓	鉄釘	長5.41×幅0.45 ×厚[0.35]cm 略完形 底板→側板	M-37
11図-18	PL21-26	14号墓	鉄釘	長4.32×幅0.40 ×厚[0.40]cm 底板→側板	M-14
11図-19	PL21-27	14号墓	鉄釘	長(3.89)×幅[0.35]×厚[0.35]cm 底板→側板	M-34
11図-20	PL21-28	14号墓	鉄釘	長(3.31)×幅[0.55]×厚[0.50]cm 底板→側板	M-20①
11図-21	PL21-29	14号墓	鉄釘	長(3.41)×幅[0.45]×厚[0.40]cm 底板→側板	M-50
11図-22	PL21-30	14号墓	鉄釘	長(4.82)×幅0.50 ×厚0.35cm 底板→側板 頭巻釘	M-51
11図-23	PL21-31	14号墓	鉄釘	長(5.61)×幅0.50 ×厚0.53cm 棺外	M-25
11図-24	PL21-32	14号墓	鉄釘	長(5.08)×幅0.30 ×厚0.30cm, 棺外 頭巻釘	M-54
11図-25	PL21-33	14号墓	鉄釘	長(2.49)×幅0.52 ×厚0.41cm, 不明 頭巻釘	M-41
11図-26	PL17-5	14号墓	銅銭	宋通元寶 外2.45×内1.95×厚0.15cm,2.1g, 模鋳銭	402
11図-27	PL17-6	14号墓	銅銭	洪武通寶 外2.18×内1.72×厚0.18cm,2.5g, 模鋳銭	403
11図-28	PL17-7	14号墓	銅銭	判読不能 外2.48×内 ×厚0.18cm,2.0g	404
11図-29	PL17-8	14号墓	銅銭	判読不能 外2.47×内1.99×厚0.15cm,2.0g	405
13図-1	PL21-34	5号墓	鉄釘	長3.19×幅0.25 ×厚0.30cm 完形 側板→側板 頭巻釘	M-4
13図-2	PL21-35	5号墓	鉄釘	長(3.27)×幅0.50×厚[0.35]cm, 側板→側板頭巻釘	M-24
13図-3	PL21-36	5号墓	鉄釘	長[5.90]×幅0.47×厚0.39cm 完形 側板→側板 頭巻釘	M-15
13図-4	PL21-37	5号墓	鉄釘	長[6.10]×幅[0.35]×厚[0.40]cm 完形 側板→側板 頭巻釘	M-12
13図-5	PL21-38	5号墓	鉄釘	長5.71×幅0.40×厚0.29cm 完形 側板→側板 頭巻釘	M-2
13図-6	PL21-39	5号墓	鉄釘	長6.31×幅[0.50]×厚[0.40]cm 完形 側板→側板 頭巻釘	M-23
13図-7	PL21-40	5号墓	鉄釘	長(4.55)×幅[0.40]×厚[0.30]cm 側板→側板	M-20
13図-8	PL21-41	5号墓	鉄釘	長6.01×幅[0.45]×厚[0.40]cm 完形 側板→側板 頭巻釘	M-19
13図-9	PL21-42	5号墓	鉄釘	長6.00×幅[0.55]×厚[0.35]cm 完形 側板→側板 頭巻釘	M-21
13図-10	PL21-43	5号墓	鉄釘	長5.78×幅0.50 ×厚[0.40]cm 完形 側板→側板 頭巻釘	M-17
13図-11	PL17-9	5号墓	銅銭	天禧通寶 外2.38×内1.96×厚0.11cm,1.7g	323
13図-12	PL17-10	5号墓	銅銭	嘉祐元寶 外2.35×内1.84×厚0.16cm,2.4g 模鋳銭	334
13図-13	PL17-11	5号墓	銅銭	元符通寶 外2.47×内2.00×厚0.14cm,2.1g	365
13図-14	PL17-12	5号墓	銅銭	洪武通寶 外2.11×内1.85×厚0.10cm,1.6g 模鋳銭	347
13図-15	PL17-13	5号墓	銅銭	洪武通寶 外2.41×内2.00×厚0.17cm,1.9g 模鋳銭	366
13図-16	PL17-14	5号墓	銅銭	洪武通寶 外2.33×内1.90×厚0.17cm,1.3g	356
14図-17	PL17-15	5号墓	銅銭	皇宋通寶 外2.23×内1.90×厚0.10cm,1.8g 模鋳銭	330
14図-18	PL17-16	5号墓	銅銭	判読不能 外2.25×内1.90×厚0.09cm,1.7g 模鋳銭	332
14図-19	PL17-17	5号墓	銅銭	無文銭 外2.19×内1.87×厚0.11cm,2.2g 模鋳銭	341
14図-20	PL17-18	5号墓	銅銭	判読不能 外2.11×内1.89×厚0.08cm,1.6g	327
14図-21	PL17-19	5号墓	銅銭	無文銭 外2.20×内1.90×厚0.10cm,2.1g 模鋳銭	342
14図-22	PL17-20	5号墓	銅銭	判読不能 外2.38×内1.90×厚0.10cm,1.5g 模鋳銭	351
14図-23	PL17-21	5号墓	銅銭	無文銭 外2.20×内1.75×厚0.09cm,1.9g 模鋳銭	349
14図-24	PL17-22	5号墓	銅銭	無文銭 外2.20×内 ×厚0.10cm,1.3g 模鋳銭	358
14図-25	PL17-23	5号墓	銅銭	無文銭 外2.00×内 ×厚0.10cm,1.4g 模鋳銭	328
14図-26	PL17-24	5号墓	銅銭	無文銭 外1.95×内 ×厚0.10cm,1.3g 模鋳銭	336
14図-27	PL17-25	5号墓	銅銭	無文銭 外2.17×内 ×厚0.10cm,1.4g 模鋳銭	339
14図-28	PL17-26	5号墓	銅銭	無文銭 外2.10×内 ×厚0.11cm,1.4g 模鋳銭	338
14図-29	PL17-27	5号墓	銅銭	無文銭 外2.09×内 ×厚0.06cm,1.2g 模鋳銭	337
14図-30	PL17-28	5号墓	銅銭	無文銭 外1.83×内 ×厚0.08cm,1.0g 模鋳銭	344
14図-31	PL17-29	5号墓	銅銭	無文銭 外1.76×内 ×厚0.10cm,1.1g 模鋳銭	343
14図-32	PL17-30	5号墓	銅銭	無文銭 外2.00×内 ×厚0.09cm,1.2g 模鋳銭	331
14図-33	PL17-31	5号墓	銅銭	無文銭 外2.19×内 ×厚0.10cm,1.4g 模鋳銭	352
14図-34	PL17-32	5号墓	銅銭	無文銭 外1.91×内 ×厚0.06cm,0.7g 模鋳銭	329
14図-35	PL17-33	5号墓	銅銭	無文銭 外2.00×内 ×厚0.09cm,0.8g 模鋳銭	350
14図-36	PL17-34	5号墓	銅銭	無文銭 外2.20×内 ×厚0.11cm,0.9g 模鋳銭	322
14図-37	PL17-35	5号墓	銅銭	無文銭 外2.20×内 ×厚0.10cm,1.3g 模鋳銭	358
14図-38	PL17-36	5号墓	銅銭	無文銭 外2.30×内 ×厚0.14cm,1.6g 模鋳銭	359
14図-39	PL17-37	5号墓	銅銭	無文銭 外2.20×内 ×厚0.12cm,1.8g 模鋳銭	360
14図-40	PL17-38	5号墓	銅銭	無文銭 外2.10×内1.85×厚0.10cm,1.5g 模鋳銭	362
16図-1	PL21-44	125号墓	鉄釘	長(2.35)×幅[0.40]×厚[0.35]cm 頭巻釘	M-8
16図-2	PL21-45	125号墓	鉄釘	長(3.19)×幅[0.50]×厚[0.50]cm 頭巻釘	M-31
16図-3	PL21-46	125号墓	鉄釘	長(3.58)×幅[0.60]×厚[0.30]cm 頭巻釘	M-10
16図-4	PL21-47	125号墓	鉄釘	長5.04 ×幅0.50 ×厚0.46cm 完形 頭巻釘	M-7
16図-5	PL21-48	125号墓	鉄釘	長(4.22)×幅[0.40]×厚[0.30]cm 頭巻釘	M-19
16図-6	PL21-49	125号墓	鉄釘	長4.62 ×幅0.57 ×厚0.46cm 完形 頭巻釘	M-14
16図-7	PL21-50	125号墓	鉄釘	長(3.88)×幅0.53 ×厚0.48cm 頭巻釘	M-5
16図-8	PL21-51	125号墓	鉄釘	長(3.82)×幅[0.40]×厚[0.4]cm 頭巻釘	M-15
16図-9	PL21-52	125号墓	鉄釘	長6.02 ×幅0.41 ×厚0.40cm 完形 頭巻釘	M-21
16図-10	PL21-53	125号墓	鉄釘	長5.30 ×幅0.48 ×厚0.53cm 完形 頭巻釘	M-32
16図-11	PL21-54	125号墓	鉄釘	長5.00 ×幅0.62 ×厚0.49cm 完形 頭巻釘	M-25
16図-12	PL21-55	125号墓	鉄釘	長(4.60)×幅0.69 ×厚1.12cm 頭巻釘	M-24
16図-13	PL21-56	125号墓	鉄釘	長4.73 ×幅0.56 ×厚0.41cm 完形 頭巻釘	M-22
16図-14	PL21-57	125号墓	鉄釘	長5.22 ×幅0.41 ×厚0.49cm 完形 頭巻釘	M-27
16図-15	PL21-58	125号墓	鉄釘	長(5.02)×幅0.39 ×厚0.48cm 頭巻釘	M-1
16図-16	PL21-59	125号墓	鉄釘	長5.70 ×幅[0.30]×厚[0.35]cm 完形 頭巻釘	M-20
16図-17	PL21-60	125号墓	鉄釘	長6.47 ×幅0.49 ×厚0.41cm 完形 頭巻釘	M-4
16図-18	PL21-61	125号墓	鉄釘	長6.59 ×幅0.44 ×厚0.45cm 頭巻釘	M-17
16図-19	PL21-62	125号墓	鉄釘	長6.12 ×幅0.49 ×厚0.54cm 完形 頭巻釘	M-29
16図-20	PL21-63	125号墓	鉄釘	長6.38 ×幅0.49 ×厚0.50cm 完形 頭巻釘	M-18
16図-21	PL21-64	125号墓	鉄釘	長6.61 ×幅0.50 ×厚0.52cm 完形 頭巻釘	M-6
16図-22	PL21-65	125号墓	鉄釘	長6.01 ×幅0.55 ×厚0.52cm 完形 頭巻釘	M-28
16図-23	PL21-66	125号墓	鉄釘	長6.37 ×幅0.50 ×厚0.50cm 完形 頭巻釘	M-3
16図-24	PL21-67	125号墓	鉄釘	長5.21 ×幅0.70 ×厚0.59cm 完形 頭巻釘	M-11
16図-25	PL21-68	125号墓	鉄釘	長6.91 ×幅0.50 ×厚0.49cm 完形 頭巻釘	M-36
16図-26	PL21-69	125号墓	鉄釘	長6.24 ×幅0.49 ×厚0.50cm 完形 頭巻釘	M-33
16図-27	PL21-70	125号墓	鉄釘	長6.17 幅[0.50] ×厚[0.45]cm 完形 頭巻釘	M-37
16図-28	PL21-71	125号墓	鉄釘	長(5.18)×幅[0.70]×厚[0.70]cm 完形 頭巻釘	M-12
16図-29	PL21-72	125号墓	鉄釘	長6.30 ×幅0.49 ×厚0.39cm 完形 頭巻釘	M-38
16図-30	PL21-73	125号墓	鉄釘	長(4.51)×幅0.59 ×厚0.52cm 頭巻釘	M-23
16図-31	PL21-74	125号墓	鉄釘	長(4.98)×幅0.42 ×厚0.48cm 頭巻釘	M-8①
16図-32	PL21-75	125号墓	鉄釘	長(3.78)×幅0.60 ×厚0.44cm 頭巻釘	M-13
16図-33	PL21-76	125号墓	鉄釘	長(3.30)×幅0.52 ×厚0.50cm 頭巻釘	M-34
16図-34	PL17-39	125号墓	銅銭	景徳元寶 外2.55×内2.09×厚0.16cm,2.4g 模鋳銭	394
16図-35	PL17-40	125号墓	銅銭	天禧通寶 外2.47×内2.05×厚0.13cm,2.1g	381
16図-36	PL17-41	125号墓	銅銭	皇宋通寶 外2.59×内2.08×厚0.15cm,2.5g	395
16図-37	PL17-42	125号墓	銅銭	政和通寶 外2.42×内2.07×厚0.15cm,1.8g	393
16図-38	PL17-43	125号墓	銅銭	政□通寶 外2.50×内2.13×厚0.15cm,1.4g	388-399
16図-39	PL17-44	125号墓	銅銭	嘉祐通寶 外2.52×内2.18×厚0.15cm,0.4g	391
18図-1	PL21-77	129号墓	鉄釘	長(4.52)×幅[0.40]×厚[0.35]cm 蓋板→側板 頭巻釘	M-5
18図-2	PL21-78	129号墓	鉄釘	長[5.41]×幅[0.30]×厚[0.35]cm 蓋板→側板	M-1-28
18図-3	PL21-79	129号墓	鉄釘	長7.09 ×幅0.61 ×厚0.49cm 完形 蓋板→側板 頭巻釘	M-16
18図-4	PL21-80	129号墓	鉄釘	長[5.80]×幅0.51 ×厚0.38cm 側板→側板 頭巻釘	M-4
18図-5	PL21-81	129号墓	鉄釘	長[4.99]×幅[0.50]×厚[0.35]cm 完形 側板→側板 頭巻釘	M-8
18図-6	PL21-82	129号墓	鉄釘	長[6.60]×幅[0.50]×厚[0.40]cm 完形 側板→側板 頭巻釘	M-15
18図-7	PL21-83	129号墓	鉄釘	長4.81×幅[0.60]×厚[0.40]cm 完形 側板→側板 頭巻釘	M-18
18図-8	PL21-84	129号墓	鉄釘	長[4.80]×幅[0.40]×厚[0.30]cm 完形 側板→側板 頭巻釘	M-19
18図-9	PL21-85	129号墓	鉄釘	長5.27 ×幅[0.45]×厚[0.30]cm 完形 側板→側板	M-21
18図-10	PL21-86	129号墓	鉄釘	長[6.80]×幅[0.40]×厚[0.50]cm 完形 側板→側板 頭巻釘	M-31
18図-11	PL21-87	129号墓	鉄釘	長[6.40]×幅[0.55]×厚[0.40]cm 側板→側板 頭巻釘	M-33
18図-12	PL21-88	129号墓	鉄釘	長[5.49]×幅[0.45]×厚[0.40]cm 側板→側板 頭巻釘	M-22
18図-13	PL21-89	129号墓	鉄釘	長5.50 ×幅[0.40]×厚[0.73]cm 完形 側板→側板 頭巻釘	M-30
18図-14	PL21-90	129号墓	鉄釘	長[8.35]×幅[0.60]×厚[0.45]cm 完形 側板→側板 頭巻釘	M-23
18図-15	PL21-91	129号墓	鉄釘	長[6.30]×幅[0.35]×厚[0.40]cm 完形 側板→底板?頭巻釘	M-34
18図-16	PL21-92	129号墓	鉄釘	長(6.60)×幅0.48 ×厚0.41 cm 側板→底板?	M-27
18図-17	PL21-93	129号墓	鉄釘	長[5.10]×幅[0.40]×厚[0.40]cm 側板→底板? 頭巻釘	M-26
18図-18	PL21-94	129号墓	鉄釘	長(6.70)×幅[0.55]×厚[0.40]cm 底板→側板	M-25
18図-19	PL22-1	129号墓	鉄釘	長(4.61)×幅[0.40]×厚[0.35]cm 底板→側板 角釘	M-30
18図-20	PL17-45	129号墓	銅銭	咸平元寶 外2.37×内1.95×厚0.11cm,1.4g 模鋳銭	21
18図-21	PL17-46	129号墓	銅銭	景徳元寶 外2.45×内1.92×厚0.13cm,2.4g 模鋳銭	25
18図-22	PL17-47	129号墓	銅銭	天禧通寶 外2.42×内1.95×厚0.12cm,2.3g	16
18図-23	PL17-48	129号墓	銅銭	皇宋通寶 外2.41×内2.02×厚0.13cm,1.6g 模鋳銭	22
18図-24	PL17-49	129号墓	銅銭	皇宋通寶 外2.41×内1.97×厚0.12cm,1.3g 模鋳銭	11
18図-25	PL17-50	129号墓	銅銭	治平元寶 外2.48×内2.00×厚0.10cm,1.4g	20
18図-26	PL17-51	129号墓	銅銭	洪武通寶 外2.41×内2.05×厚0.18cm,2.6g 模鋳銭	23
18図-27	PL17-52	129号墓	銅銭	永楽通寶 外2.38×内2.10×厚0.13cm,2.7g 模鋳銭	15
18図-28	PL17-53	129号墓	銅銭	判読不能 外2.38×内2.07×厚0.15cm,2.7g	12
18図-29	PL17-54	129号墓	銅銭	嘉祐元寶 外2.20×内 ×厚0.10cm,1.1g 模鋳銭	19
18図-30	PL18-1	129号墓	銅銭	無文銭 外2.21×内 ×厚0.10cm,1.0g 模鋳銭	6
18図-31	PL18-2	129号墓	銅銭	無文銭 外2.19×内 ×厚0.09cm,1.3g 模鋳銭	10
20図-1	PL22-2	127号墓	鉄釘	長(4.15)×幅0.38×厚0.40cm 蓋板→側板 頭巻釘	M-20
20図-2	PL22-3	127号墓	鉄釘	長3.99 ×幅[0.60]×厚[0.40]cm 完形 蓋板→側板 頭巻釘	M-3
20図-3	PL22-4	127号墓	鉄釘	長(5.69)×幅0.50×厚0.51cm 側板→側板 頭巻釘	M-19
20図-4	PL22-5	127号墓	鉄釘	長4.48 ×幅0.44×厚0.50cm 完形 側板→側板 頭巻釘	M-18
20図-5	PL22-6	127号墓	鉄釘	長4.52 ×幅0.41×厚1.73cm 完形 側板→側板 頭巻釘	M-40
20図-6	PL22-7	127号墓	鉄釘	長(4.56)×幅[0.35]×厚[0.30]cm 側板→側板 頭巻釘	M-28
20図-7	PL22-8	127号墓	鉄釘	長[6.50]×幅[0.35]×厚[0.45]cm 完形 側板→側板 頭巻釘	M-35
20図-8	PL22-9	127号墓	鉄釘	長(4.58)×幅0.31×厚0.28cm 側板→側板	M-31
20図-9	PL22-10	127号墓	鉄釘	長(4.84)×幅[0.45]×厚[0.40]cm 底板→側板 頭巻釘	M-37
	PL23-58	127号墓	鉄針	長(1.05)×厚0.2cm,0.1g	針-1
	PL23-59	127号墓	鉄針	長(1.60)×厚0.15cm,0.1g	針-2
	PL23-60	127号墓	鉄針	長(1.30)×厚0.15cm,0.1g	針-3
20図-10	PL18-3	127号墓	銅銭	開元通寶 外2.44×内2.05×厚0.14cm,1.4g	373
20図-11	PL18-4	127号墓	銅銭	開元通寶 外2.34×内2.00×厚0.15cm,2.2g	372
20図-12	PL18-5	127号墓	銅銭	開□通寶 外2.50×内2.08×厚0.15cm,1.6g	378
20図-13	PL18-6	127号墓	銅銭	開元通寶 外2.42×内2.10×厚0.16cm,1.0g	376
20図-14	PL18-7	127号墓	銅銭	景徳元寶 外2.42×内1.91×厚0.11cm,2.8g	368-369

图纸No.	PL No.	道谱	部件	规格	数量No.
2008-15	PL18-6	127号	侧挡	见道记录	号2.5×型2.4×30.11m.2.1g	306
2008-16	PL18-9	127号	侧挡	见车道图	号2.45×型2.00×30.14m.1.4g	375
2008-17	PL18-10	127号	侧挡	见弹支架	号2.40×型2.14×30.13m.1.5g	374
2008-18	PL18-11	127号	侧挡	侧挡道图	号2.22×型1.85×30.13m.1.4g	377
2008-1	PL22-11	138号	跨沿	边沿铁	×型0.60×30.42m 定形 直板+圆板 角沿	M-5
2008-2	PL22-12	138号	跨沿	见道记录	×型0.20×型0.40×m 定形 圆板+圆板 圆沿	M-16
2008-3	PL22-13	138号	跨沿	见车道图	×型0.30×型0.30×型0.30×m 圆板+圆板 锁沿	M-3
2008-4	PL22-14	138号	跨沿	见弹支架	×型0.30×型0.50×型0.40×m 定形 圆板+圆板 锁沿	M-7
2008-5	PL22-15	138号	跨沿	侧挡道图	见侧挡 ×型0.40×型0.45×型0.40×m 定形 圆板+圆板	M-21
2008-6	PL22-16	138号	跨沿	侧挡	见侧挡 ×型0.40×型0.40×m ×型0.47×m 定形 圆板+圆板	M-17、18
2008-7	PL22-17	138号	跨沿	见车道图	×型0.40×型0.95×型0.15×m.3.1g 圆板+圆板	M-19
2008-8	PL22-18	138号	跨沿	弹支道图	弹支道图 号2.44×型2.00×30.12m.3.1g	2
2008-9	PL22-19	138号	跨沿	见侧挡	见侧挡 号2.44×型0.95×30.13m.3.1g 侧挡道图	3
2008-10	PL18-14	128号	侧挡	弹支道图	弹支道图 号2.44×型2.00×30.12m.3.1g	2
2008-1	PL22-20	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型0.45×型0.40m 定形 直板+圆板	M-10
2008-2	PL22-19	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型0.30×型0.40m 定形 圆板+圆板	M-6
2008-3	PL22-20	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型0.30×型0.25m 定形 直板+圆板	M-15
2008-4	PL22-21	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型0.74 ×型0.40×型0.35m 定形 直板+圆板	M-12
2008-5	PL22-22	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型0.42×型0.50×型0.35m 直板+圆板	M-7
2008-6	PL22-23	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型0.30×型0.45 ×型0.40m 定形 圆板+圆板 角沿	M-6
2008-7	PL22-24	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型0.40 ×型0.35×型0.35m 定形 圆板+圆板	M-17
2008-8	PL22-25	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型0.16 ×型0.30 ×型0.30 cm 定形 圆板+圆板	M-14
2008-9	PL22-26	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型0.20×型0.61×型0.58cm 定形 圆板+圆板 圆弧沿	M-5
2008-10	PL22-27	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型0.30×型0.45×型0.40m 圆板+圆板	M-14
2008-11	PL22-28	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型0.40×型0.61 ×型0.62m 定形 圆板+圆板 圆弧沿	M-13
2008-12	PL22-29	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型0.30×型0.50×型0.70×型0.30m 圆板+圆板	M-4
2008-13	PL22-30	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型0.30×型0.57 ×型0.40m 圆板+圆板 圆弧沿	M-14
2008-14	PL22-31	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型0.80×型0.40×型0.45m 圆板+圆板 角沿	M-2-9
2008-15	PL22-32	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型0.40×型0.48 ×型0.47 cm 圆板+圆板	M-3
2008-1	PL22-33	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型0.70×型0.45 ×型 0.40 cm 直板	M-2
2008-2	PL22-34	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型0.40×型0.61 ×型 0.38 cm 圆弧沿	M-2
2008-3	PL22-35	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型0.40×型0.45×型0.40m 直板+圆板 圆弧沿	M-7
2008-4	PL22-36	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型0.22×型0.45×型0.40m 直板+圆板 圆弧沿	M-2
2008-5	PL22-37	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型2.80×型0.54×型0.47m 直板+圆板 圆弧沿	M-4
2008-6	PL22-38	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型4.11×型0.65×型0.50m 直板+圆板 圆弧沿	M-3
2008-7	PL22-39	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型8.24 ×型0.50×型0.50m 直板+圆板 圆弧沿	M-3
2008-8	PL22-40	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型7.44×型0.50×型0.50m 直板+圆板 圆弧沿	M-10、13
2008-7	PL22-41	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型7.50×型0.50×型0.45cm 定形 直板+圆板 圆弧沿	M-9
2008-8	PL22-42	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型2.90×型0.64×型0.40m 圆板+圆板 圆弧沿	M-14
2008-9	PL22-43	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型6.30×型0.45×型0.30m 圆板+圆板	M-6
2008-10	PL22-44	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型6.72×型0.39×型0.30m 定形 圆板+圆板	M-5
2008-11	PL22-45	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型6.30×型0.45×型0.30m 圆板+圆板	M-15
2008-12	PL22-46	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型6.24 ×型0.50×型0.40m 圆板+圆板 圆弧沿	M-4
2008-13	PL22-47	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型6.00×型0.40×型0.40m 圆板+圆板 圆弧沿	M-17
2008-14	PL22-48	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型6.88 ×型0.59 ×型0.40m 定形 圆板+圆板 圆弧沿	M-11
2008-15	PL22-49	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型5.65×型0.50 ×型0.38m 定形 圆板+圆板 圆弧沿	M-16
2008-16	PL22-50	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型5.90×型0.50×型0.40m 定形 圆板+圆板 圆弧沿	M-12
2008-17	PL22-51	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型7.30×型0.70×型0.45m 定形 圆板+圆板	M-18
2008-18	PL22-52	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型7.30×型0.65×型0.50m 定形 圆板+圆板 圆弧沿	M-18
2008-19	PL22-53	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型5.90×型0.45×型0.40m 定形 圆板+圆板 圆弧沿	M-26
2008-20	PL22-53	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型5.80×型0.40×型0.35cm 定形 圆板+圆板 圆弧沿	M-21
2008-21	PL22-54	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型4.20×型0.35 ×型0.30m 底板+圆板 圆弧沿	M-29
2008-22	PL22-55	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型3.60×型0.60×型0.45cm 底板+圆板	M-30
2008-23	PL22-55	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型5.15×型0.55×型0.55m 底板+圆板 圆弧沿	M-31
2008-24	PL22-56	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型3.65×型0.60×型0.50m 底板+圆板	M-19
2008-25	PL22-57	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型2.64 ×型0.60×型0.40m 底板+圆板 圆弧沿	M-27
2008-26	PL22-58	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型3.60×型0.60×型0.50m 底板+圆板 圆弧沿	M-28
2008-27	PL22-59	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型5.60×型0.70×型0.50m 定形 底板+圆板 圆弧沿	M-24
2008-28	PL22-60	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型6.51 ×型0.70×型0.60m 定形 底板+圆板 圆弧沿	M-20
2008-29	PL22-61	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型7.21 ×型0.50 ×型0.45m 定形 底板+圆板	M-22
2008-30	PL22-62	138号	跨沿	侧挡	侧挡 ×型4.80×型0.42 ×型0.40m 底板+圆板 圆弧沿	M-23
2008-1	PL22-63	138号	主	侧挡	侧挡 ×型1.67×型0.40m.0.2g 罐平形(小型) 横子缝	S-11
2008-2	PL22-64	138号	主	侧挡	侧挡 ×型1.62×型0.40m.0.2g 罐平形(小型) 横子缝	S-11
2008-3	PL22-65	138号	主	侧挡	侧挡 ×型1.63×型0.30m.0.2g 罐平形(小型) 横子缝	S-9
2008-4	PL22-66	138号	主	侧挡	侧挡 ×型1.68×型0.30m.0.2g 罐平形(小型) 横子缝	S-3
2008-5	PL22-67	138号	主	侧挡	侧挡 ×型1.62×型0.40m.0.2g 罐平形(小型) 横子缝	S-14
2008-6	PL22-68	138号	主	侧挡	侧挡 ×型1.67×型0.26m.0.1g 罐平形(大型) 横子缝	S-8
2008-7	PL22-69	138号	主	侧挡	侧挡 ×型1.00×型0.30m.0.1g 罐平形(大型) 横子缝	S-6
2008-8	PL22-70	138号	主	侧挡	侧挡 ×型0.86×型0.40m.0.2g 罐平形(小型) 横子缝	S-13
2008-9	PL22-71	138号	主	侧挡	侧挡 ×型0.80×型0.30m.0.1g 罐平形(小型) 横子缝	S-17
2008-10	PL22-72	138号	主	侧挡	侧挡 ×型0.80×型0.40m.0.2g 罐平形(小型) 横子缝	S-7
2008-11	PL22-73	138号	主	侧挡	侧挡 ×型0.80×型0.27m.0.1g 罐平形(小型) 横子缝	S-12
2008-12	PL22-74	138号	主	侧挡	侧挡 ×型0.60×型0.30m.0.1g 罐平形(小型) 横子缝	S-7
2008-13	PL22-75	138号	主	侧挡	侧挡 ×型0.80×型0.40m.0.2g 罐平形(小型) 横子缝	S-4

图纸No.	PL No.	道谱	部件	规格	数量No.
2008-46	PL2-7	13号	主	侧挡 ×型1.36cm.0.4g 盖板	桩子 S-5
2008-47	PL18-22	13号	侧挡	弹支道图 号2.52×型1.96×30.12m.1.7g 侧挡挡	256
2008-48	PL18-23	13号	侧挡	弹支道图 号2.51×型1.90×30.14m.2.0g 侧挡挡	267
2008-49	PL18-24	13号	侧挡	弹支道图 号2.52×型1.90×30.14m.2.0g 侧挡挡	265
2008-50	PL18-25	13号	侧挡	弹支道图 号2.52×型1.90×30.14m.2.7g 侧挡挡	284
2008-51	PL18-26	13号	侧挡	弹支道图 号2.52×型1.90×30.14m.1.9g 侧挡挡	266
2008-52	PL18-27	13号	侧挡	弹支道图 号2.52×型1.80×30.15m.4.3g 侧挡挡	283
2008-53	PL18-28	13号	侧挡	弹支道图 号2.48×型2.15×30.12m.1.0g 侧挡挡	259
2008-54	PL18-29	13号	侧挡	弹支道图 号2.47×型1.80×30.13m.1.7g 侧挡挡	271
2008-55	PL18-30	13号	侧挡	弹支道图 号2.38×型1.87×30.15m.1.8g 侧挡挡	290
2008-56	PL18-31	13号	侧挡	弹弹支架 号2.45×型2.13×30.13m.2.9g 侧挡挡	278
2008-57	PL18-32	13号	侧挡	弹支道图 号2.44×型1.97×30.16m.3.6g	280
2008-58	PL18-33	13号	侧挡	弹支道图 号2.40×型1.80×30.11m.1.5g 侧挡挡	289
2008-59	PL18-34	13号	侧挡	弹支道图 号2.53×型1.90×30.13m.1.7g 侧挡挡	273
2008-60	PL18-35	13号	侧挡	弹支道图 号2.42×型1.97×30.15m.2.8g 侧挡挡	277
2008-61	PL18-36	13号	侧挡	弹支道图 号2.42×型1.95×30.15m.2.0g 侧挡挡	268
2008-62	PL18-37	13号	侧挡	弹支道图 号2.44×型1.88×30.14m.1.9g	257
2008-63	PL18-38	13号	侧挡	弹支道图 号2.48×型1.87×30.12m.2.2g 侧挡挡	270
2008-64	PL18-39	13号	侧挡	弹支道图 号2.42×型1.79×30.13m.1.9g 侧挡挡	276
2008-65	PL18-40	13号	侧挡	弹支道图 号2.40×型1.91×30.16m.2.3g 侧挡挡	296
2008-66	PL18-41	13号	侧挡	弹支道图 号2.42×型1.86×30.13m.2.1g 侧挡挡	298
2008-67	PL18-42	13号	侧挡	弹支道图 号2.43×型2.17×30.15m.2.3g 侧挡挡	279
2008-68	PL18-43	13号	侧挡	弹支道图 号2.48×型2.18×30.13m.2.9g	281
2008-69	PL18-44	13号	侧挡	弹支道图 号2.48×型2.17×30.14m.1.2g	258
2008-70	PL18-45	13号	侧挡	侧挡道图 号2.32×型2.10×30.11m.1.1g 侧挡挡	258
2008-71	PL18-46	13号	侧挡	弹支道图 号2.42×型2.00×30.12m.1.9g	287
2008-72	PL18-47	13号	侧挡	弹支道图 号2.20×型 ×30.14m.4.3g 侧挡挡	282
2008-73	PL18-48	13号	侧挡	弹支道图 号2.31×型1.80×30.16m.1.1g 侧挡挡	271
2008-74	PL18-49	13号	侧挡	侧挡道图 号2.31×型1.80×30.15m.2.0g	265
2008-75	PL18-50	13号	侧挡	侧挡道图 号2.32×型2.00×30.13m.1.1g	261
2008-76	PL18-51	13号	侧挡	侧挡弯道图 号2.51×型1.90×30.15m.3.1g	30
2008-1	PL22-63	9号	侧挡	侧挡 ×型0.47 ×型0.40cm 定形 圆板	M-32
2008-2	PL22-64	9号	侧挡	侧挡 ×型0.37×型0.40 ×型0.35m 圆板	M-34
2008-3	PL22-65	9号	侧挡	侧挡 ×型0.73×型0.30×型0.35m 圆板	M-40
2008-4	PL22-66	9号	侧挡	侧挡 ×型0.48 ×型0.42m 定形 圆板	M-36
2008-5	PL22-67	9号	侧挡	侧挡 ×型0.45 ×型0.35×型0.30m 圆板	M-37
2008-6	PL22-68	9号	侧挡	侧挡 ×型0.53×型0.40×型0.40m 圆板	M-43
2008-7	PL22-69	9号	侧挡	侧挡 ×型0.71 ×型0.35×型0.42m 定形 圆板	M-42
2008-8	PL22-70	9号	侧挡	侧挡 ×型0.48 ×型0.40×型0.40m 圆板	M-32
2008-9	PL22-71	9号	侧挡	侧挡 ×型0.50 ×型0.36×型0.25m 定形 圆板	M-40
2008-10	PL22-72	9号	侧挡	侧挡 ×型0.43×型0.40×型0.40m 圆板	M-30
2008-11	PL22-73	9号	侧挡	侧挡 ×型0.61 ×型0.50 ×型0.35m 定形 圆板	M-35
2008-12	PL22-74	9号	侧挡	侧挡 ×型0.68 ×型0.50 ×型0.42m 定形 圆板	M-9
2008-13	PL22-1	9号	侧挡	侧挡 ×型0.22×型0.34 ×型0.20m 圆板	M-53
2008-14	PL22-2	9号	侧挡	侧挡 ×型0.41 ×型0.43 ×型0.30m 定形 圆板	M-36
2008-15	PL22-3	9号	侧挡	侧挡 ×型0.61 ×型0.43 ×型0.35m 定形 圆板	M-36
2008-16	PL22-4	9号	侧挡	侧挡 ×型0.53 ×型0.42 ×型0.25cm 定形 圆板	M-44
2008-17	PL22-5	9号	侧挡	侧挡 ×型0.36 ×型0.40 ×型0.30m 定形 圆板	M-52
2008-18	PL22-6	9号	侧挡	侧挡 ×型0.45 ×型0.48 ×型0.21cm 定形 圆板	M-41
2008-19	PL22-7	9号	侧挡	侧挡 ×型0.67 ×型0.35 ×型0.35cm 定形 圆板	M-46
2008-20	PL22-8	9号	侧挡	侧挡 ×型0.49 ×型0.48 ×型0.25cm 定形 圆板	M-29
2008-21	PL22-9	9号	侧挡	侧挡 ×型0.41 ×型0.39 ×型0.32cm 定形 圆板	M-49
2008-22	PL22-10	9号	侧挡	侧挡 ×型0.42 ×型0.40 ×型0.21cm 定形 圆板	M-49
2008-23	PL22-11	9号	侧挡	侧挡 ×型0.51×型0.39 ×型0.26m 圆板	M-56
2008-24	PL22-12	9号	侧挡	侧挡 ×型0.51×型0.42 ×型0.28m 圆板	M-40
2008-25	PL22-13	9号	侧挡	侧挡 ×型0.52×型0.48 ×型0.30m 圆板	M-31
2008-26	PL22-14	9号	侧挡	侧挡 ×型0.41×型0.40 ×型0.35m 圆板	M-49
2008-27	PL22-15	9号	侧挡	侧挡 ×型0.42×型0.40 ×型0.30m 圆板	M-21
2008-28	PL22-2	9号	主	侧挡 ×型0.05 ×型0.30cm.0.1g 大料(小型) 水品板	E-1
2008-29	PL22-3	9号	主	侧挡 ×型0.70 ×型0.46cm.0.3g 大料(小型) 水品板	E-30
2008-30	PL22-2	9号	主	侧挡 ×型0.60 ×型0.42m.0.2g 大料(小型) 水品板	E-11
2008-31	PL22-3	9号	主	侧挡 ×型0.70×型0.30cm.0.3g 大料(小型) 水品板	E-21
2008-32	PL22-2	9号	主	侧挡 ×型0.74 ×型0.47m.0.4g 大料(小型) 水品板	E-14
2008-33	PL22-3	9号	主	侧挡 ×型0.70 ×型0.40m.0.4g 大料(小型) 水品板	E-20
2008-34	PL22-4	9号	主	侧挡 ×型0.68 ×型0.44cm.0.2g 大料(小型) 水品板	E-9
2008-35	PL22-5	9号	主	侧挡 ×型0.50 ×型0.32cm.0.3g 大料(小型) 水品板	E-15
2008-36	PL22-2	9号	主	侧挡 ×型0.66 ×型0.60cm.0.3g 大料(小型) 水品板	E-25
2008-37	PL22-3	9号	主	侧挡 ×型0.78 ×型0.50cm.0.4g 大料(小型) 水品板	E-18
2008-38	PL22-2	9号	主	侧挡 ×型0.90 ×型0.53cm.0.4g 大料(小型) 水品板	E-19
2008-39	PL22-3	9号	主	侧挡 ×型0.90 ×型0.60cm.0.6g 大料(中型) 水品板	E-5
2008-40	PL22-4	9号	主	侧挡 ×型1.00 ×型0.60cm.0.6g 大料(中型) 水品板	E-6
2008-41	PL22-5	9号	主	侧挡 ×型0.96 ×型0.66cm.0.6g 大料(中型) 水品板	E-7
2008-42	PL22-2	9号	主	侧挡 ×型1.00 ×型0.60cm.0.4g 大料(中型) 水品板	E-31
2008-43	PL22-3	9号	主	侧挡 ×型0.88 ×型0.66cm.0.7g 大料(中型) 水品板	E-16
2008-44	PL22-3	9号	主	侧挡 ×型1.00 ×型0.66cm.0.6g 大料(中型) 水品板	E-8
2008-45	PL22-2	9号	主	侧挡 ×型0.90 ×型0.60cm.0.6g 大料(中型) 水品板	E-3
2008-46	PL22-3	9号	主	侧挡 ×型1.00 ×型0.66cm.0.6g 大料(中型) 水品板	E-13
2008-47	PL22-2	9号	主	侧挡 ×型0.70 ×型0.66cm.0.9g 大料(中型) 水品板	E-30
2008-48	PL22-3	9号	主	侧挡 ×型0.78 ×型0.90cm.0.7g 撒粘 水品板	E-12
2008-49	PL22-2	9号	主	侧挡 ×型0.70 ×型0.66cm.0.9g 撒粘 水品板	E-27
2008-50	PL22-3	9号	主	侧挡 ×型0.70 ×型0.72cm.0.7g 大料(大型) 水品板	E-2-4
					-26
2008-51	PL18-52	9号	侧挡	侧挡 见道图 号2.49×型2.12×30.16m.3.1g	1
2008-52	PL18-53	9号	侧挡	侧挡 弹支道图 号2.48×型2.12×30.12m.2.9g	147
2008-53	PL18-54	9号	侧挡	侧挡 弹支道图 号2.50×型2.12×30.13m.2.9g	225

图幅No	PL.No	道路	桥梁	隧道	隧名	隧名	隧宽	隧长	整理No
34-E-54	PL.19-1	9号道	横跨	隧道	上平道路	平道	W2.41×H1.97×3.80m	16m.2.7g	239
34-E-54	PL.19-2	9号道	横跨	隧道	伊北大道	伊北	W2.51×H1.84×3.95m	15m.2.7g	根据铁
34-E-56	PL.19-3	9号道	横跨	隧道	伊北大道	伊北	W2.43×H1.96×3.95m	15m.3.3g	139
34-E-57	PL.19-4	9号道	横跨	隧道	伊北大道	伊北	W2.46×H1.88×3.80m	12m.2.7g	根据铁
34-E-58	PL.19-5	9号道	横跨	隧道	早井大道	早井	W2.46×H1.91×3.95m	11m.2.0g	根据铁
34-E-58	PL.19-6	9号道	横跨	隧道	金道大道	早井	W2.45×H1.95×3.95m	11m.2.7g	172
34-E-66	PL.19-7	9号道	横跨	隧道	恵道大道	早井	W2.52×H1.97×3.95m	13m.3.2g	84
34-E-61	PL.19-8	9号道	横跨	隧道	横平大道	早井	W2.49×H2.07×3.95m	13m.3.3g	247
34-E-62	PL.19-9	9号道	横跨	隧道	横平大道	早井	W2.48×H1.98×3.95m	13m.3.1g	173
34-E-63	PL.19-10	9号道	横跨	隧道	恵恵大道	早井	W2.41×H1.95×3.95m	16m.3.0g	80
34-E-64	PL.19-11	9号道	横跨	隧道	恵恵大道	早井	W2.49×H2.02×3.95m	12m.2.9g	142
34-E-65	PL.19-12	9号道	横跨	隧道	恵恵大道	早井	W2.43×H2.01×3.95m	13m.3.3g	根据铁
34-E-66	PL.19-13	9号道	横跨	隧道	伊井大道	早井	W2.48×H2.02×3.95m	13m.3.8g	141
34-E-67	PL.19-14	9号道	横跨	隧道	伊井大道	早井	W2.50×H1.86×3.95m	13m.2.0g	28
34-E-68	PL.19-15	9号道	横跨	隧道	伊井大道	早井	W2.53×H1.93×3.95m	13m.3.3g	根据铁
35-E-69	PL.19-16	9号道	横跨	隧道	伊井大道	早井	W2.51×H1.96×3.95m	13m.3.5g	71
35-E-70	PL.19-17	9号道	横跨	隧道	伊井道路	早井	W2.54×H1.96×3.95m	14m.3.6g	根据铁
35-E-71	PL.19-18	9号道	横跨	隧道	伊井道路	早井	W2.45×H1.96×3.95m	12m.4.0g	67
35-E-72	PL.19-19	9号道	横跨	隧道	伊井道路	早井	W2.56×H2.01×3.95m	13m.3.0g	根据铁
35-E-73	PL.19-20	9号道	横跨	隧道	矢崎道路	早井	W2.43×H1.92×3.95m	13m.3.0g	87
35-E-74	PL.19-21	9号道	横跨	隧道	八幡道路	早井	W2.48×H1.96×3.95m	13m.3.0g	99
35-E-75	PL.19-22	9号道	横跨	隧道	矢崎大道	早井	W2.48×H1.98×3.95m	13m.2.7g	79
35-E-76	PL.19-23	9号道	横跨	隧道	矢崎大道	早井	W2.50×H2.10×3.95m	12m.2.5g	根据铁
35-E-77	PL.19-24	9号道	横跨	隧道	大竹大道	早井	W2.52×H2.08×3.95m	14m.2.7g	193
35-E-78	PL.19-25	9号道	横跨	隧道	天竜大道	早井	W2.47×H2.15×3.95m	13m.2.5g	根据铁
35-E-79	PL.19-26	9号道	横跨	隧道	天竜大道	早井	W2.43×H1.97×3.95m	13m.2.3g	根据铁
35E-80	PL.19-27	9号道	横跨	隧道	明道大道	早井	W2.51×H2.13×3.95m	13m.2.7g	125
35E-81	PL.19-28	9号道	横跨	隧道	信宗道路	早井	W2.51×H2.02×3.95m	13m.3.0g	89
35E-82	PL.19-29	9号道	横跨	隧道	信宗道路	早井	W2.49×H2.16×3.95m	13m.2.0g	113
35E-83	PL.19-30	9号道	横跨	隧道	信宗道路	早井	W2.50×H2.00×3.95m	13m.3.0g	根据铁
35E-84	PL.19-31	9号道	横跨	隧道	信宗道路	早井	W2.51×H2.01×3.95m	13m.2.1g	98
35E-85	PL.19-32	9号道	横跨	隧道	信宗道路	早井	W2.48×H1.96×3.95m	13m.3.3g	67
35E-86	PL.19-33	9号道	横跨	隧道	信宗道路	早井	W2.43×H2.07×3.95m	13m.2.5g	根据铁
35E-87	PL.19-34	9号道	横跨	隧道	信宗道路	早井	W2.46×H2.02×3.95m	13m.3.1g	根据铁
35E-88	PL.19-35	9号道	横跨	隧道	信宗道路	早井	W2.50×H2.02×3.95m	13m.3.0g	197
35E-89	PL.19-36	9号道	横跨	隧道	宗明大道	早井	W2.50×H2.00×3.95m	13m.3.8g	121
35E-90	PL.19-37	9号道	横跨	隧道	横西大道	早井	W2.51×H2.08×3.44m	12m.2.5g	250
35E-91	PL.19-38	9号道	横跨	隧道	横西道路	早井	W2.52×H2.10×3.95m	13m.3.0g	136
35E-92	PL.19-39	9号道	横跨	隧道	横西道路	早井	W2.50×H1.96×3.95m	13m.3.2g	138
36E-93	PL.19-40	9号道	横跨	隧道	出平道路	早井	W2.46×H1.99×3.95m	13m.3.2g	200
36E-94	PL.19-41	9号道	横跨	隧道	熊平大道	早井	W2.53×H2.12×3.95m	13m.3.0g	290
36E-95	PL.19-42	9号道	横跨	隧道	熊平大道	早井	W2.51×H2.05×3.95m	12m.3.1g	180
36E-96	PL.19-43	9号道	横跨	隧道	熊平大道	早井	W2.51×H2.07×3.95m	13m.3.0g	188
36E-97	PL.19-44	9号道	横跨	隧道	熊平大道	早井	W2.51×H2.07×3.95m	13m.2.4g	93
36E-98	PL.19-45	9号道	横跨	隧道	熊平大道	早井	W2.46×H2.00×3.95m	14m.3.4g	183
36E-99	PL.19-46	9号道	横跨	隧道	尼恵道路	早井	W2.56×H1.80×3.95m	15m.4.4g	根据铁
36E-100	PL.19-47	9号道	横跨	隧道	尼恵道路	早井	W2.47×H1.96×3.95m	13m.3.3g	根据铁
36E-101	PL.19-48	9号道	横跨	隧道	尼恵道路	早井	W2.44×H1.91×3.95m	13m.3.4g	根据铁
36E-102	PL.19-49	9号道	横跨	隧道	尼恵道路	早井	W2.48×H1.97×3.95m	16m.3.1g	96
36E-103	PL.19-50	9号道	横跨	隧道	尼恵道路	早井	W2.43×H1.90×3.95m	12m.2.8g	144
36E-104	PL.19-51	9号道	横跨	隧道	尼恵道路	早井	W2.48×H1.92×3.95m	12m.3.3g	259
36E-105	PL.19-52	9号道	横跨	隧道	尼恵道路	早井	W2.42×H1.98×3.95m	14m.2.4g	134
36E-106	PL.19-53	9号道	横跨	隧道	尼恵道路	早井	W2.50×H1.83×3.95m	16m.4.0g	95
36E-107	PL.19-54	9号道	横跨	隧道	近城道路	早井	W2.47×H2.00×3.95m	13m.2.6g	119
36E-108	PL.20-1	9号道	横跨	隧道	都電大道	早井	W2.43×H1.80×3.95m	16m.3.2g	34
36E-108	PL.20-2	9号道	横跨	隧道	電末大道	早井	W2.48×H2.00×3.95m	13m.2.5g	74
36E-108	PL.20-3	9号道	横跨	隧道	電末大道	早井	W2.45×H2.02×3.95m	12m.3.3g	179
36E-111	PL.20-4	9号道	横跨	隧道	松原道路	早井	W2.43×H2.02×3.95m	13m.2.4g	84
36E-112	PL.20-5	9号道	横跨	隧道	松原道路	早井	W2.48×H2.12×3.95m	13m.3.1g	243
36E-113	PL.20-6	9号道	横跨	隧道	松原道路	早井	W2.51×H2.18×3.95m	15m.2.9g	107
36E-114	PL.20-7	9号道	横跨	隧道	平原道路	早井	W2.56×H2.11×3.95m	13m.3.5g	204
36E-115	PL.20-8	9号道	横跨	隧道	正蓮寺道	早井	W2.45×H2.05×3.95m	14m.3.8g	86
36E-116	PL.20-9	9号道	横跨	隧道	正蓮寺道	早井	W2.50×H2.18×3.95m	16m.3.8g	242
37E-1	PL.20-10	22号道	横跨	隧道	浜武道路	早井	W2.42×H1.72×3.95m	12m.5.0g	根据铁
37E-2	PL.20-11	22号道	横跨	隧道	浜武道路	早井	W2.43×H1.72×3.95m	12m.5.0g	根据铁
37E-3	PL.20-12	22号道	横跨	隧道	浜武道路	早井	W2.48×H1.82×3.95m	12m.5.0g	294
37E-4	PL.20-13	22号道	横跨	隧道	浜武道路	早井	W2.06×H1.81×3.95m	11m.6.8g	根据铁
37E-5	PL.20-14	22号道	横跨	隧道	浜武道路	早井	W2.12×H1.82×3.95m	11m.4.1g	根据铁
37E-6	PL.20-15	22号道	横跨	隧道	和武千田	早井	W2.02×H1.72×3.95m	11m.5.0g	根据铁
37E-7	PL.20-16	22号道	横跨	隧道	宿原平田	早井	W2.22×H1.[illegible]	11m.[illegible]	根据铁
37E-8	PL.20-17	22号道	横跨	隧道	無文路	早井	W2.25×H1.[illegible]	×3.00m.10.0g	根据铁
37E-9	PL.20-18	22号道	横跨	隧道	無文路	早井	W1.98×H1.[illegible]	×3.00m.11.0g	根据铁
38E-1	PL.20-19	18号道	横跨	隧道	長3041号線	早井	W2.30 ×H2.0.40m	圆拱一侧拱	根据铁
38E-2	PL.20-20	18号道	横跨	隧道	長6.22	早井	W2.0.35m ×H2.0.35m	圆拱一侧拱	根据铁
38E-3	PL.20-21	18号道	横跨	隧道	長6.00	早井	W2.0.40m ×H2.0.35m	圆拱一侧拱	根据铁
38E-4	PL.20-22	18号道	横跨	隧道	長5.76	早井	W2.0.45 ×H2.0.35m	圆拱一侧拱	根据铁
38E-5	PL.20-23	18号道	横跨	隧道	長5.91	早井	W2.0.45 ×H2.0.35m	圆拱一侧拱	根据铁
38E-6	PL.20-24	18号道	横跨	隧道	長7.51	早井	W2.0.35 ×H2.0.35m	圆拱一侧拱	根据铁
38E-7	PL.20-25	18号道	横跨	隧道	長5.36	早井	W2.0.35m	圆拱一侧拱	根据铁
38E-8	PL.20-26	18号道	横跨	隧道	長5.21	早井	W2.0.35m	圆拱一侧拱	根据铁
38E-9	PL.20-27	18号道	横跨	隧道	長5.22	早井	W2.0.35m	圆拱一侧拱	根据铁
38E-10	PL.20-28	18号道	横跨	隧道	長5.23	早井	W2.0.35m	圆拱一侧拱	根据铁
38E-11	PL.20-29	18号道	横跨	隧道	長6.00	早井	W2.0.40m	圆拱一侧拱	根据铁
38E-12	PL.20-30	18号道	横跨	隧道	大平道路	早井	W2.45×H1.90×3.10m	13m.2.3g	6
38E-13	PL.20-31	18号道	横跨	隧道	咸平公園	早井	W2.35×H1.72×3.10m	13m.1.7g	根据铁

图幅No	PL.No	道路	桥梁	隧道	隧名	隧名	隧宽	隧长	整理No
38E-14	PL.20-32	18号道	横跨	隧道	伊井道路	早井道路	W2.52×H1.90×3.10m	13m.2.1g	根据铁
38E-15	PL.20-33	18号道	横跨	隧道	伊井道路	早井道路	W2.47×H1.95×3.10m	13m.2.1g	根据铁
38E-16	PL.20-34	18号道	横跨	隧道	天竜道路	早井道路	W2.51×H2.05×3.10m	13m.3.0g	根据铁
38E-17	PL.20-35	18号道	横跨	隧道	天竜道路	早井道路	W2.50×H2.01×3.10m	13m.2.7g	15
38E-18	PL.20-36	18号道	横跨	隧道	安宗道路	早井道路	W2.44×H1.90×3.10m	13m.2.4g	根据铁
38E-19	PL.20-37	18号道	横跨	隧道	野平道路	早井道路	W2.47×H2.05×3.10m	13m.2.9g	根据铁
38E-20	PL.20-37	18号道	横跨	隧道	横南道路	早井道路	W2.46×H2.02×3.10m	13m.3.7g	16
38E-21	PL.20-38	18号道	横跨	隧道	横南道路	早井道路	W2.48×H2.18×3.10m	12m.1.4g	根据铁
38E-22	PL.20-39	18号道	横跨	隧道	横南道路	早井道路	W2.24×H1.71×3.10m	15m.3.1g	18
41E-1	PL.23-27	19号道	横跨	隧道	長5.23	×0.50 ×0.51.1m	矩形	摄影前	M-10
41E-2	PL.23-28	19号道	横跨	隧道	長5.32	×0.50 ×0.61m	矩形	摄影前	M-13
41E-3	PL.23-29	19号道	横跨	隧道	長5.65	×0.50 ×0.50 ×0.50m	矩形	摄影前	M-15
41E-4	PL.23-30	19号道	横跨	隧道	長5.72	×0.50 ×0.40 ×0.45m	矩形	摄影前	M-14
41E-5	PL.23-31	19号道	横跨	隧道	長5.83	×0.50 ×0.51m	矩形	摄影前	M-11
41E-6	PL.23-32	19号道	横跨	隧道	長6.50	×0.50 ×0.45 ×0.45m	矩形	摄影前	M-8
41E-7	PL.23-33	19号道	横跨	隧道	長7.30	×0.60 ×0.60m	矩形	摄影前	M-4
41E-8	PL.23-34	19号道	横跨	隧道	長4.02	×0.50 ×0.46m	矩形	摄影前	M-12
41E-9	PL.23-35	19号道	横跨	隧道	長5.52	×0.55 ×0.45m	定形	摄影前	M-6
41E-10	PL.23-36	19号道	横跨	隧道	長6.06	×0.50 ×0.10m	矩形	摄影前	M-1
41E-11	PL.23-37	19号道	横跨	隧道	長6.25	×0.61 ×0.51m	矩形	摄影前	M-13
									-17
41E-12	PL.23-38	19号道	横跨	隧道	長4.29	×0.66 ×0.62m	拱形		M-9
41E-13	PL.23-39	19号道	横跨	隧道	長5.12	×0.61 ×0.49m	矩形	摄影前	M-22
41E-14	PL.23-40	19号道	横跨	隧道	長3.66	×0.50 ×0.50 ×0.50m	拱身		M-23
41E-15	PL.23-41	19号道	横跨	隧道	長5.18	×0.50 ×0.40 ×0.40m	摄影		M-20
41E-16	PL.23-42	19号道	横跨	隧道	長4.02	×0.55 ×0.32m	摄影		M-7
41E-17	PL.23-43	19号道	横跨	隧道	長3.04	×0.60 ×0.50 ×0.50m	拱身		M-19
41E-18	PL.20-39	19号道	横跨	隧道	天竜元道	早井	W2.45×H2.06×3.80m	16m.1.7g	33 ~35
41E-19	PL.20-40	19号道	横跨	隧道	野平道路	早井	W2.42×H1.81×3.80m	16m.2.3g	37
41E-20	PL.20-32	19号道	横跨	隧道	安宗道路	早井	W2.50×H1.96×3.80m	15m.1.7g	22
41E-21	PL.20-33	19号道	横跨	隧道	天竜道路	早井	W2.55×H1.75×3.80m	15m.2.0g	24
41E-22	PL.20-34	19号道	横跨	隧道	天竜道路	早井	W2.45×H1.95×3.80m	15m.2.0g	23
41E-23	PL.20-35	19号道	横跨	隧道	大蔵道路	早井	W2.45×H2.00×3.80m	16m.1.7g	32
41E-24	PL.20-36	19号道	横跨	隧道	松原道路	早井	W2.45×H2.00×3.80m	15m.2.1g	根据铁
41E-25	PL.20-37	19号道	横跨	隧道	松原道路	早井	W2.50 ×H1.97	m.2.0g	44
41E-26	PL.20-38	19号道	横跨	隧道	関東道路	早井	W2.50×H2.08×3.92	m.2.0g	42
41E-27	PL.20-39	19号道	横跨	隧道	安宗道路	早井	W2.42×H1.81×3.80m	m.2.0g	根据铁
	PL.23-42	19号道	横跨	隧道	長1.41	×0.90m.1.0m.0.8g			41-1
43E-1	PL.23-44	10号道	跨越	桥梁	長12.50	×0.40 ×0.4m	摄影前		M-1(6)
43E-2	PL.23-45	10号道	跨越	桥梁	長3.11	×0.70 ×0.35m	摄影前		M-1(1)
43E-3	PL.23-46	10号道	跨越	桥梁	長12.50	×0.30 ×0.20m	摄影前		M-1(2)
43E-4	PL.23-47	P1 6	跨越	桥梁	長3.78	×0.30 ×0.20m	摄影前		M-2
43E-5	PL.23-48	P1 4	跨越	桥梁	長3.12	×0.60 ×0.4m	摄影前		M-1
43E-6	PL.23-49	43号道	跨越	桥梁	長3.86	×0.48 ×0.32m	定形	摄影前	M-19
									-20
43E-7	PL.23-50	43号道	跨越	桥梁	長3.59	×0.50 ×0.30 ×0.30m	定形	摄影前	M-1
43E-8	PL.23-51	43号道	跨越	桥梁	長3.39	×0.50 ×0.30 ×0.30m	定形	摄影前	M-7
43E-9	PL.23-52	43号道	跨越	桥梁	長3.97	×0.40 ×0.29m	摄影前		M-15
43E-10	PL.23-53	43号道	跨越	桥梁	長5.72	×0.30 ×0.30m	摄影前		M-22
43E-11	PL.23-54	43号道	跨越	桥梁	長4.86	×0.41 ×0.34m	定形	摄影前	M-2
43E-12	PL.23-55	43号道	跨越	桥梁	長3.38	×0.40 ×0.41m	摄影前		M-24
43E-13	PL.23-56	43号道	跨越	桥梁	長2.59	×0.41 ×0.34m	定形	摄影前	M-2
43E-14	PL.23-57	43号道	跨越	桥梁	長11.73	×0.30 ×0.40m	拱身		M-6
43E-15	PL.20-40	18号道	横跨	隧道	已此工程	外	×0.91	×0.0.17m.0.6g	200

Ⅲ 小 括

ここでは各墓ごとに述べてきた項目について、簡単にまとめて報告する。

位置 本調査で検出された墓は、土葬墓・火葬墓・火葬施設などがあり、調査区の北東寄りに多く分布している。第Ⅱ地区において18号墓のような火葬施設などで集骨した骨を埋納する火葬墓は、過年度に調査して検出されている火葬墓も合わせて考えると、火葬施設が卓越する場所からやや離れて位置し、標高も火葬施設が位置する場所に比べると低く、火葬施設のすぐ脇に埋納しない傾向にある。また当地区では、火葬施設が12基検出され、集骨した骨を埋納したと思われる火葬墓が18、23、37号墓の3基のみの検出で、火葬施設の検出数と比較すると少ない傾向を示す。そのため本調査区より低い標高値を示す場所に骨を埋納する火葬墓が多く分布しているのか、また当時の人々が火葬を行なう場所と埋納をする場所を使い分けていたのかということを、今後の調査で明らかにしたい。

葬法 土葬墓では、棺を使用した屈葬墓9基と直葬と思われる墓1基を検出している。火葬墓では、荼毘墓と思われる墓1基と集骨した骨を埋納したと思われる墓を1基検出し、また火葬施設は4基検出している。夷王山墳墓群では、火葬を行なった墓のうち、その形態から円形の墓を火葬墓、十文字形の墓を火葬施設として区別している。火葬墓は火葬した後、そのままその場所に埋葬し、火葬施設は火葬した後、集骨などして他の場所へ埋葬するという違いがある。しかし、近年の調査で火葬施設の中にも集骨を行なうものと行なわないものの存在が明らかになりつつある。集骨の有無を調べるためには、火葬墓・火葬施設から出土する焼骨の出土量を比較してどのような傾向にあるのかということを検討しなければならない。今年度出土した焼骨だけでは、データの少なさから集骨の有無をはっきりと述べることができなかったため、過年度に出土した焼骨についても検討する必要がある。

形態・規模 土葬墓のうち棺を用いて埋葬する墓の墓壙は、棺の大きさの約1.5から2倍の大きさを呈する。墓壙の規模は、長軸100～135cm、短軸90～120cmと長軸150～170cm、短軸120～135cmの大小2法量に大きく分類できる。本調査において墓壙の規模は、棺の長軸・短軸の規模に比例するのではなく、棺の高さが29cm以上のものについては大型の墓壙を掘り、29未満のものについては、小型の墓壙を掘る傾向にある。マウンド状の盛土は、おおよそ直径100～300cmの間の数値を示すが、稀に300cmを超えるものも見られる。厚さについては、掘り込み面から約15～40cmを呈し、中心からずれて盛土するものも見られる。

棺推定規模・推定頭位 棺の規模は、出土する鉄釘の位置からそれを求めた。計測には、盛土が棺内に崩落した際にも動くことが少ない、底板や側板の底部に打ち付けた釘を使用した。また、今回の調査で検出された墓だけではデータとして乏しいため、過去に第Ⅱ地区において発掘調査を行なった墓も合わせてグラフとして示した（グラフ1）。棺推定規模は、長軸は80～100cm、短軸は60～70を中心とするものと長軸60～80cm、短軸40～60cmの数値をとる大小2法量に大きく分かれている。棺の高さは、20～40cmの値を示す。規模の大きい墓は3・13・14・127・138号墓、小さい墓は5・128・129・130号墓となるが、立地する場所や出土遺物といったものから、両者に差を見出すことを今回の調査ではできなかった。

推定頭位は、歯などの遺物から頭部の位置を推測し、棺の長軸方向によりそれを算出した(図1)。それによると、127・138号墓が他の墓に比べてやや大きくその方角が異なっているが、ほとんどの墓はやや西の方角に寄るものの、北の方角を指向して埋葬していることを窺うことができる。

堆積土 棺による埋葬を行なう土葬墓では、蓋板の腐植のために棺内に盛土が崩落する自然堆積層が見られる。火葬墓・火葬施設においては、マウンド状の盛土は見られなかったが、ロームや拳大の礫などが覆土中に混入することから、すべてのものについて確認できたわけではないが、埋め戻しを行なっていることを想定した。

新旧関係 マウンド状の盛土を持つ土葬墓は、盛土が切り合うことはあるが、墓壙が切り合う事例は見られない。火葬施設は、8号墓と9号墓、13号墓と139号墓のように、いずれも切り合い関係から、火葬施設が古いという傾向を示している。こ

のことが夷王山墳墓群全体の傾向なのか、またはこの付近だけの傾向なのかについては今後の調査に期待したい。

出土遺物【漆器】漆器は、9基の土葬墓から、9個体出土している。それらは劣化が激しく塗膜部分を残すだけのものが多いが、そのほとんどが碗などの食膳具と思われる。漆器は、1つの墓に対して1個体副葬する。副葬する向きは、起こしたり、うつ伏せの状態で納めている。色調は、外面黒色または暗赤褐色を呈し、内面は、朱色を呈する。外面については、朱色の模様を施しているものもある。出土する位置については、頭部の西側に副葬するパターンが多い。

【銅銭】銅銭は、最古銭を開元通寶（唐621年）、最新銭を朝鮮通寶（朝鮮1423年）の約38種400枚が出土している。その銭種は北宋銭を主体として、唐・南宋・明・金・朝鮮・ヴェトナム銭や無文銭など日本で作られた銭も出土している。無文銭は土葬墓のみの出土で、明銭はそのほとんどが洪武通寶で、永樂通寶は1枚出土するのみである。副葬される位置は、棺中央部および漆器周辺、もしくは棺南部にある程度のまとまりが見られる。また盛土からも銭が出土することから、棺内に納める行為と棺を埋めた後に納める行為をしていることが窺える。13号墓では、ヴェトナム（後黎）銭の紹平通寶が1枚出土しており、上ノ国町内においてのヴェトナム（後黎）銭の出土は、洲崎館跡で出土している治平聖寶に続いて2枚目である。このヴェトナム（後黎）銭は、16世紀中頃から日本国内で流通し始めると考えられている（永井2001）銭で、墓の構築年代を測る上で1つの指標となるかもしれない。5・9・138号墓で出土している銭には、繊維状の織物（ＰＬ．2−3）が付着しており、頭陀袋のような袋に入れて副葬していることが想定され、5・138号墓ではそれを棺の中央部付近に副葬している。土葬墓と火葬墓・火葬施設から出土する銅銭を比較すると、北宋・明・日本銭で78.3％と8割近くを占めるのに対し、火葬墓・火葬施設では、北宋銭のみで74.9％と7割半を占めている（表1）。土葬墓の出土銭貨は、明銭の比率の高さや朝鮮通寶、紹平通寶、無文銭といった銭が出土するなど、火葬墓・火葬施設よりも新しい傾向を示す。また今回、本調査より出土した銭の本銭・模鋳銭による分類を行なった。模鋳銭については、坂詰秀一によって問題提起され、従来の銭文による分類だけでなく、本銭・模鋳銭の区分をすることでさらなる研究の進展を促す提言がされている（坂詰1986）。現在の本銭・模鋳銭の研究は、一括出土銭などの大量に出土した銭などを中心に行なわれて、その成果が公表されている。本墳墓群の出土銭貨は、そのほとんどが遺構に伴うものであるため、個々の墓からの出土枚数は少ないが、600基以上あるとされる墓から出土する銭をまとめると、広い意味での一括出土銭として捉えることが可能であると考える。そのため本墳墓群では、現在まで約1000枚の銅銭が発掘調査によって出土しており、それら各墓から出土する銭を現在試みられている研究法で分析することで、一括出土銭の成果と比較・検討を行なうことができ、銭を経由した本州との結びつきの中から勝山館跡の全体像の一端を明らかにできるのではないかと考え、従来の銭文による分類だけでなく、本銭・模鋳銭の分類も行なった。もちろんそれには出土遺物だけではなく、遺構の新旧関係や性格などの分析も行なう必要がある。分類の基準は永井久美男の分類方法に拠った（永井1998、2001）が、分類の際には筆者の主観的なものが入り、その数値に客観性を欠き、誤りもあると思われる。そのため識者の皆様に教えを請い、ご教授をお願いしたい。その分類の結果、土葬墓では本銭81枚に対し、模鋳銭が77枚（無文銭31枚）占め、火葬墓・火葬施設においても本銭168枚に対して、模鋳銭が74枚占めており、土葬墓で非常に高い値を示している。この結果について、銭の組成では、土葬墓は火葬施設と比較して新しい傾向にあると先に述べたが、この模鋳銭の混入の増減が時期差を示すものなのか、土葬墓に特有なものなのかを今回の結果を踏まえて、過去の第Ⅱ地区での調査や第Ⅰ地区から出土した銭も含めて検討していきたい。

【数珠玉】数珠玉は9号墓から水晶製（ＰＬ2−2）、13号墓から種子製（ＰＬ2−1）のものが出土している。種子製の数珠玉は、棗形と扁平形があり、表面には黒色の漆と思われる黒色の塗料が塗られている。また中央の穴の直径が両側で異なるため、片側から穿孔したものと想定される。扁平形はそのほとんどが直径0.9〜1.1㎝、厚さ0.2〜0.4㎝の値を示す。水晶製の数珠玉は棗形と丸形があり、丸形には直径の違いから大型1.2㎝以上、中型0.9〜

1.1cm、小型0.6～0.8cmの３法量に分類することができる。大型の玉は、穴が３つ穿孔されており、母珠と呼ばれる部分に使われた玉と想定される。また水晶製の数珠は、勝山館跡において、玉砥石など製作に関する遺物がこれまでの調査では出土していないため、搬入品ではないかと考えられる。

【鉄釘】鉄釘の長さは、4.5～7.5cmと数値に開きが見られ、全体として見るとまとまりがないが、個々の墓をみると4.5～5.0cm、5.0～6.0cm、6.0～7.0cmなど一定の値に集中する墓も見られる。棺に打ち付ける部位によって長さの異なる釘を使い分けたという相違も今のところ傾向として読み取ることができない。鉄釘の頭部形態は、ほとんどが頭巻釘でわずかに角釘が出土するのみである。残存する頭部本数から１つの棺に使われた鉄釘の本数を推測するとおよそ20～30本の数値を示す。

９号墓（火葬施設）は鉄釘の頭部本数が、54本と他の墓より２倍の本数が出土しているため２回の火葬を想定したが、層位から出土する遺物に時期差を見出せないため、同時かほとんど時間を空けずに２回の火葬を行なったと考えられる。土葬墓から出土する鉄釘については、出土位置や木目方向などから、釘を打ち付けた位置・方向や棺の構築方法やなどを読み取ることができる。13号墓については、すべての鉄釘について打ち付けた位置が特定でき、また釘に残存する木目方向から棺の構造を明らかにすることができた（図２、図の番号は、第29・30図の13号墓鉄釘の実測図に対応する）。それらから棺の構築方法を推測してみると、まず鉄釘に付着する木目方向には、３種類あることを確認でき、以下にそれを示す。

１類：木目方向が２枚の板とも鉄釘に対して垂直に走り、上下の板が同じ向きを向くもの（21、24、25、28）。

２類：木目方向が２枚の板とも鉄釘に対して垂直に走り、上下の板が直角に交差するもの（１～８、22、23、26、27、29、30）。

３類：木目方向が頭部に近い板が鉄釘に対して垂直に、もう１枚が平行に走るもの（９～20）。となり、３つに分類することができる。さらに棺に打ち付けた状態から動いていない９～30の釘より、次のようなことが分かる。９～20は長辺から短辺を向いて四隅に３段打ち付けて、21～30の釘は頭部を下にして直立して出土することから、木目の方向が推測でき側板の木目は水平方向に、蓋板・底板は短辺から短辺に向かって走ることがわかる。これらを合わせて考えると13号墓の棺は、１類の釘を短辺の蓋板・底板から側板に打ち付け、２類の釘を長辺の蓋板・底板から側板に打ち付け、また３類の釘を側板の長辺から短辺に向かって３段打ち付け、板の組み方も底板の上に側板を載せて長辺の側板の間に短辺の側板を挟むように置き、蓋板をその上に載せているということをそれらから読み取ることができる。今回整理作業の途中で、すべての墓について検討を加えることができなかったためこの構築方法があくまで１つのパターンであることを最後に付け加えておく。

【骨】墓から出土する骨は、土葬墓のものについては、腐植のためあまり残存せず、硬い歯の部分のみが出土する場合が多い。一方の火葬墓・火葬施設では、被熱を受けた焼骨が出土する（表２）。出土する焼骨は、茶毘墓とされる125号墓が469.2ｇと一番多く、次に329.7ｇと９号墓が多くなるが、鉄釘の本数から９号墓は２回の火葬が行なわれたと想定されているため、平均値をとると約165ｇとなり、同じ火葬施設の139号墓にやや近似する値をとる。136号墓は、3.9ｇと同じ火葬施設の9・139号墓と比較してもかなり数値に開きがあり、集骨を丁寧に行なったのかもしくは小さい子供など、もともと骨の量が少ない人などの埋葬を想定できる。また136号墓は鉄釘の出土量も少なく（銅銭は７枚出土している）、棺自体にあまり鉄釘を打ち付けていないのか、集骨の際に鉄釘も一緒に集めたのかなど、その詳細は現在のところ不明であるが、集骨した骨を納めた墓から、被熱を受けた鉄釘や銅銭が出土すれば、それらの仮説を検証することが可能であると思われる。

（塚田）

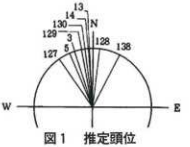


図１　推定頭位

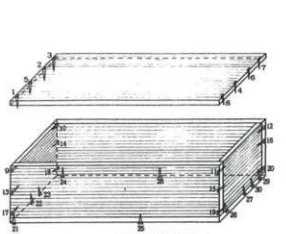
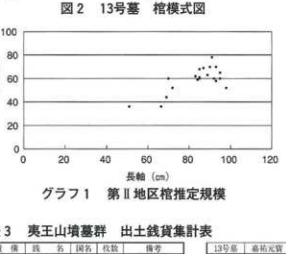


図2　13号墓　棺模式図



グラフ1　第Ⅱ地区棺推定規模

表1　銅銭　王朝・国別出土枚数（組成比）

	土葬墓	火葬墓・火葬施設
唐	6(3.8%)	8(3.3%)
北宋	65(41.1%)	182(75.2%)
南宋		1(0.4%)
金	1(0.6%)	2(0.8%)
明	28(17.7%)	3(1.2%)
朝鮮	2(1.3%)	
後黎	1(0.6%)	
日本	31(19.6%)	
不明	24(15.2%)	46(19.0%)
合計	158	242

表2　墓別　焼骨・鉄釘頭部本数集計表

遺構	125号墓	136号墓	9号墓	139号墓
焼骨（g）	469.2	3.9	329.7	125.7
鉄釘頭部本数	32	2	54	18

表3　夷王山墳墓群　出土銭貨集計表

遺構	銭名	国名	枚数	備考
3号墓	元祐通寶	北宋	1	模鋳銭
3号墓	祥符通寶	北宋	1	模鋳銭
3号墓	無文銭	日本	3	模鋳銭3枚
3号墓	判読不能	不明	2	欠損の為判読不能1枚、模鋳銭2枚
5号墓	嘉祐元寶	北宋	1	模鋳銭
5号墓	熙寧元寶	北宋	2	模鋳銭2枚
5号墓	元符通寶	北宋	1	
5号墓	天禧通寶	北宋	1	
5号墓	洪武通寶	明	7	模鋳銭7枚
5号墓	無文銭	日本	22	模鋳銭22枚
5号墓	判読不能	不明	10	欠損の為判読不能1枚、模鋳銭7枚
9号墓	嘉祐元寶	北宋	4	
9号墓	嘉祐通寶	北宋	3	
9号墓	熙和元寶	北宋	1	
9号墓	咸平元寶	北宋	7	模鋳銭3枚
9号墓	熙寧元寶	北宋	13	模鋳銭4枚
9号墓	景德元寶	北宋	8	模鋳銭3枚
9号墓	景祐元寶	北宋	2	模鋳銭1枚
9号墓	天圣通寶	北宋	1	
9号墓	元豊通寶	北宋	22	模鋳銭10枚
9号墓	元祐通寶	北宋	5	模鋳銭2枚
9号墓	皇宋通寶	北宋	23	模鋳銭9枚
9号墓	熙通元寶	北宋	3	模鋳銭2枚
9号墓	治平通寶	北宋	1	
9号墓	浮化元寶	北宋	3	模鋳銭2枚
9号墓	祖聖元寶	北宋	1	模鋳銭
9号墓	祥符元寶	北宋	25	模鋳銭15枚
9号墓	祥符通寶	北宋	8	模鋳銭4枚
9号墓	聖宋元寶	北宋	4	
9号墓	政和通寶	北宋	4	模鋳銭2枚
9号墓	宣和通寶	北宋	1	
9号墓	大観通寶	北宋	1	
9号墓	太平通寶	北宋	1	
9号墓	天禧通寶	北宋	7	
9号墓	天聖元寶	北宋	17	模鋳銭5枚
9号墓	明道元寶	北宋	1	
9号墓	熙元通寶	唐	6	
9号墓	洪武通寶	明	1	
9号墓	正隆元寶	金	2	
9号墓	判読不能	不明	33	欠損の為判読不能8枚、模鋳銭1枚
13号墓	嘉祐元寶	北宋	1	模鋳銭
13号墓	熙寧元寶	北宋	1	模鋳銭
13号墓	景定元寶	北宋	1	
13号墓	景祐元寶	北宋	3	模鋳銭3枚
13号墓	元豊通寶	北宋	5	模鋳銭4枚
13号墓	元祐通寶	北宋	2	模鋳銭1枚
13号墓	皇宋通寶	北宋	4	模鋳銭4枚
13号墓	祖聖元寶	北宋	1	模鋳銭
13号墓	祥符元寶	北宋	1	模鋳銭
13号墓	祥符通寶	北宋	1	模鋳銭
13号墓	聖宋元寶	北宋	1	模鋳銭
13号墓	政和通寶	北宋	1	模鋳銭
13号墓	大觀通寶	北宋	4	模鋳銭2枚
13号墓	洪武通寶	明	4	模鋳銭3枚
13号墓	朝鮮通寶	朝鮮	2	
13号墓	郡千通寶	後黎	1	
13号墓	判読不能	不明	3	欠損の為判読不能3枚、模鋳銭2枚
14号墓	宋通元寶	北宋	1	模鋳銭
14号墓	洪武通寶	明	1	模鋳銭
14号墓	判読不能	不明	3	欠損の為判読不能1枚
18号墓	洪武通寶	明	1	
22号墓	洪武通寶	明	9	模鋳銭7枚
22号墓	無文銭	日本	1	模鋳銭
22号墓	判読不能	不明	2	模鋳銭2枚
125号墓	景德元寶	北宋	1	
125号墓	皇宋通寶	北宋	1	
125号墓	政和通寶	北宋	2	模鋳銭1枚
125号墓	天禧通寶	北宋	1	模鋳銭
125号墓	嘉泰通寶	南宋	1	
125号墓	判読不能	不明	11	欠損の為判読不能3枚、模鋳銭
127号墓	景德元寶	北宋	2	
127号墓	皇宋通寶	北宋	1	
127号墓	至道元寶	北宋	1	
127号墓	祥符元寶	北宋	1	
127号墓	開元通寶	唐	5	
127号墓	洪武通寶	明	1	模鋳銭
127号墓	正隆元寶	金	1	
127号墓	判読不能	不明	2	欠損の為判読不能1枚
128号墓	景德元寶	北宋	1	模鋳銭
128号墓	治平通寶	北宋	1	
128号墓	開元通寶	唐	1	
128号墓	判読不能	不明	1	
129号墓	嘉祐元寶	北宋	1	模鋳銭
129号墓	熙平元寶	北宋	2	模鋳銭
129号墓	景祐元寶	北宋	1	模鋳銭
129号墓	皇宋通寶	北宋	4	模鋳銭
129号墓	治平通寶	北宋	1	
129号墓	大観通寶	北宋	1	
129号墓	永楽通寶	明	1	模鋳銭
129号墓	洪武通寶	明	1	模鋳銭
129号墓	無文銭	日本	5	
129号墓	判読不能	不明	2	欠損の為判読不能1枚、模鋳銭1枚
136号墓	咸平元寶	北宋	1	模鋳銭
136号墓	熙寧元寶	北宋	2	模鋳銭2枚
136号墓	景祐元寶	北宋	1	
136号墓	元豊通寶	北宋	1	
136号墓	治平元寶	北宋	1	
136号墓	皇宋通寶	北宋	1	模鋳銭
136号墓	咸平通寶	北宋	1	模鋳銭
136号墓	熙寧元寶	北宋	1	模鋳銭
138号墓	祥符通寶	北宋	2	模鋳銭2枚
138号墓	皇宋通寶	北宋	2	模鋳銭
138号墓	政和通寶	北宋	4	模鋳銭1枚
138号墓	大観通寶	北宋	1	
138号墓	太平通寶	北宋	1	
138号墓	天聖元寶	北宋	2	模鋳銭1枚
138号墓	洪武通寶	明	3	
139号墓	熙寧元寶	北宋	1	
139号墓	元祐通寶	北宋	1	
139号墓	元豊通寶	北宋	2	
139号墓	皇宋通寶	北宋	1	模鋳銭
139号墓	政和通寶	北宋	2	模鋳銭1枚
139号墓	大観通寶	北宋	1	
139号墓	天聖元寶	北宋	1	
139号墓	開元通寶	唐	2	模鋳銭1枚
139号墓	洪武通寶	明	2	
139号墓	判読不能	不明	2	

二．勝山館跡中央通路の調査

Ⅰ　調査の概要

1．調査に至る経緯

史跡上之国勝山館跡では、2000年度から開始された史跡等活用特別事業の一環として、今年度から中央通路とその左右に位置する建物配置などの平面表示の整備を行なっている。そして中央通路部分において、植樹された木の根などによって過年度の調査時に発掘を行なうことができない場所があり、整備を行なう中央通路部分の全てを検証するに至っていなかった。そのため今年度は、それら中央通路の未検出の部分について、検証をするために発掘調査を行なった。

2．調査位置

勝山館跡の主体部には、区画された地割面の中央を貫通する、中央通路の存在をこれまでの調査で確認している。今回の調査では、その通路部分の18K23～24K９付近を調査した。

3．調査方法

グリッドは、勝山館跡の昭和55年度の調査で設定したものを使用した。以下、一．夷王山墳墓群第Ⅱ地区の調査、Ⅰ調査の概要、２．調査の方法の項を参照されたい。

4．調査経過

７月上～８月上旬

18K23、19K13付近の遺構検出を行ない、中央通路などを検出する。陶磁器・骨角器・炭化米などが出土する。砂を使って埋め戻しを行ない、調査を終了した。

5．基本層序

Ⅰ層：近現代に相当する堆積層である。

Ⅱ層：近世に相当する堆積層である。下部には1640年代降灰のＫｏ－ｄ（駒ケ岳ｄ）火山灰の層を含む。この火山灰層は上層を近世面、下層を中世面に区別するための目安としている層である。

Ⅲ層：中世後期（15～16世紀）に相当する堆積層である。

Ⅳ層：縄文～擦文時代に相当する堆積層である。黒色の腐植土層を、ａ層とし、擦文期に相当する層としている。その下層に堆積する10世紀中葉に降灰のＢ－Ｔｍ（白頭山－苫小牧）火山灰をⅣｂ層にし、Ⅳｂ層の下層に堆積する黒色の腐植土層をⅣｃ層として、縄文時代に相当する層としている。

Ⅴ層：にぶい黄褐色を呈するローム層である。

Ⅱ　検出遺構

主な遺構の概要について以下に述べる。なお、出土遺物については、遺物観察表（表43）にまとめた。

中央通路

幅約２ｍ、左右に幅40～50cmの側溝を持ち、Ⅳ層上面の褐色土に黄褐色ロームを貼り、整地を行なっている。その上層や下層から小柱穴を検出している。

溝１（中央通路側溝）

23K14～22K24グリッドに位置する。長さ21.7ｍ幅40～50cm、深さ10～15cmを測り、炭化物が層状に混入している。

溝２

19Ｋ８・９・18・19グリッドに位置する。長さは南東～南西方向へ1.6ｍ、南西～北東方向へ約4.2ｍと屈曲しており、幅0.3～0.7ｍ、深さ約0.2ｍを測り、ローム粒や炭化物などが、覆土中に混入している。新旧関係は、土壙１より新しい。

溝３

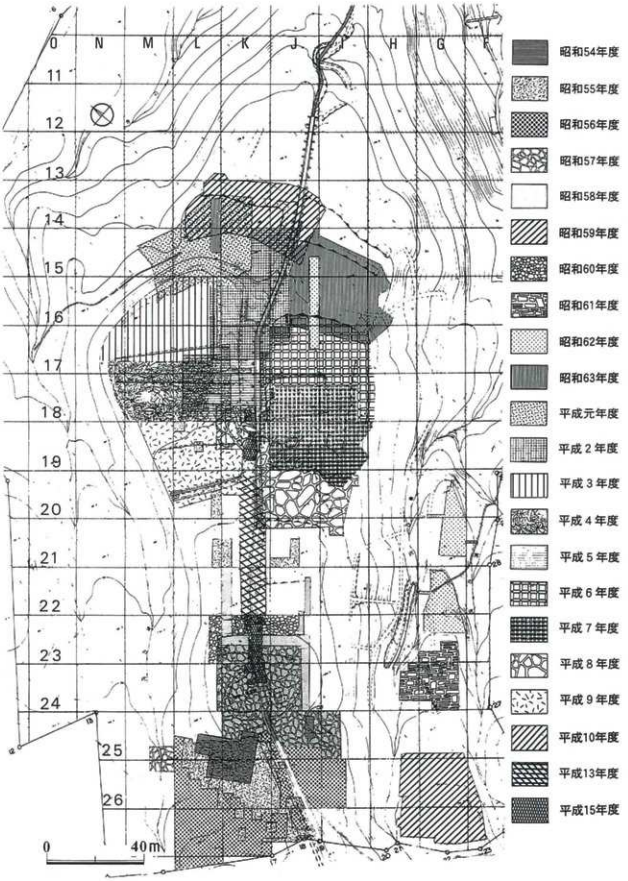
19K18・19グリッドに位置する。幅80cm、深さ約15cmを測る。新旧関係は、溝２より古い。

土壙１

19K18・19グリッドに位置する。長軸約90cm、短軸約60cm、深さ約20cmを測る。新旧関係は、溝２より古い。

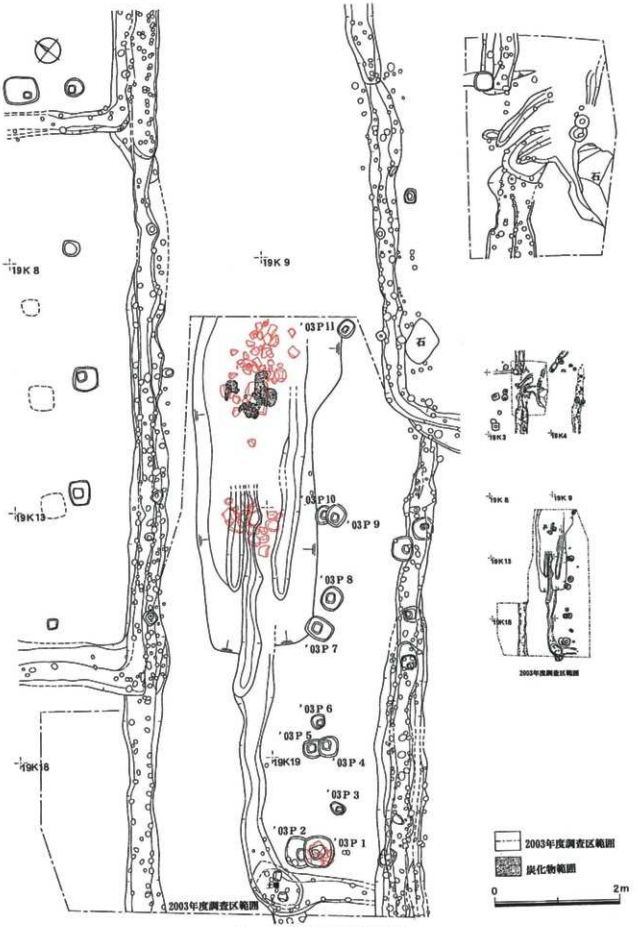
Pit31

24K10グリッドに位置し、平面形は直径45cmの不整円形を呈しており、柱穴底面より２～６cm大の玉砂利が１辺約20cmの隅丸方形状に敷かれた状態で出土した。平面による観察において明瞭に柱痕を確認できなかったが、玉砂利上位にて堆積していた覆土のしまりが周囲と比較してやわらかかったため、その部分に柱痕があった可能性が高い。また覆土は砂質土を呈している。玉砂利はそのままにし、完掘を行なわずに埋め戻した。（塚田）



第44図　年次別調査範囲図

第45図　勝山館跡　中央通路遺構平面図



第46図　調査区遺構配置図

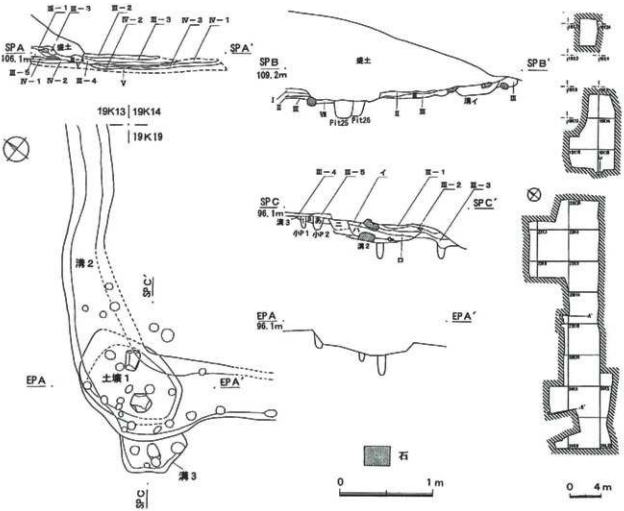


表40　24K3・4区東西セクション北壁土層観察表（A～A'）

	Ⅲ－1	10YR1.7/1 黒色	炭化物主体　ソフトロームブロック　褐炭	ソフト	
	Ⅲ－2	10YR4/4　褐色	整地層　全面ハードローム　褐炭	ハード	炭炭
	Ⅲ－3	10YR4/2　灰黄褐色	ソフトロームブロック　褐炭	ハード	炭炭
	Ⅲ－4	10YR2/2　黒褐色	ハードロームブロック　褐炭	粘　薄性　ソフト	
	Ⅲ－5	10YR4/3　鈍い黄褐色	整地層　褐炭	粘性　ソフト	炭炭微量
	Ⅳ－1	10YR1.7/1 黒色		粘性　ソフト	
	Ⅳ－2	10YR4/2　灰黄褐色	B－Tm	粘性　ソフト	炭炭微量
	Ⅳ－3	10YR3/3　暗褐色		粘性　ソフト	炭炭微量
	Ⅴ	10YR4/3　鈍い黄褐色	ソフトローム	粘性　ソフト	炭炭微量

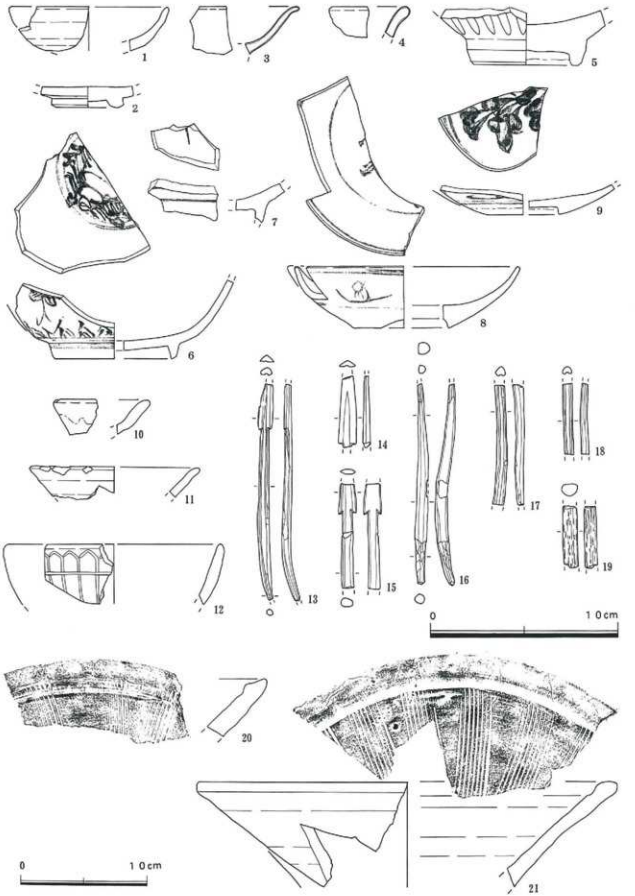
表41　23K13・14区東西セクション北壁土層観察表（B～B'）

	Ⅱ	10YR7/3　鈍い黄橙色	Ko-d主体		
	Ⅲ	7.5YR3/3　暗褐色	暗褐色土主体　Ko-d少量　褐炭	ハード	炭炭微量
溝イ	1	7.5YR3/2　黒褐色	石炭主体　石炭	ハード	炭炭微量

表42　溝2土層観察表（C～C'）

	Ⅲ－1	10YR4/4　褐色	ローム粒	ハード	焼土粒　炭多量
	Ⅲ－2	10YR3/4　暗褐色	ローム粒　骨粉多量	粘多量	焼土粒多量
	Ⅲ－3	10YR4/4　褐色	ローム粒　褐炭	粘質	炭微量
	Ⅲ－4	10YR4/6　褐色	ローム粒　褐炭多量	全体砂質	
	Ⅲ－5	10YR3/4　暗褐色	暗褐色土主体　ローム粒　褐炭	ややハード	焼土粒微量　炭微量
溝2	イ	10YR4/4　褐色	ローム粒	ハード	炭少量　焼土粒多量
	ロ	10YR4/3　鈍い黄褐色	ローム粒少量　褐炭	粘質	
	ハ	10YR4/3　鈍い黄褐色	ローム粒少量　褐炭　砂		
	ニ	10YR3/3　暗褐色	ローム粒少量　褐炭　砂利少量	ややハード	炭少量
溝3		10YR4/4　褐色	褐色土主体　ローム粒　褐炭		
小Pit	1	10YR3/4　暗褐色	暗褐色土主体　ローム粒　褐炭		
小Pit	あ	10YR3/4　暗褐色	暗褐色土主体　褐炭少量	ソフト	

第47図　土壙1、溝2平面図他



第48図　調査区出土遺物(陶磁器、骨角器)

表43　勝山館跡中央通路　出土遺物観察表

図版No.	PL No.	グリッド	層位	層種	器種	特徴	整理No.
		19K19	P1	柱痕	鉄製品	釘	法 8（0.9）cm、幅0.2cm、厚 0.2cm　フローテーション	195
47図－12	PL24－2	24K9	P3	柵列	炭化物	丸柱	大柱痕2段階目平 （頂径17cm	76
		24K9	P4	柵列	炭化物	角柱痕	大柱痕1段階	141
		24K9	P4	柵列	炭化	丸	柱部　痕 ユ口径　外面口縁部圧痕	142
47図－2	PL24－1	19K14	P5	柵列	白磁	皿	D群　底径5.2cm　外面無紋ス付帯	143
		24K9	P6	柵列	鉄製	釘		143
		24K9	P7	柵列	不明		近世か	191
		19K19	土壌1	竪穴	土師	不明	フローテーション	198
		19K19	土壌1	竪穴	土師	不明	フローテーション	199
		19K19	土壌1	竪穴	鉄製品	釘	長さ（2.62）cm、幅（0.6）cm、厚さ（0.5）cm　フローテーション	196
		19K19	土壌1	竪穴	鉄製品	鎹付	長さ（1.25）cm、幅0.1cm　フローテーション	197
		22K24	溝1	竪穴	越前	擂鉢	外面無紋ス付帯	31
		23K4	溝1	竪穴	越前	擂鉢	内面櫛成ス付帯	18-101～103-105
		23K4	溝1	竪穴	越前	擂鉢	口部	19-105-107～109
47図－21	PL24－4	23K4	溝1	竪穴	瓦器	擂鉢	底部	20-62-63・0122K191P溝21
		23K4	溝1	竪穴	越前	擂鉢	底径14.2cm　内外面ロ縁ス付帯　卸し目条（左回り）	23
		23K4	溝1	竪穴	越前	擂鉢	底部 卸し目条　櫛方向卸し直あり	24
		23K4	溝1	竪穴	越前	擂鉢	底径16.9cm　軟質　内外面・卸しス付帯　卸し目条	25-156-157-158・0122K19－3 I 32,22K23－I I 7,22K23－4 I 47
		23K4	溝1	竪穴	越前	擂鉢		104
		19K18	溝1	竪穴	鉄製品	内売鎹	大柱痕3段階　底径5.7cm　見込み・底部編ドテ痕	80
		22K24	溝1	竪穴	炭化	皿	大柱痕1段階　底径5.8cm　輪ドテ痕	29
		23K4	溝1	竪穴	鉄製	鎹反部	大柱痕1段階　2次被熱	26
47図－10	PL24－2	22K24	溝1	竪穴	炭化	土皿	大柱痕1段階後半　口径10.2cm　外面横組痕跡	33
		23K4	溝1	竪穴	骨角製	中軸	長さ（1.57）cm、幅0.95cm、厚 0.34cm、重さ0.3g　フローテーション	201
		23K4	溝1	竪穴	骨角製	中軸	長さ（1.46）cm、幅0.33cm、厚 0.20cm、重さ0.1g　フローテーション	202
		23K4	溝1	竪穴	骨角製	不明		3
		23K4	溝1	竪穴	骨角製	不明	フローテーション	203
		23K4	溝1	竪穴	骨製	櫛	高台裏面筋　見込み圧痕	22
		22K24	溝1	竪穴	石製品	砥石		6
		19K18	溝1	竪穴	土師	皿	外面無紋圧痕	83
47図－8	PL24－1	22K24	溝1	竪穴	染付	皿	C群　口径12.4cm、器高3.3cm、底径4.8cm　内外面口縁部圧痕　外面胴部梵字文か　外面腰部圧痕　見込み文字	27-28-30・0227K27E611－36
47図－9	PL24－1	22K24	溝1	竪穴	染付	皿	C群　底径5.8cm　外面胴部梵字文か　外面腰部圧痕　見込み段花　器別底	32
		23K4	溝1	竪穴	染付	皿	C群　内面口縁形成痕	21
		23K4	溝1	竪穴	瀬戸焼	皿		4
		23K4	溝1	竪穴	鉄製品	釘	長さ（4.16）cm　略完形　フローテーション	200
		23K4	溝1	竪穴	鉄製品	小札	魚骨状看	5
		22K24	溝1	竪穴	鉄製品	不明		1
47図－11	PL24－2	19K18	溝1	竪穴	炭化	瀬戸焼	大柱痕1段階　口径9.0cm　2次被熱	87-89-94
		23K4	溝2	竪穴	炭化	瀬戸焼	大柱痕1段階	79
		19K18-19	溝2	竪穴	集石	礫	B群　外面胴部柱ブ痕平文　外面腰部圧痕　見込み圧痕2条	83
		19K18-19	溝2	竪穴	集石	礫	B群　底径7.8cm　外面胴部柱ブ痕平文　外面腰部圧痕2条、見込み一筆子、圧痕2条	84
		19K18-19	溝2	竪穴	集石	礫	B群　底径5.9cm　外面胴部柱ブ痕平文　見込み一筆子　圧痕2条	86
		19K18-19	溝2	竪穴	集石	礫	B群　外面胴部柱ブ痕平文	88
47図－1	PL24－1	19K18-19	溝2	竪穴	白磁	皿	E群？	82
		19K18-19	溝2	竪穴	白磁	皿	D群　口径8.3cm	85-120
		19K18-19	溝2	竪穴	白磁	皿	E群　瀬戸口縁　口径10.6cm　2次被熱	121
		18K23		I	炭化物	皿	見込み草花文	136
		18K23		I	染付	皿	C群　内外面口縁部圧痕	137
		18K23		II	染付	皿	C群　内外面口縁部圧痕	138
		18K23		III	染付	皿	C群　外面腰部圧痕　見込み圧痕	139
		19K8-9		II	石製品	砥石	角石	152
		19K13		II	炭化物	大型鍋	大柱痕2段階目	95
		19K13		II	青磁	碗		98
47図－6	PL24－1	19K13		II	染付	碗	C群　底径6.6cm　外面胴部見込　外面腰部輪郭並び文・圧痕2条　見込み蓮花	93
		19K13		II	鉄製品	鎹		97
		19K13		III	鉄製品	鎹管	吸口部か	99
		19K13		III	白磁	皿	E群　瀬戸口縁	96
		19K13		III	不明	漆管		125
		19K13		III	木製品	漆管	竹製	122
		19K13-14		III	骨角製	中軸	法さ（0.9）cm、幅0.6cm、0.4g　フローテーション	194
		19K13-14		木層	鉄製品	釘	0.3g　フローテーション	193
47図－7	PL24－1	19K14		II	染付	碗	C群　底厚2.1cm　外面腰部圧痕　見込み文様あり　2次被熱	100
		19K19		I	染付	碗	C群　外面口縁部圧痕2条　外面胴部点字文	124
		19K8		III	瀬戸	花瓶	瀬戸口径	126
47図－5	PL24－1	19K8		III	青磁	碗	B－II－b 群　底径5.6cm　高台裏面筋　外面片切彫の鎬連弁文　見込み蓮弁　貫入多数	91
47図－4	PL24－1	19K9		III	青磁	碗	D－II 群　口縁部復元　口径11.2cm	92
		22K22		III	鉄製品	釘	角釘	189
		22K22		III	鉄製品	釘	角釘	190
		22K23		木層	鉄製品	鉄鏃		185
		23K3		I	越前	擂鉢	首部 b	159
		23K3		I	炭物	皿		135
		23K3		I	石製品	砥石		133
		23K3		I	鉄製品	鋼鉄	開元通寶	187
		23K3		III	白磁	皿	D群	160
		23K3		木層	越前	擂鉢		153
		23K3		木層	越前	擂鉢		154
		23K4		II	越前	擂鉢	首部 a　口径33.0cm　卸し目10条	60
47図－20	PL24－3	23K4		II	越前	擂鉢	首部 a　櫛方向卸し目あり	61
		23K4		II	炭物	瀬戸焼	大柱痕1段階　2次被熱	64
47図－13	PL24－6・7	23K4		II	骨角製	骨鏃	長さ（11.4）cm、幅0.6cm、厚 0.5cm、重さ4.1g	67-73-113-116-117
47図－15	PL24－6・7	23K4		II	骨角製	骨鏃	長さ（5.5）cm、幅0.5cm、厚 0.5cm、重さ1.7g	72-75-115
47図－14	PL24－6・7	23K4		II	骨角製	骨鏃	長さ（3.8）cm、幅0.4cm、厚 0.1cm、重さ1.2g	119
		23K4		II	骨角製	中軸	櫛か	66
47図－17	PL24－6・7	23K4		II	骨角製	中軸	長さ（6.2）cm　幅3.4cm　厚 3.4cm	68-69-71
47図－18	PL24－6・7	23K4		II	骨角製	中軸	長さ（3.8）cm、幅0.4cm、厚 0.5cm、重さ1.2g	70-114
47図－16	PL24－6・7	23K4		II	骨角製	中軸	長さ（10.7）cm、幅0.85cm、厚 0.65cm、重さ5.2g	74-118
47図－19	PL24－6・7	23K4		II	骨角製	中軸	長さ（3.4）cm、幅0.1cm、厚 0.3cm、重さ1.4g	111-117
		23K4		木層	炭物	瀬戸焼	大柱痕1段階	145
		23K4		木層	炭物	碗？	2次被熱	148・0122K23－I－18
		23K4		木層	鉄製	鎹		146
		23K4		木層	鉄製	鎹		147
		24K3		木層	鉄物	碗	2次被熱	149
47図－3	PL24－1	24K3		II	炭物	皿	E群　瀬戸口径　口径10.6cm　2次被熱	127
		不明		木層	炭物	土皿	大柱痕1段階　外面胴部縁筋	180

三．勝山館跡出土遺物集成

1979年に発掘調査を開始してから今日に至るまで、勝山館跡内から検出された遺構・遺物は多種多量である。従来、年次ごとの調査概報にその一部を紹介してきたが、年により粗密もあり全容を示すには程遠いところである。この間概説書や図録等に集成・集合写真・図が紹介され筆者も一部紹介したことがある（『勝山館・発掘調査十年の成果と課題』「海峡をつなぐ日本史」三省堂1993）。

本書ではその内の遺物について、既刊の概報に掲載した図を再構成、上記写真を補して本遺跡の特徴の一部を紹介するものである。なお別編発掘調査資料編出土遺物（1）も同様に既刊の概報掲載図の集合であり、重複するところもあるが併せてご覧戴きたい。また諸般の事情から割愛、遺漏の遺物も少なくないがこれについては次年度の報告で補いたく考えている。

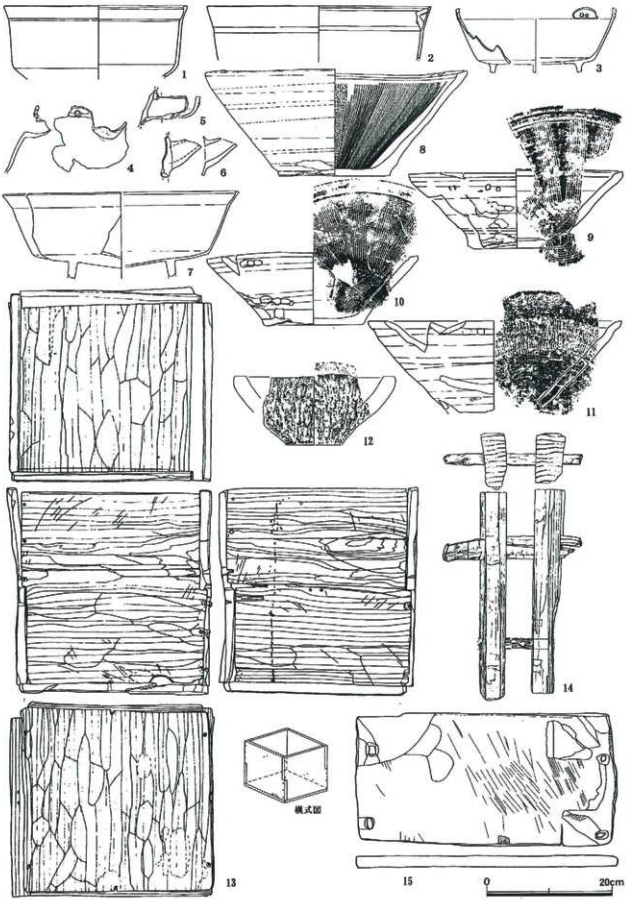
第49、50図は台所用品などとしたものである。1～7は鉄鍋の類である。内耳と吊耳の両者があり、法量にも幾つか違いがあるが未だ明らかになしえない。注口の付く物もある。近年カリンバ6遺跡の墓壙内から完形品が出土している。なお6は鉄瓶のそれかもしれない。

8～11は擂鉢である。越前が大多数で少量の瀬戸・美濃、越中瀬戸、珠洲がある。珠洲が20片ほどと越前の1％にも満たないのは時代を示すものである。12の石鉢？は今少し検討したい。13、14は井戸内から出土した釣瓶と滑車枠である。13の中と下が底板の表裏、上と右の2面が側板である。右側板と図示していない左側板の中央（13図下左）に2個一対の穴がある。把手の位置を示すものか。15は俎板で左右に足がつく。第50図6～12は篦、15～18は串、19～25は箸である。13、14は自在鉤である。前図の耳付の鍋とともに用いられたのであろう。勝山館跡では鉄鍋を地面に据え囲炉裏とする例が幾つかある。冬季の暖房もまたこれによったと思われる。竈の使用は明らかでない。26，27は火打ち金、28～31は火箸、32は笏谷石製の火鉢である。火鉢は地面を掘って据えられ、底部中央は被熱のため著しく劣化していた。台所とは別の空間での使用であろう。一乗谷朝倉氏遺跡にも同じものがある。1～5は漆器である。食器の一部としてここに図示した。勝山館跡直下、宮ノ沢右岸地点の慶長期包含層、夷王山墳墓群墓壙副葬品などにも多く見られ、その使用、流入量は少なくないものと推測される。

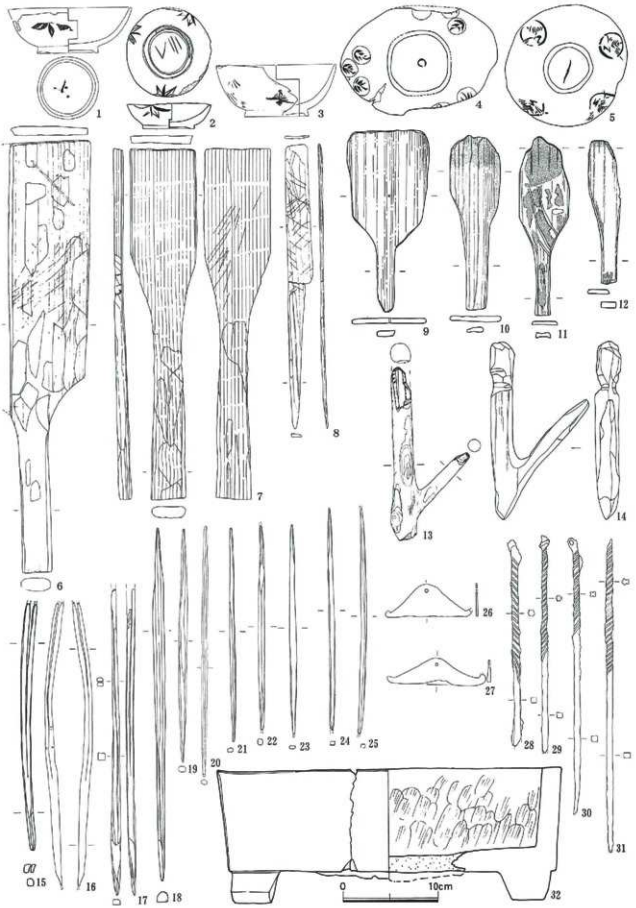
第51図は漁具等である。1は網浮、4～11は魚網錘である。各々大小があり資料編にそれを図示した。15～20は釣り針と鉤、22～26は箝である。これらにも大小があり資料編に示した。何れも対象とする魚種や漁法に関係するものであろう。また、網浮や漁網錘、即ち漁網を山中の館の中に態々運んでいることにもなる。鉤には漁具以外の物もあると思われる。鎌の用途は各種あるが、昆布刈にも用いられるようである。27～46，49、51は釘、鎹、鏨、鑿、金槌などの建築加工具と柱材（柱根）である。釘などに大小があり、錐、鑿などとともに資料編に示した。柱材、杭なども各種あるが割愛した。47，48は紡錘車、50は引き金である。

第52図1～8は鏡である。勝山館跡からは20面余が出土している。55図13のように鏡面に穴をあけ、懸け下げて用いるものもある。9～13は針である。10～13の鹿角製のものは網づくりなどの作業用のものかもしれない。14，15は簪である。14は銀製で頭部両面に0.5ミリほどの孔が穿たれ金、銀などの玉がはめられている。耳掻き部を欠く。15は銅製である。16は櫛（笄一鹿角製）である。17は白磁の皿で、見込みの蛇の目部分に紅が残る。18は白磁の偏壺で、内部に黒色の付着物がある。19、20は鋏、21は毛抜きである。22～28は下駄。28は子供用であろう。なお、資料編にもいくつか図示したので参照願いたい。

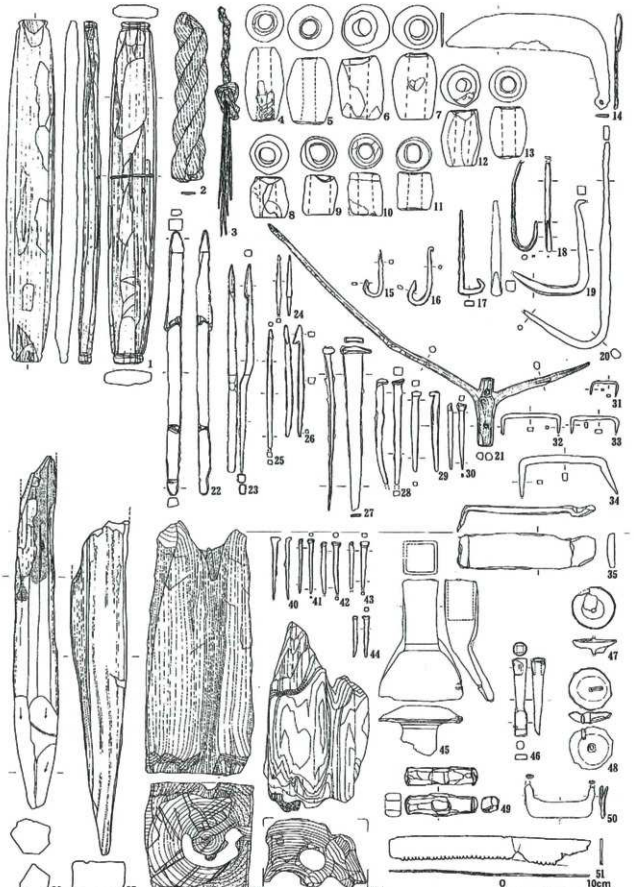
第53図1、2は鞴の羽口である。1の側面にある抉りは据付固定のためのものである。熱変の痕から火処に対して斜めに固定されていたことが分かる。資料編にも幾つか図示したが、外径、口径はほぼ同じである。泥岩、凝灰岩製と陶製がある3、5は銅塊、4は銑鉄塊である。6～9は椀型滓である。10～39は鍛冶・銅鋳造作業場と仮称する一角からの一括出土品である。10は鞴の羽口で先端が被熱し発泡している。15は銅の地金で所謂海鼠状を呈している。16は瀬戸・美濃の灰釉皿を坩堝（取瓶）に転用したもの。他に銅滓・銅滴、鋳崩れた鋳込み失敗作などがある。25～39の銅製品は甲冑金物ばかりで、小札が150点ほど出土していることから、鎧の修理作業場かと推測したことがある。一点表面に銅箔を置いた例がある。鉄鎌が2点、釘が300点余、鍛造薄片が



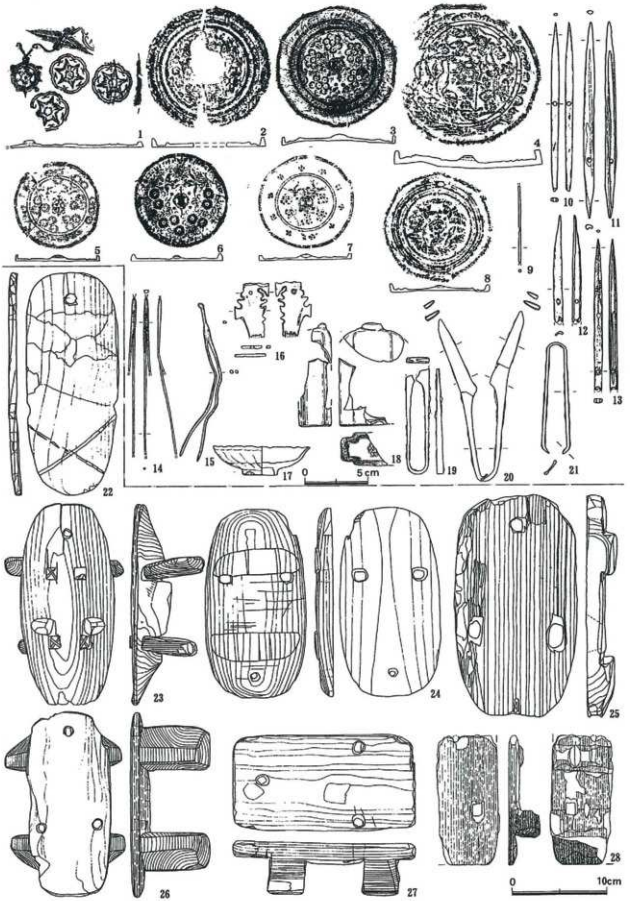
第49図　台所用品他


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
0
10cm

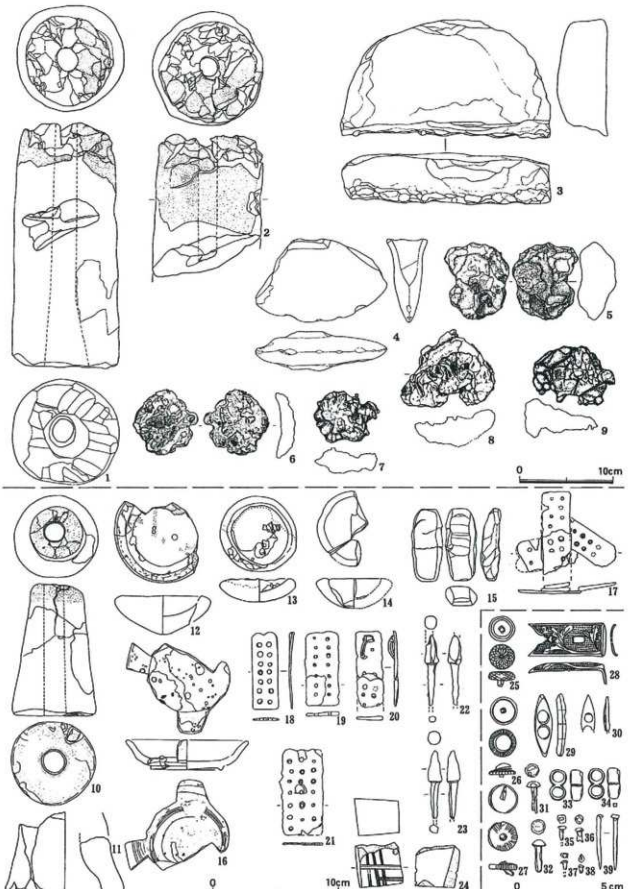
第50図　台所用品他



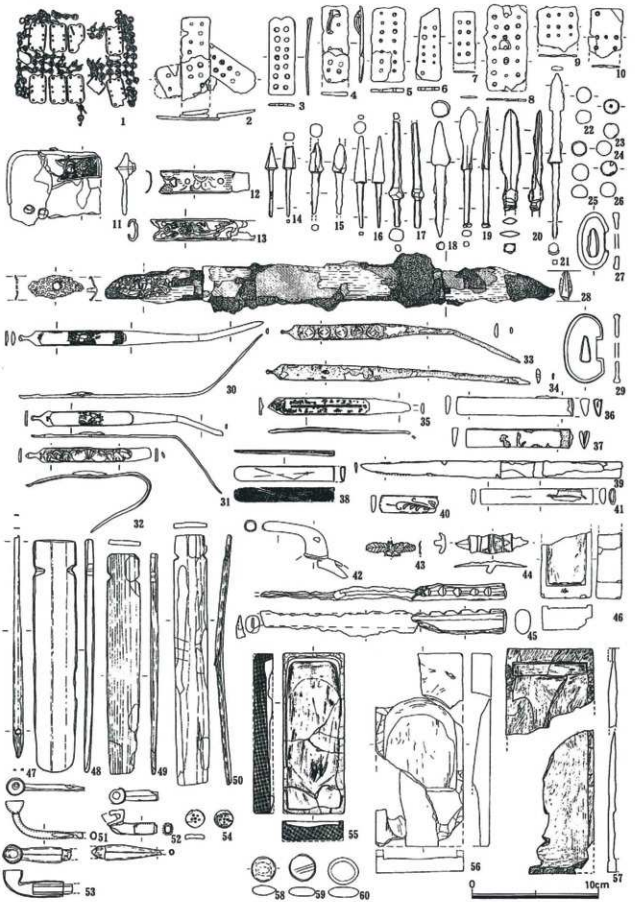
第51図　漁具、大工道具他


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
0
5cm
23
24
25
26
27
28
0
10cm

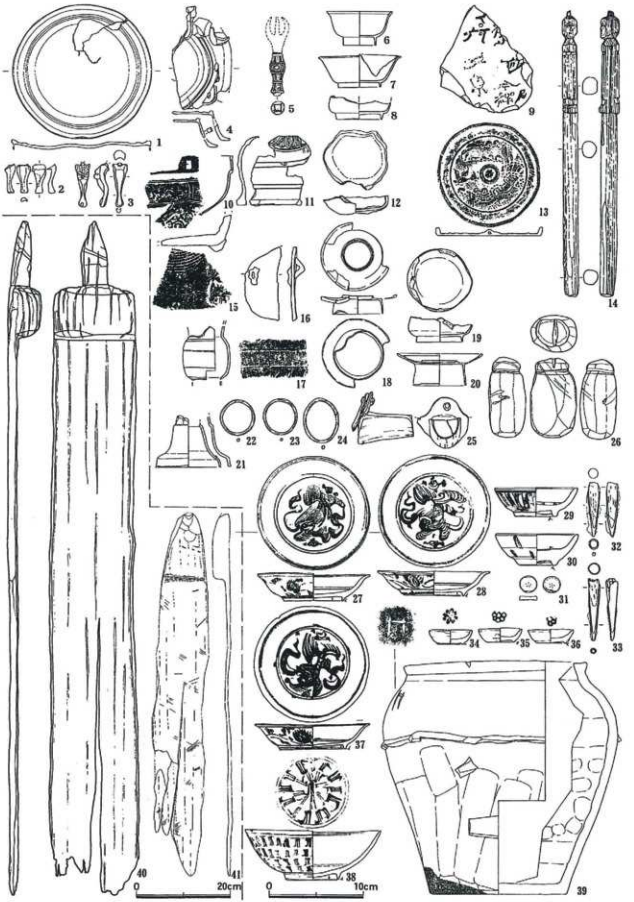
第52図　化粧、装身具他



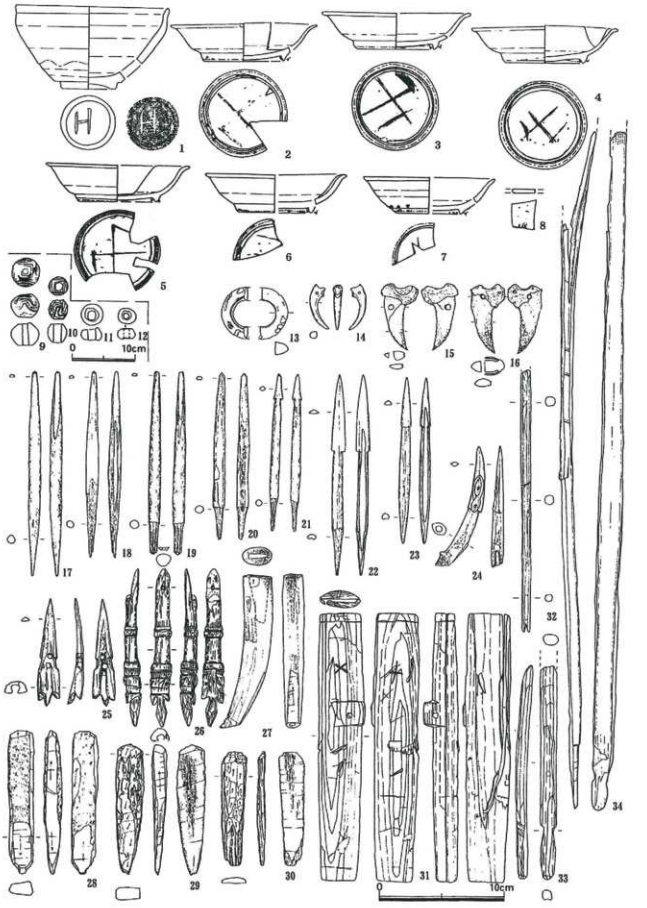
第53図　鍛冶、銅鋳造・銅細工関係遺物



第54図　武器・武具、文具他


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
0
20cm
0
10cm

第55図　宗教、信仰関係



第56図　アイヌ・北方関係遺物

2.1g出土している。羽口や鉄滓、坩堝、同転用皿などは他地点からも出土する。一部資料編に図示した。

第54図は武器や文具などである。12には金箔が圧されている。55の硯は昭和27年度の夷王山墳墓群発掘調査で墓壙内から副葬品として出土したものである。47は扇の骨か。48～50は木簡。奈良文化財研究所を煩わし、赤外線撮影による判読を試みたが文字は不明であった。資料編に類例を示した。

第55図は祭祀、信仰関係のものである。9は経石1、4は鉦、6～8、12、18～20は六器、台皿、鉢などである。14は人形代。下半に握痕状の手慣れがある。15は瀬戸・美濃の香炉。16は銅鑼のようなものの一部かと思われるが詳しくは分からない。17、21は華瓶である。22～24は耳飾りとしていたが錫杖の一部かと思われる。他に金剛盤などがあるが割愛した。27～39は土壙内からの一括出土品である。陶磁器類はすべて被熱しており、小甕の内部および覆土中から炭化穀物が出土し、覆土に焼土が含まれる。土壙は正面二重の空壕の外側で検出されており、空壕の構築にかかわる祭祀遺構とも推される。

（松崎）

四．まとめ

1　ガイダンス施設と墓壙型取り展示

海辺の国道から歩いて勝山館跡内を通り、夷王山山頂へ至るルートは年々利用者が減り、国道から八幡牧野へ至る町道（八幡野1号線）を車で上り、夷王山の麓に至るルートが一般的な経路となっている。夷王山の南西には早くから駐車場が作られ、トイレなども併設されてきた。しかしこの夷王山山麓一帯には盛り土の墳墓が分布し、駐車場はその第Ⅱ地区の一角にある。

夷王山墳墓群は1952年、`64年の発掘調査で、四地区に跨り130基余りからなる室町時代前後の火葬墓群であることが明らかになり、勝山館跡の周辺に居住した住民や、館を築き、後の松前氏に連なる武田信広や蛎崎氏一族の墓地として1966年北海道の史跡に指定された。

1981～`83年にこの墳墓群を対象に重要遺跡詳細分布調査事業を実施した結果、6地区に650余からなる火葬および土葬墓群であることが分かり、1985年、勝山館跡の一部として追加指定された。

1989年、盛り土砂利敷きの駐車場の舗装工事に先立つ発掘調査が行われ、地面に十文字型の溝を掘り込んだ火葬施設や土壙墓が検出された。これにより墓域の更なる広がりが確認されるとともに、それまで火葬墓群と特徴付けられていながら不明であった火葬施設（場）の存在が明らかとなり、葬法その他について、より具体的に検討が加えられていた（斉藤邦典「夷王山墳墓群」Ⅱ　1991）。

勝山館跡の環境整備事業は2000年度から史跡等活用特別事業（ふるさと歴史の広場）に採択され、整備が進められている。

整備の項目の一つに遺構の露出展示があり、ガイダンス施設の建設がある。遺構の露出展示は史跡地内で行われるが、ガイダンス施設は外が原則である。露出展示は冬季間の積雪や凍結を考えると不可能に近い。遺構をそのままに型取りして原位置の上に整備し、全体を保護する施設とする方針が示された。

`00年から着手予定の本事業で、夷王山の麓の駐車場から館跡内に至る遊歩道の整備が計画され、そのルートを探るべく平成`99、`00年度に第Ⅰ地区、第Ⅱ地区で発掘調査を実施した。

この園路整備と前述の駐車場工事に先立つ発掘調査によって、両調査区の中間部も墓域の内に含まれる可能性は推測された。問題は建物建設予定位置内に、型取りし、展示・展観するに相応しい墓壙が検出され、内部の利活用・導線計画に合致する配置が得られるかである。この中央部には幕末～明治以降に盛土構築された土堤があり、遺構面の削平・消失の可能性も考えなければならなかった。

2002年、建物敷地面積300㎡以下という制限に合わせ、現駐車場をそのまま利用し、新施設にアプローチすることも条件に加え、`00年検出の第115号墓を北西端に、その南～南東方向に14m×24m（＝336㎡）の調査区を設定し遺構確認調査を行った。

当初は、1、2基の墳墓を型取りし施設内に取り込めばこと足りると安易に考えたが、本中主任調査官、市原技官のご指導は、幾つかの典型例を出来るだけ多く型取りし、墳墓群の面的な広がりが来館者に理解できるようにということであった。

施設内の北東部に円形の火葬墓と十文字型の火葬施設、125・136号墓、東前面から南東部に鉤の手に盛り土や石積みのマウンドを持つ土葬墓、3・14・130・5・127号墓の5基、計7基を型取り、再

現することとした。これにより最終的な建物配置と敷地範囲も確定した。型取りは`02年11月下旬に実施し、終了後すぐに埋め戻しを行った。

2　遺構確認発掘調査

`03年度は前年に型取り後埋め戻した各墳墓の完掘と確定した敷地範囲地下部分の遺構確認発掘調査を実施した。

（1）土葬墓

`81～`83年の分布調査時の表面観察、現地踏査に基づき、このガイダンス施設周辺600㎡ほどの範囲には19基の墳墓が想定表示されていたが、一連の発掘調査の結果41基と倍増した。土葬墓の大部分は棺に遺骸を納め埋葬するが、年月とともに埋没し形状が変わる。第３号墓などでは棺内部に墳丘の盛り土が流入し、見かけの墳丘の頂部直下には墓壙や棺がない。また墳丘の周りには土を削り取った跡が溝状に残っており、意識的に高く土を盛り上げて墳墓を築いたことが分かる。構築の当初は現在の見かけよりも高く大きな墳丘を呈し、その頂部は棺の直上に近い位置であったと思われる。それが年月とともに埋没して頂部の位置が変わり、遂にはその存在が分からなくなるのであろう。５号墓のように、墳丘の上部で墓壙の掘り込みや棺の位置が見えるのは、墓壙の掘り込みが浅く棺上面が掘りこみ面とほぼ同じ高さにあることとともに、棺埋納後に墳丘に土を盛り上げるため周囲を掘り下げる結果、見掛けの墳丘が生じていることが考えられる。

棺の大きさに大小があり、小さいものは長軸が50㎝余りと通常の半分程度のものもあった。屈葬墓とはしてきたが、子供を埋葬した例とも推測される。また針を副葬した墓などは女性が埋葬されているとの推測もできよう。棺材の厚さや釘の打ち付け方などにも新知見が加わった。

棺内に副葬された銅銭の上下でわらや板材、繊維や編（織）物の類が見つかっている。銅の緑青が持つ防錆成分が作用し、残存したものと思われるが、それが頭陀袋などに纏めて入れられたものなのか、棺内に筵などを敷いたり、或いは遺骸を包んだりしていたのかなど、それぞれについて検討を加えることとしたい。

墓壙内から栗の実が検出された。昨年は山葡萄の種が見つかっていた。季節の実りや時の花を副えての野辺送りの風景が浮かんでくる。

22号墓の墓壙内から釘が出土せず、直葬を想定した。調査は南北の長軸に沿って半裁し、東半を棺の位置を探りながら平面的に掘り下げ進めた。中央付近の土壙は他の木棺墓の棺想定部と同様に空疎で脆く、ソフトな堆積であったので、そこが棺内と判断し西半を掘り下げた。80×50㎝ほどの棺が想定され、その中央壙底付近から銅銭が出土した。釘が出土せず、普通の棺を想定することは難しいが、土層は比較的明瞭に方形に識別されている。Os－a火山灰が厚く堆積するのは中央部の陥没がより大きいことを示している。埋葬の当初から窪んでいた状態は考え難い。鉄釘打以外の棺状のものを想定すべきなのであろうか。副葬品に特別なものは見られない。

（2）火葬墓・火葬施設

円形の浅い土壙や十文字型の溝の上で荼毘にふし、曲げ物や木箱に収骨し、他所に埋葬する火葬墓・火葬施設がある。火葬施設内にも焼骨が残存し、収骨後のものなのか、火葬後そのまま埋葬したものなのか判断できかね、ともに火葬墓として数えた（本概報ＸＸⅣ）。これまで夷王山墳墓群は火葬墓群として位置付けられていたが、その火葬場や火葬施設の存在が明らかでなかった。十文字型の遺構が`89年度の調査で初めて検出され火葬施設であることが明らかとなったが、火葬墓群、夷王山墳墓群の火葬施設としては規模が小さく、50点弱の釘が一つの道構から出土してはいたが、この十文字型の火葬施設は火葬のつど作られる１回限りの使用なのかはっきりしなかった。９号墓の釘や銅銭の出土量は複数の火葬が行われたことを示すようである。ただこの十文字型の遺構自体は、それほど恒久的な構築物ではないので、放置されれば短時間に埋没し機能しなくなると思われる。それはまた容易に、必要に応じて作りうる遺構でもある。今までの検出例には埋没途中のものを再構築したような痕跡は見られない。その意味では繰り返しの使用はごく間近い時間帯の中で行われていることも示唆している。これについては既に塚田が調査所見の中で指摘しているところである。

（3）卒塔婆他

墓壙や墓壙の周辺に方形や長方形の柱穴が穿たれる例の検出が増えてきた。１基の墓壙に複数の柱穴が見られるものもある。卒塔婆であろう。なお３号墓と14号墓間のＰ－13、９号墓西のＰ－９など帰属不明のものもある。また第６図に示した柱穴群は、`60年代以降上ノ国村が墳墓群の範囲を表示する柵を廻らせたときのものである。

墓壙周縁の土を掘り上げ墳丘（マウンド）を築いていることが明らかとなり、相互の構築の前後関係についても知見が得られてきた。持ち帰った墓壙覆土の洗浄で、小片ながら陶磁器が検出された。小片であることの方が問題でもあるが、墳墓の構築順や新旧関係、年代などについてさらに詳細に見ていくことが必要である。

2　主郭・中央通路の整備

昨年の整備で、櫓跡や橋跡の復元を終え、今年度は館跡主体部を縦貫する中央通路とその左右の建物敷地、客殿跡の平面表示などが行われた。

遺構の平面表示や建物跡の敷地割の整備・表現を具体化する過程で、現地の景観が仮想の実体としてイメージされ、整備に繋がったことは幸いであった。発掘調査データの提示が十分に出来ず、読み取りに手間取ったことは反省しなければならない。

勝山館跡主体部の最後方、館神八幡宮跡周辺部は、本事業開始の初期に左右の建物跡敷地の調査を行ったが、必ずしも十分なものではなく、中央通路部分はその存在すら知り得ず、未調査のままであった。また`60年代前後に植樹されたトドマツが途中の通路部分に残存し、その下も未調査のままであった。

このためこれらについての遺構確認補充調査を実施した。

中央通路は路幅が2.7mで左右に45cmの側溝がつく「２間」幅の道であるが、八幡宮跡周辺では２ｍほどにせまくなり、背後の門・橋跡へ繋がることが分かった。また北西側の側溝は1770（明和７）年に館神八幡宮跡の社殿が修復・再建された時に、鉤の手（逆Ｌ字）状に築かれた土塁の下に潜っていることも分かった。八幡宮跡周辺は、この時削平され、初期の遺構が失われているものと思われる。

トドマツを伐木・伐根後、中央通路中間部の遺構確認調査を行い、通路側溝を確認した。またこの中央通路路面の下位で柱列を検出した。柱間に規則性があり、柱筋も通っている。勝山館跡の初期の地割や通路の存在も窺われるところである。再発掘調査などによる確認は既に不可能ではあるが、過年度検出の遺構と併せ検討することとしたい。

客殿跡の平面表示を行ったが、この前に後日を期していたその西方の石敷き礎石建物跡の調査を実施しなかったのは忘慢でしかない。

3　過年度出土遺物の集成・資料編について

整備の前提にはその性格付けが必要であり、そのためには遺構・遺物相互の関連性を明らかにしなければならないことは言うまでもない。

末尾に若干の遺物集成図を掲げ、別に資料編出土遺物（１）を付した。

これについては十分な分析を行い、勝山館跡の遺物としての位置付けの下に報告すべきものであるが諸般の事情から、内輪の作業資料のままに呈示することとなった。従前の図の不備が未修正であり、重要な資料で図化されてないものや擂鉢、鉄鍋などのようにほとんどを省略したものもある。この資料図集が勝山館跡の偏った性格付けに繋がることを慎とともに、怠慢をお詫びしたい。次年度において欠を補い、遺構との関係も含め再提示を期し、お許し願うものである。

発掘調査資料の分析の不備について、勝山館跡の建築遺構についてご指導を頂戴している鈴木先生からは再三に亘りご指摘を受け、ご迷惑をおかけしている所である。特に今年は、ガイダンス施設の中に勝山館跡の全体模型を設置するにあたり、建物模型を作ることが必要となったため、随分と無理をお掛けすることになった。出土遺物などの発掘調査に関する資料を差し上げないままに、時期や建物規模・機能までお考え戴くという無茶なお願いである。先生は一昨年椎間板ヘルニアの大手術をされ、まだ十分にご回復でない体調にも拘わらず、懸命にご尽力くださった。心から深くお礼申し上げ、お詫びも申し上げたい。

1976年勝山館跡が花沢館跡とともに史跡に指定されることが決まり、２ヵ年の補助事業で、整備を進めるための保存管理計画書の策定を行った。これに策定委員として加わり、ご指導を賜った元一橋大学教授の佐々木潤之介先生がお亡くなりになった。懇々上ノ国まで足を運んで戴き、北日本の中・近世史の中での上ノ国や勝山館の位置付けをご検討戴き、既に故人となられた足達冨士夫先生（北大教授）などとご一緒に勝山館や上ノ国の文化財についてお考え下さった。逸早く、ご執筆の教科書で蛎崎季繁や北海道の館跡などについて触れられていたことが思い出される。

長い間勝山館跡を親身になって応援して下さった網野先生がお亡くなりになった。

先生は1987年、札幌で行われた北海道高等学校日本史教育研究会の帰途、石井先生、勝又先生などとともに勝山館跡をご視察された。

その後1988年から石井、朝尾、榎森の諸先生とともに勝山館跡調査研究専門員をお引き受け戴いた（後に文化庁を退職された仲野先生が加わる）。

先生にはほぼ毎年上ノ国にお運び戴き、ご指導を頂戴することとなった。爾来、ご高著など、機会あるごとに勝山館のことを広くご紹介くださり、存在を知らせて下さった。上ノ国や勝山館跡のことがここまで知られ、教科書などにも登場するようになったのは諸先生方のお力は勿論であるが先生のお力によるところが特に大きいと言わねばならない。先生は勝山館跡発掘調査20周年記念シンポジウム記録集（北から見直す日本史－上之国勝山館跡と夷王山墳墓群から見えるもの　大和書房　2001）の中で「蟲屓の引き倒し」との批判を恐れると仰りながら、上ノ国町での発掘成果を高く評価して下さった。

先生を追悼するテレビの特集を見たある作業員は、「日本でも本当に有名な、世界的なあんなにも偉い先生が来て下さっていたんだ」と改めて先生の大きさを知り、先の記録集のご発言を読み直した一人は、「こんなにも勝山館や上ノ国のことを考えてくれる先生がいるなんて」と感激し、「町の人皆に知ってもらいたいし、私達ももっと自分の町を知らなければ」と思いを新たにしていた。

闘病生活の中にあっても、勝山館のことをお思いくださるご厚情は真に有難いことであった。

小さな田舎の町の覚束ない調査を、先生はいつも穏やかに優しく見ていて下さった。本当に有難く、ご高恩の数々を忘れることは出来ない。どのように御礼申し上げてよいか分からない思いである。

先に石井先生がお亡くなりになり、今度は網野先生がご逝去された。

20周年記念シンポジウムの前後のことと思うが、両先生や仲野先生が、そろそろ次の専門員のメンバーを考えるべき時とおっしゃっていた。が、私たちは真剣に考えようなどとは全く思わなかった。それがわずか数年でこのような現実を目の当たりにしなければならないのは、とても信じ難く、なんとも残念である。

勝山館跡の史跡等活用特別事業（ふるさと歴史の広場）による整備は、制度の変更もあり16年度まで継続することになった。文化財や史跡（遺跡）を調査し、保護や整備を進める業務は、それが一旦途絶えると、地域社会や行政組織の中に再構築し、思想として定着させる迄には、相当なエネルギーが必要となる。上ノ国町の現状もまた同様で、文化財行政を取り巻く状況は極めて不透明で、予断を許さないところにある。

その進むべき先に光を当て導いて来て下さった大きな方々が相次いでお亡くなりになった。ご高恩に報いるには余りにも非力である。なお多くの方々のお叱りとご教導を仰ぎながら微力を尽くしたい。

（松崎）

図　版

1．遺構検出状況（北西から）

3．14号墓　鉄釘出土状況（北から）

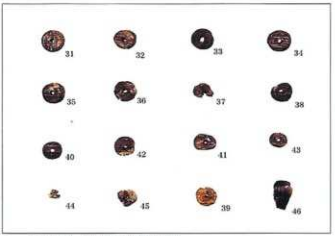
4．138号墓　漆器出土状況（西から）

2．遺構検出状況（南東から）

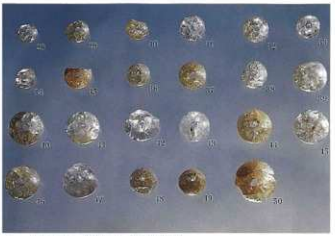
5．128号墓　漆器・銅銭出土状況（東から）

6．13号墓　銅銭・数珠出土状況（北東から）

PL.2 遺構検出状況・出土遺物（夷王山墳墓群・勝山館跡 中央通路）



1．13号墓　数珠玉（種子製）



2．9号墓　数珠玉（水晶製）

3．138号墓　銅銭（繊維付着）

4．9号墓　副葬品（銅銭・数珠玉）

5．中央通路　完掘状況（南西から）

6．中央通路　完掘状況（北東から）

7．中央通路　土層堆積（南西から）

PL.3 過年度調査 出土遺物

1. 石匙・砥石

2. 須恵器・ミニチュア

3. 鉄器・木工具・土器

4. 化粧・装身具

PL.4. 阿寺遺跡出土遺物

1. 鍛冶、銅鋳造・銅細工関係遺物

3. 宗教・信仰関係

2. 武器・武具、文具他

4. アイヌ・北方関係遺物

1．調査区　西側　完掘状況（南西から）

2．調査区　東側　完掘状況（南西から）

3．近世以降土塁・堀　土層堆積（北から）

4．3号墓　盛土検出状況（東から）

5．3号墓　盛土土層堆積（南から）

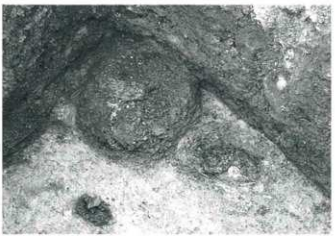
6．3号墓　棺内検出状況（南から）

7．3号墓　鉄釘出土状況（南から）

8．3号墓　完掘状況（南から）

1．14･130号墓　遺構検出状況（南西から）

2．14号墓　棺内検出状況（東から）



3．14号墓　歯･漆器･銅銭･鉄釘出土状況(北東から)

4．14号墓　棺内釘検出状況（北から）

5．14号墓　完掘状況（東から）

6．5号墓　検出状況（南西から）

7．5号墓　棺内検出状況（南西から）

8．5号墓　漆器・銅銭・鉄釘出土状況（南西から）

1．5号墓　銅銭出土状況（東から）

2．5号墓　完掘状況（南西から）

3．125号墓　焼骨・銅銭・鉄釘出土状況（東から）

4．125号墓　完掘状況（北東から）

5．125・136・123・115・131号墓　遠景（北東から）

6．129号墓　盛土検出状況（南から）

7．129号墓　盛土土層堆積（南から）

8．129号墓　棺内検出状況（東から）

1．129号墓　漆器・銅銭・歯・鉄釘出土状況（東から）

2．129号墓　完掘状況（東から）

3．127号墓　遺構検出状況（北東から）

4．127号墓　棺内検出状況（北東から）

5．127号墓　漆器・銅銭・骨・鉄釘出土状況（北東から）

6．127号墓　完掘状況（北東から）

7．128号墓　検出状況（東から）

8．128号墓　棺内検出状況（南から）

1．128号墓　完掘状況（南から）

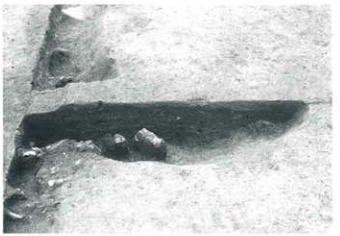
2．130号墓　遺構検出状況（西から）

3．130号墓　土層堆積（西から）

4．130号墓　棺内検出状況（東から）

5．130号墓　完掘状況（東から）

6．136号墓　遺構検出状況（南西から）

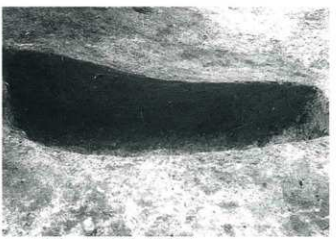

7．136号墓　土層堆積（北西から）

8．136号墓　遺物出土状況（北西から）

1．136号墓　遺物出土状況（南西から）

2．136号墓　完掘状況（北東から）

3．土壙9　遺構検出状況（西から）



4．土壙9　土層堆積（西から）

5．土壙9　完掘状況（西から）

6．13号墓　遺構検出（南西から）

7．13号墓　盛土土層堆積（東から）

8．13号墓　棺内検出状況（北東から）

1．13号墓　数珠玉・むしろ？出土状況（北東から）

2．13号墓　鉄釘・銅銭・数珠玉出土状況（北東から）

3．13号墓　遺物完掘状況（北東から）

4．9号墓　集石検出状況（西から）

5．9号墓　銅銭・数珠玉・焼骨・鉄釘出土状況（西から）

6．9号墓　銅銭・数珠玉・焼骨・鉄釘出土状況（南から）

7．9号墓　焼骨・炭化物出土状況（南から）

8．9・140号墓　遺構検出（西から）

1．9・140号墓　完掘状況（西から）

2．調査風景　9号墓　遺物検出作業（西から）

3．8号墓　盛土検出状況（西から）

4．8号墓　土層堆積（西から）

5．8号墓　Pit26土層堆積（西から）

6．22号墓　Ko-d火山灰堆積状況（東から）

7．22号墓　棺内検出状況（東から）

8．22号墓　銅銭出土状況（わら付着）

1．22号墓　銅銭出土状況（わら状繊維除去後）

2．22号墓　完掘状況（東から）

3．138号墓　遺構検出状況（北から）

4．138号墓　棺内検出状況（西から）

5．138号墓　銅銭出土状況（西から）

6．138号墓　完掘状況（西から）

7．139号墓　遺構検出状況（北東から）

8．139号墓　遺物検出状況（北東から）

1．139号墓　完掘状況（北東から）

2．10号墓　盛土検出状況（北東から）

3．10号墓　盛土・Pit 4 土層堆積（南東から）

4．10号墓　柱穴検出状況（北から）

5．43号墓　土層堆積（南西から）

6．43号墓　鉄釘出土状況（北東から）

7．18号墓（再調査）遺構検出（北東から）

8．18号墓（再調査）完掘状況（北西から）

1．18号墓（再調査）石組み検出状況（南西から）

2．調査風景（南から）

3．中央通路　遺構検出状況（北東から）

4．中央通路　遺構検出状況（南西から）

5．土塁（神社付近）土層堆積（北東から）

6．土壙２　完掘状況（北東から）

7．溝１　土層堆積（北東から）

8．溝１　遺物出土状況（北から）

1．Pit31　玉砂利出土状況

2．調査風景　中央通路遺構検出作業（南から）

3．土壙1・溝2溝2　完掘状況（北東から）

4．土壙1　完掘状況（南西から）

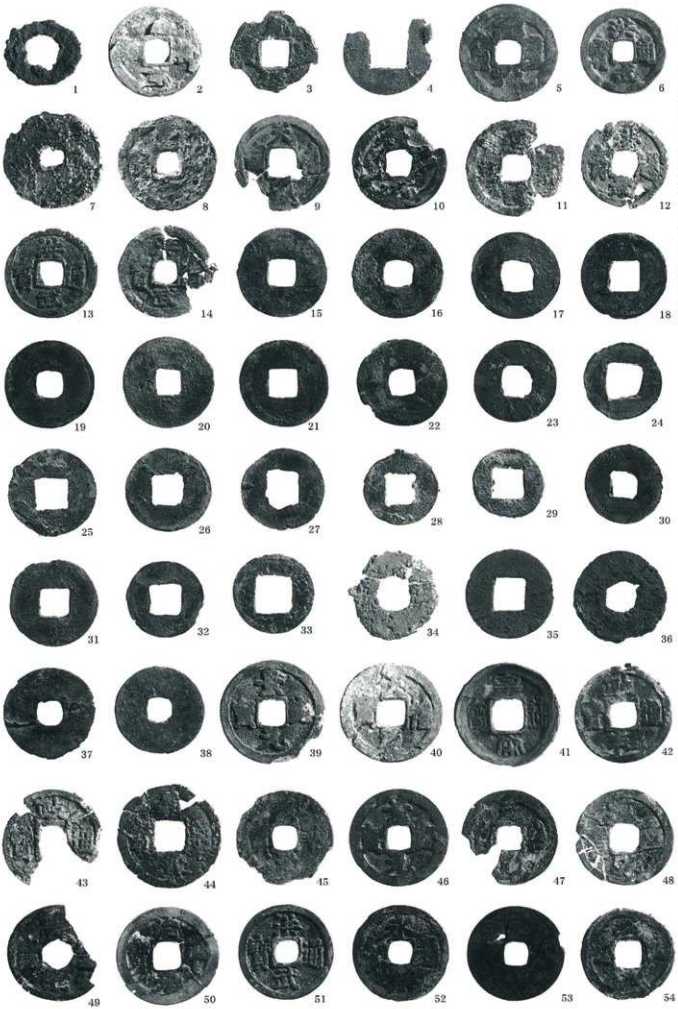
5．溝81・82　土層堆積（南東から）

6．集石　検出状況（19K8・9）（北東から）

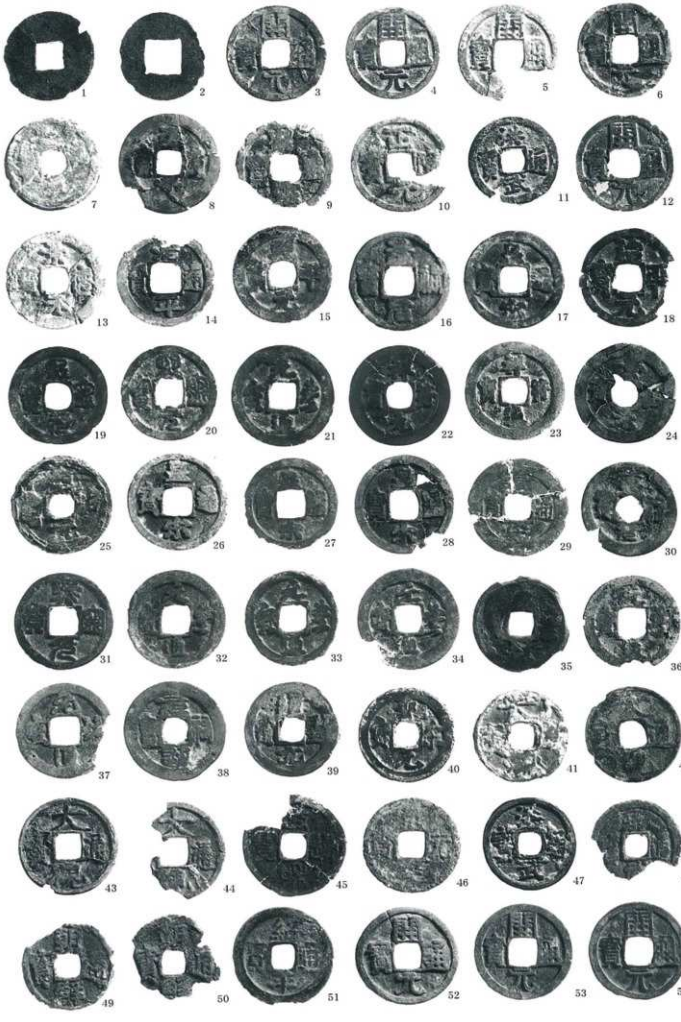
7．炭化物範囲（19K8・9）（北東から）

8．完掘状況（18K18・23）（北東から）

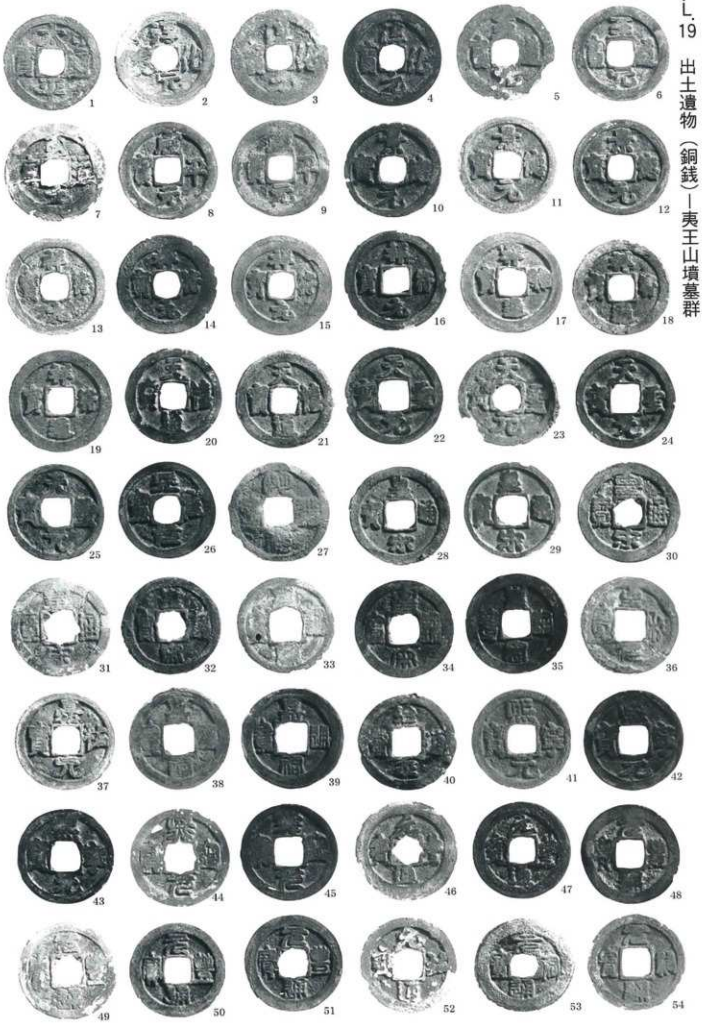
PL. 17 出土遺物（銅銭）—夷王山墳墓群



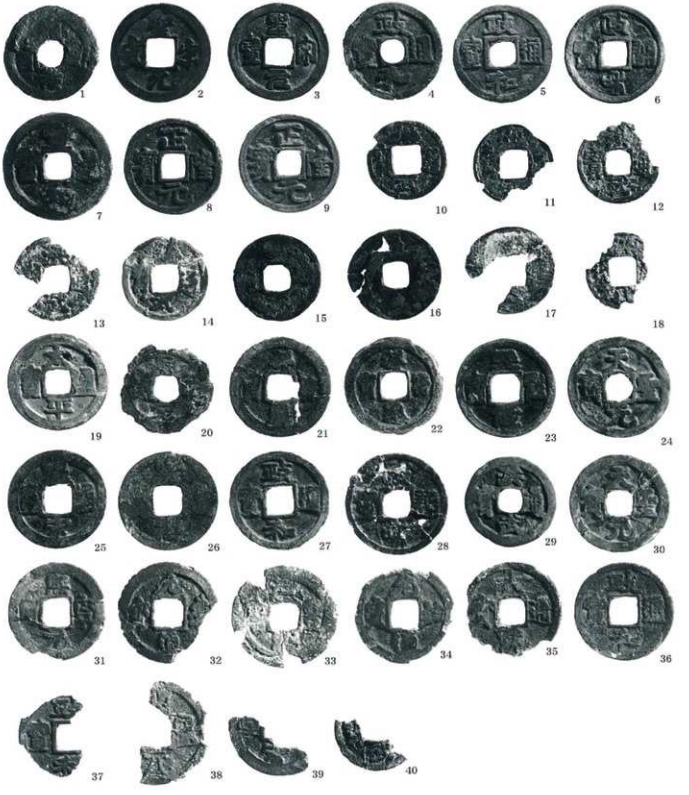
PL. 18 出土遺物（銅銭）—夷王山墳墓群



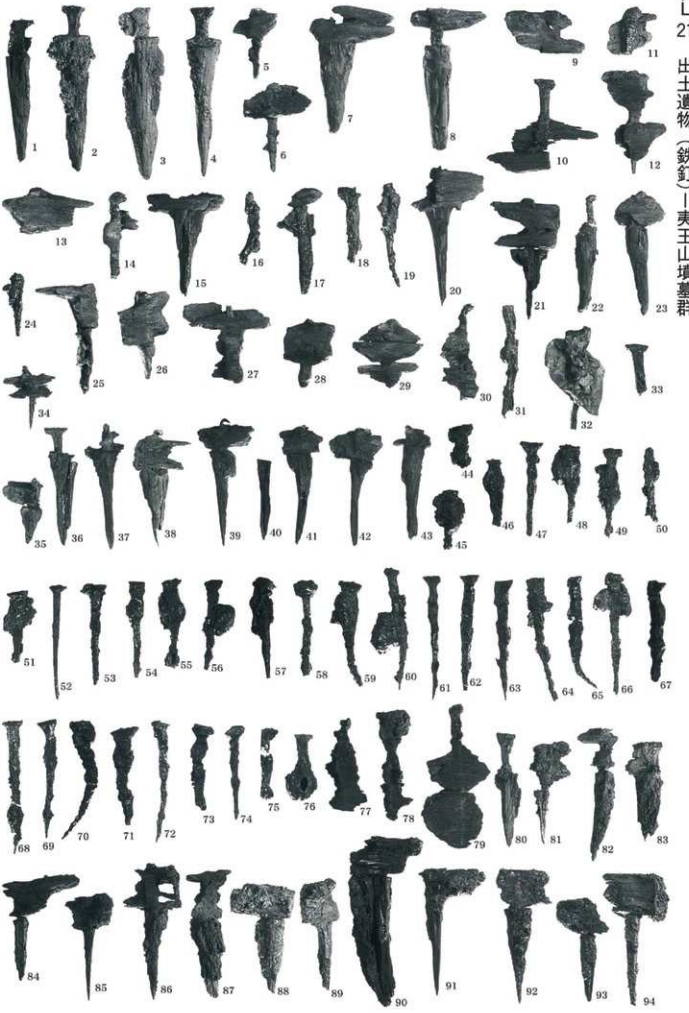
PL. 19 出土遺物（銅銭）—夷王山墳墓群



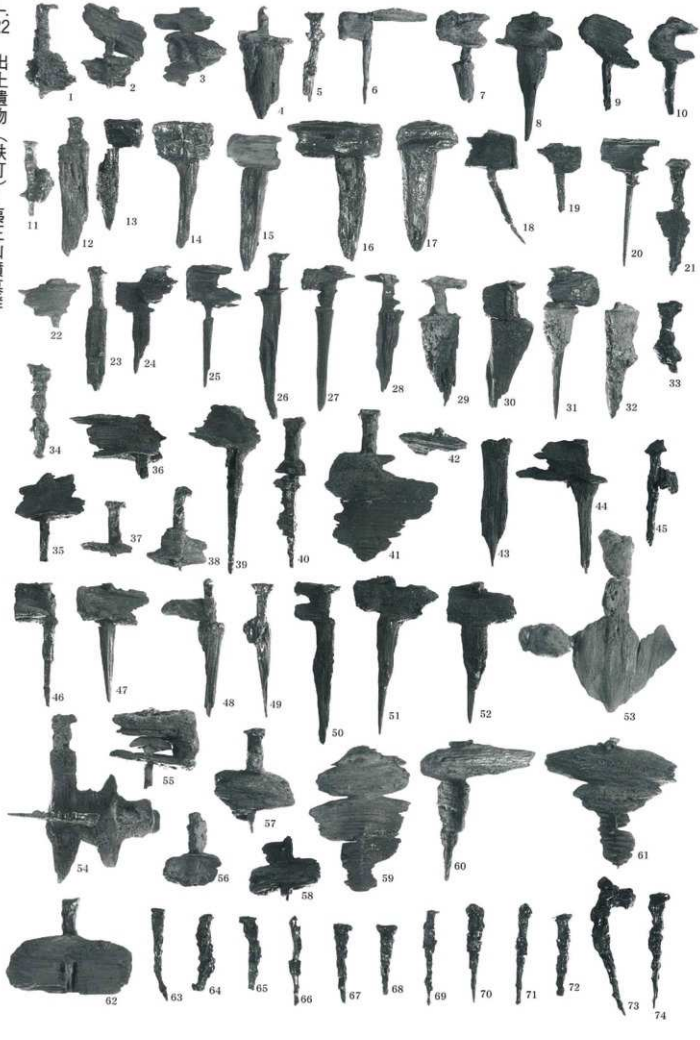
P.L.20 出土遺物（銅銭）—夷王山墳墓群



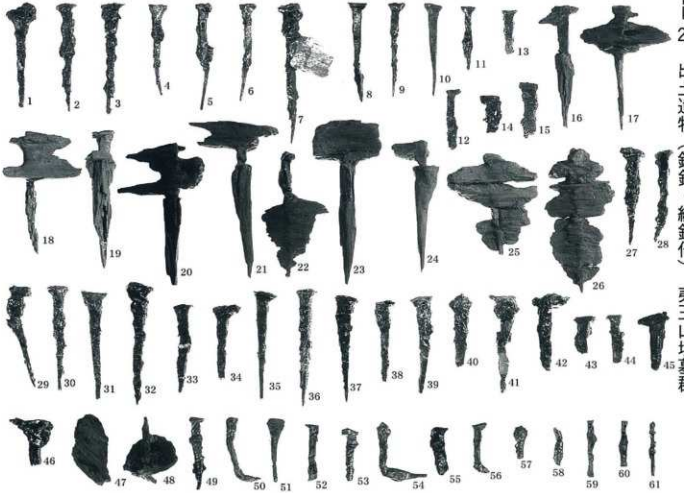
出土遺物（鉄釘）—夷王山墳墓群



PL 22 出土遺物（鉄釘）—夷王山墳墓群



出土遺物（鉄釘・縫針他）—夷王山墳墓群



62. 125号墓　焼骨（469.2ｇ）

63. 9号墓　焼骨（329.7ｇ）

64. 136号墓　焼骨（3.9ｇ）

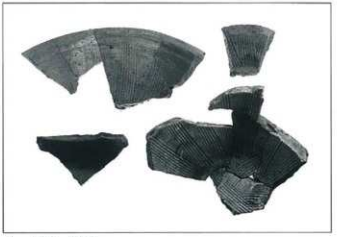
65. 125号墓　銅溶解粒

PL.24 出土遺物（勝山館跡 中央(通路)）

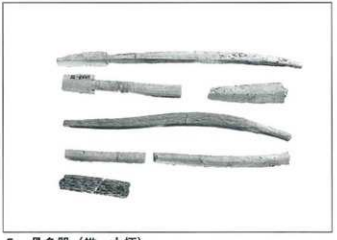
1．陶磁器（青磁・白磁・染付・朝鮮）

2．陶磁器（瀬戸・美濃）

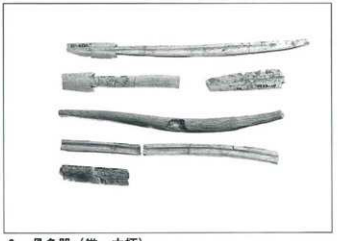
3．越前　擂鉢



4．越前　擂鉢



5．骨角器（鏃・中柄）



6．骨角器（鏃・中柄）

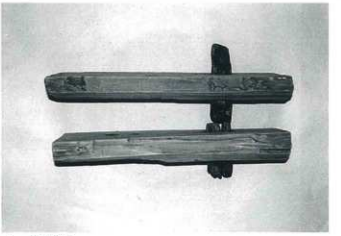
7．鉄製品（鍋・釘）銅銭　煙管

8．小札（魚骨付着）

1．食膳具関係

2．火鉢（笏谷石製）

3．青磁　香炉



4．滑車枠

5．砥石その他

6．青磁　稜花皿（墨書入り）

7．漆器　碗

8．漆器　碗

1．陶錘

2．和鏡

3．和鏡

4．毛抜き・針

5．銅銭

6．羽口・鉄塊

7．木簡(右端は指定地内、宮ノ沢右岸地点～慶長初、出土)

8．硯

1．碁石

2．数珠玉（水晶製）

3．人形

4．陽物

5．経文石

6．かわらけ

7．青磁　皿、瀬戸・美濃　豆皿

8．染付　皿

1．越前　甕

2．双六用駒

3．鉄釉　碗（シロシ入り）

4．鉄釉　碗（シロシ入り）

5．白磁　皿（シロシ入り）

6．木製品（マキリ鞘、矢柄その他）

7．マキリ柄（鹿角製）

8．ガラス玉

報告書抄録

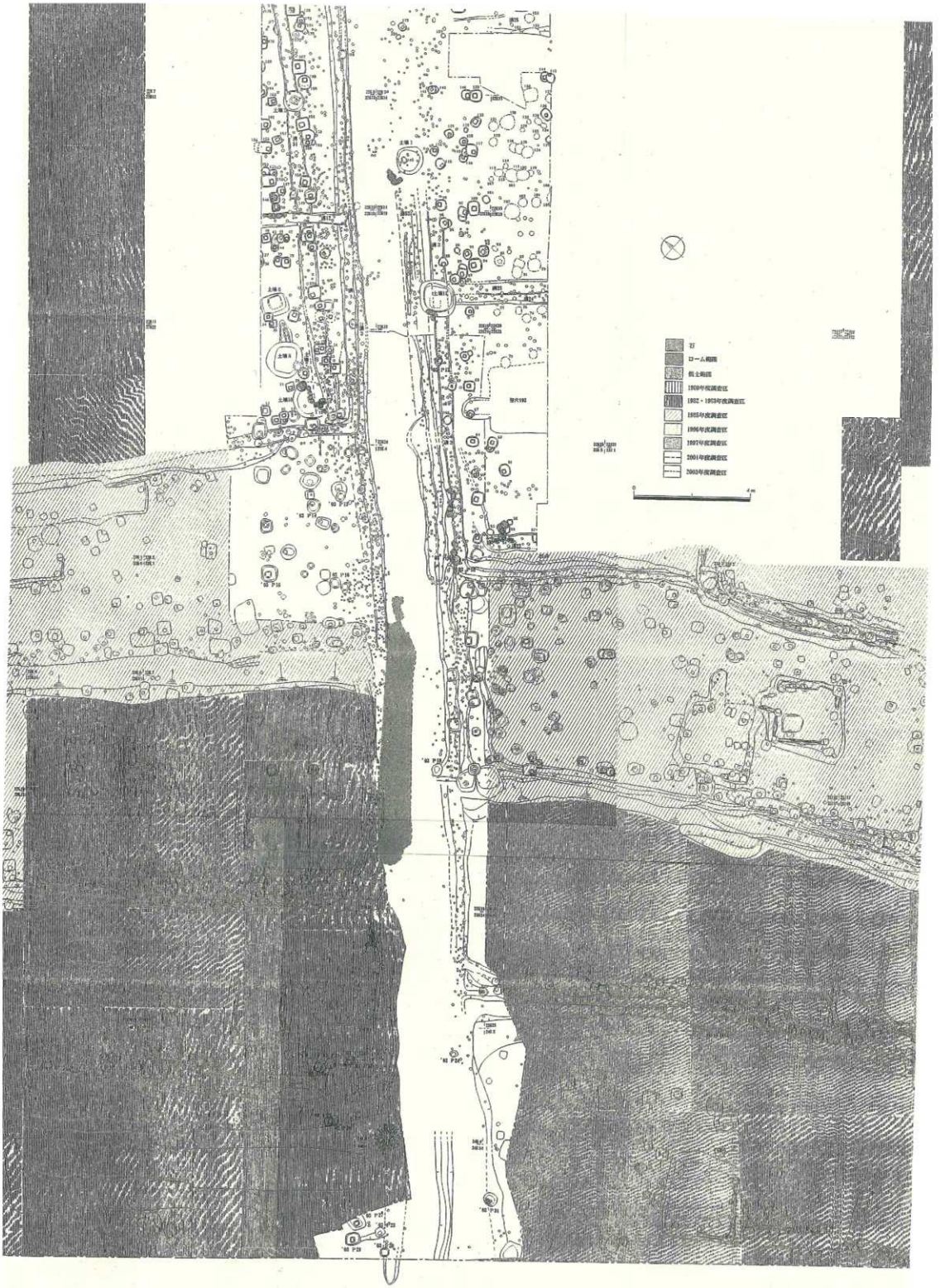
ふりがな	しせきかみのくにかつやまだてあと
書名	史跡上之国勝山館跡 XXV
副書名	平成15年度発掘調査環境整備事業概要
巻次	25
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者名	松崎永穂　塚田直哉
編集機関	上ノ国町教育委員会
所在地	〒049－0611　北海道檜山郡上ノ国町字大留100　☎01395－5－2230
発行年月日	2004年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
勝山館跡	上ノ国町字上ノ国	012625	C-02-3	40°48'	140°6'			史跡整備事業（史跡等活用特別事業－ふるさと歴史の広場に伴う調査）
夷王山墳墓群 第Ⅱ地区	上ノ国町字勝山427他					平成15年5月12日～平成15年7月9日	528.5㎡	
勝山館跡 中央通路	上ノ国町字勝山387他					平成15年7月9日～平成15年8月8日	183.5㎡	

所収遺跡名	種類	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
勝山館跡	城館	中世			
夷王山墳墓群 第Ⅱ地区	墓	中世	火葬墓2基、火葬施設4基、土葬墓10基、土壙1基他	鉄釘、漆器、銅銭、数珠玉他	勝山館跡と同時代と思われる15・16世紀の火葬・土葬墓を検出
勝山館跡 中央通路	城館	中世	中央通路、溝、土壙、柱穴他	陶磁器（青磁、白磁、染付、瀬戸・美濃、越前、朝鮮）、骨角器、砥石他	両側に側溝を伴う中央通路跡を検出

史跡　上之国勝山館跡 XXV
－平成15年度発掘調査環境整備事業概報－

発　行　上ノ国町教育委員会
北海道桧山郡上ノ国町字大留100
印　刷　平成16年３月29日
発　行　平成16年３月31日
印刷所　㈲第一印刷



＜附図１　勝山館跡　中央通路遺構平面図＞